

別添 添加物 1 - 1

簡略名又は類別名一覧表

物 質 名	簡略名又は類別名
亜硝酸ナトリウム	亜硝酸 Na
L-アスコルビン酸	アスコルビン酸, V.C
L-アスコルビン酸カルシウム	アスコルビン酸 Ca, ビタミンC, V.C
L-アスコルビン酸ステアリン酸エステル	アスコルビン酸エステル, ビタミンC, V.C
L-アスコルビン酸ナトリウム	アスコルビン酸 Na, ビタミンC, V.C
L-アスコルビン酸 2-グルコシド	アスコルビン酸, ビタミンC, V.C
L-アスコルビン酸パルミチン酸エステル	アスコルビン酸エステル, ビタミンC, V.C
L-アスパラギン酸ナトリウム	アスパラギン酸ナトリウム, アスパラギン酸 Na
アセチル化アジピン酸架橋デンプン	加工デンプン
アセチル化酸化デンプン	加工デンプン
アセチル化リン酸架橋デンプン	加工デンプン
亜セレン酸ナトリウム	亜セレン酸 Na
$\beta$ -アポ-8'-カロテナール	アポカロテナール、アポカロテナール色素、カロチノイド、カロチノイド色素、カロテノイド、カロテノイド色素
DL-アラニン	アラニン
亜硫酸ナトリウム	亜硫酸塩, 亜硫酸 Na
L-アルギニンL-グルタミン酸塩	アルギニングルタミン酸塩
アルギン酸カリウム	アルギン酸 K
アルギン酸カルシウム	アルギン酸 Ca
アルギン酸ナトリウム	アルギン酸 Na
アルギン酸プロピレングリコールエステル	アルギン酸エステル
安息香酸ナトリウム	安息香酸 Na
L-イソロイシン	イソロイシン
5'-イノシン酸二ナトリウム	イノシン酸ナトリウム, イノシン酸 Na
5'-ウリジル酸二ナトリウム	ウリジル酸ナトリウム, ウリジル酸 Na
エチレンジアミン四酢酸カルシウム二ナトリウム	EDTA カルシウムナトリウム, EDTA-Ca · Na
エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム	EDTA ナトリウム, EDTA-Na
エリソルビン酸ナトリウム	エリソルビン酸 Na, イソアスコルビン酸 Na
エルゴカルシフェロール	ビタミンD, V.D
塩化カリウム	塩化K
塩化カルシウム	塩化 Ca
塩化第二鉄	塩化鉄

塩化マグネシウム	塩化 Mg
オクテニルコハク酸デンプンナトリウム	加工デンプン, オクテニルコハク酸デンプン Na
オルトフェニルフェノール	OPP
オルトフェニルフェノールナトリウム	オルトフェニルフェノール Na, OPP—Na
オレイン酸ナトリウム	オレイン酸 Na
カゼインナトリウム	カゼイン Na
カルボキシメチルセルロースカルシウム	CMC—Ca, 繊維素グリコール酸 Ca
カルボキシメチルセルロースナトリウム	CMC—Na, 繊維素グリコール酸 Na, CMC
β-カロテン	カロチン, カロチン色素, カロチノイド, カロチノイド色素, カロテン, カロテン色素, カロテノイド, カロテノイド色素
カンタキサンチン	カロチノイド, カロチノイド色素, カロテノイド, カロテノイド色素
5'-グアニル酸二ナトリウム	グアニル酸ナトリウム, グアニル酸 Na
クエン酸イソプロピル	クエン酸エステル
クエン酸三エチル	クエン酸エチル
クエン酸一カリウム	クエン酸カリウム, クエン酸K
クエン酸三カリウム	クエン酸カリウム, クエン酸K
クエン酸カルシウム	クエン酸 Ca
クエン酸第一鉄ナトリウム	クエン酸鉄 Na
クエン酸三ナトリウム	クエン酸 Na
グリセリン脂肪酸エステル	グリセリンエステル
グリチルリチン酸二ナトリウム	グリチルリチン酸ナトリウム, グリチルリチン酸 Na
グルコン酸カリウム	グルコン酸K
グルコン酸カルシウム	グルコン酸 Ca
グルコン酸ナトリウム	グルコン酸 Na
L-グルタミン酸	グルタミン酸
L-グルタミン酸アンモニウム	グルタミン酸アンモニウム
L-グルタミン酸カリウム	グルタミン酸カリウム, グルタミン酸K
L-グルタミン酸カルシウム	グルタミン酸カルシウム, グルタミン酸 Ca
L-グルタミン酸ナトリウム	グルタミン酸ナトリウム, グルタミン酸 Na
L-グルタミン酸マグネシウム	グルタミン酸マグネシウム, グルタミン酸 Mg
ケイ酸カルシウム	ケイ酸 Ca
ケイ酸マグネシウム	ケイ酸 Mg
コハク酸一ナトリウム	コハク酸ナトリウム, コハク酸 Na
コハク酸二ナトリウム	コハク酸ナトリウム, コハク酸 Na
コレカルシフェロール	ビタミンD, V.D

コンドロイチン硫酸ナトリウム	コンドロイチン硫酸 Na
酢酸カルシウム	酢酸 Ca
酢酸デンプン	加工デンプン
酢酸ナトリウム	酢酸 Na
サッカリンカルシウム	サッカリン Ca
サッカリンナトリウム	サッカリン Na
酸化カルシウム	酸化 Ca
酸化デンプン	加工デンプン
酸化マグネシウム	酸化 Mg
三二酸化鉄	酸化鉄
次亜塩素酸ナトリウム	次亜塩素酸 Na
次亜硫酸ナトリウム	次亜硫酸 Na, 亜硫酸塩
L-システイン塩酸塩	システイン塩酸塩, システイン
5'-シチジル酸二ナトリウム	シチジル酸ナトリウム, シチジル酸 Na
ジフェニル	DP
ジブチルヒドロキシトルエン	BHT
ジベンゾイルチアミン	チアミン, ビタミンB <sub>1</sub> , V.B <sub>1</sub>
ジベンゾイルチアミン塩酸塩	チアミン, ビタミンB <sub>1</sub> , V.B <sub>1</sub>
DL-酒石酸	酒石酸
L-酒石酸	酒石酸
DL-酒石酸水素カリウム	酒石酸カリウム, 酒石酸K, 重酒石酸カリウム, 重酒石酸K
L-酒石酸水素カリウム	酒石酸カリウム, 酒石酸K, 重酒石酸カリウム, 重酒石酸K
DL-酒石酸ナトリウム	酒石酸ナトリウム, 酒石酸 Na
L-酒石酸ナトリウム	酒石酸ナトリウム, 酒石酸 Na
硝酸カリウム	硝酸K
硝酸ナトリウム	硝酸 Na
食用赤色 2 号	赤色 2 号, 赤 2
食用赤色 2 号アルミニウムレーキ	食用赤色 2 号, 赤色 2 号, 赤 2, アマランス
食用赤色 3 号	赤色 3 号, 赤 3
食用赤色 3 号アルミニウムレーキ	食用赤色 3 号, 赤色 3 号, 赤 3, エリスロシン
食用赤色 40 号	赤色 40 号, 赤 40
食用赤色 40 号アルミニウムレーキ	食用赤色 40 号, 赤色 40 号, 赤 40, アルラレット AC
食用赤色 102 号	赤色 102 号, 赤 102
食用赤色 104 号	赤色 104 号, 赤 104
食用赤色 105 号	赤色 105 号, 赤 105

食用赤色 106 号	赤色 106 号, 赤 106
食用黄色 4 号	黄色 4 号, 黄 4
食用黄色 4 号アルミニウムレーキ	食用黄色 4 号, 黄色 4 号, 黄 4, タートラジン
食用黄色 5 号	黄色 5 号, 黄 5
食用黄色 5 号アルミニウムレーキ	食用黄色 5 号, 黄色 5 号, 黄 5, サンセットイエローFCF
食用緑色 3 号	緑色 3 号, 緑 3
食用緑色 3 号アルミニウムレーキ	食用緑色 3 号, 緑色 3 号, 緑 3, ファストグリーン FCF
食用青色 1 号	青色 1 号, 青 1
食用青色 1 号アルミニウムレーキ	食用青色 1 号, 青色 1 号, 青 1, ブリリアントブルーFCF
食用青色 2 号	青色 2 号, 青 2
食用青色 2 号アルミニウムレーキ	食用青色 2 号, 青色 2 号, 青 2, インジゴカルミン
シヨ糖脂肪酸エステル	シヨ糖エステル
シリコーン樹脂	シリコーン
水酸化カリウム	水酸化K
水酸化カルシウム	水酸化 Ca
水酸化マグネシウム	水酸化 Mg
ステアリン酸カルシウム	ステアリン酸 Ca
ステアリン酸マグネシウム	ステアリン酸 Mg
ステアロイル乳酸カルシウム	ステアロイル乳酸 Ca, ステアリル乳酸 Ca
ステアロイル乳酸ナトリウム	ステアロイル乳酸 Na, ステアリル乳酸 Na
ソルビタン脂肪酸エステル	ソルビタンエステル
D-ソルビトール	ソルビトール, ソルビット
ソルビン酸カリウム	ソルビン酸K
ソルビン酸カルシウム	ソルビン酸 Ca
炭酸カリウム (無水)	炭酸カリウム, 炭酸K
炭酸カルシウム	炭酸 Ca
炭酸水素ナトリウム	炭酸水素 Na, 重炭酸 Na, 重曹
炭酸ナトリウム	炭酸 Na
炭酸マグネシウム	炭酸 Mg
チアベンダゾール	TBZ
チアミン塩酸塩	チアミン, ビタミン B <sub>1</sub> , V. B <sub>1</sub>
チアミン硝酸塩	チアミン, ビタミン B <sub>1</sub> , V. B <sub>1</sub>
チアミンセチル硫酸塩	チアミン, ビタミン B <sub>1</sub> , V. B <sub>1</sub>
チアミンチオシアン酸塩	チアミン, ビタミン B <sub>1</sub> , V. B <sub>1</sub>

チアミンナフタレンー1,5ージスルホン酸塩	チアミン, ビタミンB <sub>1</sub> , V.B <sub>1</sub>
チアミンラウリル硫酸塩	チアミン, ビタミンB <sub>1</sub> , V.B <sub>1</sub>
L-テアニン	テアニン
鉄クロロフィリンナトリウム	鉄クロロフィリンNa, 鉄葉緑素
デヒドロ酢酸ナトリウム	デヒドロ酢酸Na
デンプングリコール酸ナトリウム	加工デンプン, デンプングリコール酸Na
銅クロロフィリンナトリウム	銅クロロフィリンNa, 銅葉緑素
銅クロロフィル	銅葉緑素
dI-α-トコフェロール	トコフェロール, ビタミンE, V.E
トコフェロール酢酸エステル	酢酸トコフェロール, 酢酸ビタミンE, 酢酸V.E
d-α-トコフェロール酢酸エステル	酢酸トコフェロール, 酢酸ビタミンE, 酢酸V.E
DL-トリプトファン	トリプトファン
L-トリプトファン	トリプトファン
DL-トレオニン	トレオニン, スレオニン
L-トレオニン	トレオニン, スレオニン
ニコチン酸アミド	ニコチン酸, ナイアシン
二酸化硫黄	二酸化イオウ, 亜硫酸塩
二酸化ケイ素	酸化ケイ素(微粒二酸化ケイ素を用いる場合は, 酸化ケイ素のほか, 「微粒二酸化ケイ素」, 「微粒酸化ケイ素」, 「微粒シリカゲル」という簡略名を用いることができる。)
二酸化炭素	炭酸
二酸化チタン	酸化チタン
乳酸カリウム	乳酸K
乳酸カルシウム	乳酸Ca
乳酸ナトリウム	乳酸Na
ノルビキシンカリウム	ノルビキシンK, 水溶性アナトー, アナトー, アナトー色素, カロチノイド, カロチノイド色素, カロテノイド, カロテノイド色素
ノルビキシンナトリウム	ノルビキシンNa, 水溶性アナトー, アナトー, アナトー色素, カロチノイド, カロチノイド色素, カロテノイド, カロテノイド色素
パラオキシ安息香酸イソブチル	パラオキシ安息香酸, イソブチルパラベン
パラオキシ安息香酸イソプロピル	パラオキシ安息香酸, イソプロピルパラベン
パラオキシ安息香酸エチル	パラオキシ安息香酸, エチルパラベン
パラオキシ安息香酸ブチル	パラオキシ安息香酸, ブチルパラベン
パラオキシ安息香酸プロピル	パラオキシ安息香酸, プロピルパラベン
L-バリン	バリン

パントテン酸カルシウム	パントテン酸 Ca
パントテン酸ナトリウム	パントテン酸 Na
L-ヒスチジン塩酸塩	ヒスチジン塩酸塩, ヒスチジン
ビスベンチアミン	チアミン, ビタミンB <sub>1</sub> , V.B <sub>1</sub>
ビタミンA	V.A
ビタミンA脂肪酸エステル	ビタミンAエステル, レチノールエステル, ビタミンA, V.A
ヒドロキシプロピル化リン酸架橋デンプン	加工デンプン
ヒドロキシプロピルセルロース	HPC
ヒドロキシプロピルデンプン	加工デンプン
ヒドロキシプロピルメチルセルロース	HPMC
ヒマワリレシチン	レシチン
氷酢酸	酢酸
ピリドキシン塩酸塩	ピリドキシン, V.B <sub>6</sub>
ピロ亜硫酸カリウム	亜硫酸塩, 亜硫酸カリウム, 亜硫酸K, 重亜硫酸カリウム, 重亜硫酸K
ピロ亜硫酸ナトリウム	亜硫酸塩, 亜硫酸ナトリウム, 亜硫酸Na, 重亜硫酸ナトリウム, 重亜硫酸Na, 亜硫酸ソーダ
ピロリン酸四カリウム	ピロリン酸K
ピロリン酸二水素カルシウム	ピロリン酸カルシウム, ピロリン酸Ca
ピロリン酸二水素二ナトリウム	ピロリン酸ナトリウム, ピロリン酸Na
ピロリン酸第二鉄	ピロリン酸鉄
ピロリン酸四ナトリウム	ピロリン酸Na
L-フェニルアラニン	フェニルアラニン
フェロシアン化カリウム	フェロシアン化K
フェロシアン化カルシウム	フェロシアン化Ca
フェロシアン化ナトリウム	フェロシアン化Na
ブチルヒドロキシアニソール	BHA
フマル酸一ナトリウム	フマル酸Na
プロピオン酸カルシウム	プロピオン酸Ca
プロピオン酸ナトリウム	プロピオン酸Na
プロピレングリコール脂肪酸エステル	プロピレングリコールエステル
没食子酸プロピル	没食子酸
ポリアクリル酸ナトリウム	ポリアクリル酸Na
ポリビニルピロリドン	ポピドン, PVP
ポリリン酸カリウム	ポリリン酸K
ポリリン酸ナトリウム	ポリリン酸Na
D-マンニトール	マンニトール, マンニット

メタリン酸カリウム	メタリン酸K
メタリン酸ナトリウム	メタリン酸Na
DL—メチオニン	メチオニン
L—メチオニン	メチオニン
メチルヘスペリジン	ヘスペリジン, ビタミンP, V.P
<i>dI</i> —メントール	メントール
<i>l</i> —メントール	メントール
モルホリン脂肪酸塩	モルホリン
L—リシンL—アスパラギン酸塩	リシン, リジン, リシンアスパラギン酸塩, リジンアスパラギン酸塩
L—リシン塩酸塩	リシン, リジン, リシン塩酸塩, リジン塩酸塩
L—リシンL—グルタミン酸塩	リシン, リジン, リシングルタミン酸塩, リジングルタミン酸塩
5′ —リボヌクレオチドカルシウム	リボヌクレオチドカルシウム, リボヌクレオチドCa, リボヌクレオチドカルシウム, リボヌクレオチドCa
5′ —リボヌクレオチドナトリウム	リボヌクレオチドナトリウム, リボヌクレオチドNa, リボヌクレオチドナトリウム, リボヌクレオチドNa
リボフラビン	V. B <sub>2</sub>
リボフラビン酪酸エステル	リボフラビン, ビタミンB <sub>2</sub> , V. B <sub>2</sub>
リボフラビン 5′ —リン酸エステルナトリウム	リボフラビン, ビタミンB <sub>2</sub> , V. B <sub>2</sub>
硫酸アルミニウムアンモニウム	アンモニウムミョウバン
硫酸アルミニウムカリウム	カリミョウバン, ミョウバン
硫酸カリウム	硫酸K
硫酸カルシウム	硫酸Ca
硫酸第一鉄	硫酸鉄
硫酸ナトリウム	硫酸Na
硫酸マグネシウム	硫酸Mg
DL—リンゴ酸	リンゴ酸
DL—リンゴ酸ナトリウム	リンゴ酸ナトリウム, リンゴ酸Na
リン酸架橋デンプン	加工デンプン
リン酸化デンプン	加工デンプン
リン酸三カリウム	リン酸カリウム, リン酸K
リン酸三カルシウム	リン酸カルシウム, リン酸Ca
リン酸三マグネシウム	リン酸マグネシウム, リン酸Mg
リン酸水素二アンモニウム	リン酸アンモニウム

リン酸二水素アンモニウム	リン酸アンモニウム
リン酸水素二カリウム	リン酸カリウム, リン酸K
リン酸二水素カリウム	リン酸カリウム, リン酸K
リン酸一水素カルシウム	リン酸カルシウム, リン酸Ca
リン酸一水素マグネシウム	リン酸マグネシウム, リン酸Mg
リン酸二水素カルシウム	リン酸カルシウム, リン酸Ca
リン酸水素二ナトリウム	リン酸ナトリウム, リン酸Na
リン酸二水素ナトリウム	リン酸ナトリウム, リン酸Na
リン酸三ナトリウム	リン酸ナトリウム, リン酸Na
リン酸モノエステル化リン酸架橋デンプン	加工デンプン



## 別添 添加物 1 - 2

### 同種の機能の添加物を併用した場合における簡略名の例

#### 1 酸及びその塩類を併用した場合

酸の名称の後に括弧を付して、使用した塩の元素記号を表示する（括弧内の塩は、使用量の多い順に表示する。以下同じ。）。

併用する物質名	簡 略 名
安息香酸及び安息香酸ナトリウム	安息香酸 (Na)
クエン酸及びクエン酸ナトリウム	クエン酸 (Na)
ソルビン酸, ソルビン酸カリウム及びソルビン酸カルシウム	ソルビン酸 (K, Ca)
乳酸, 乳酸ナトリウム及び乳酸カルシウム	乳酸 (Na, Ca)
氷酢酸及び酢酸ナトリウム	酢酸 (Na)
リン酸及びリン酸三ナトリウム	リン酸 (Na)

#### 2 同じ酸の塩類を2種類以上併用した場合

酸の名称に「塩」を付し、その後に括弧を付して、使用した塩の元素記号を表示する。

併用する物質名	簡 略 名
L-グルタミン酸カリウム及びL-グルタミン酸カルシウム	グルタミン酸塩 (K, Ca)
DL-酒石酸水素カリウム及びDL-酒石酸ナトリウム	酒石酸塩 (K, Na)
ステアリン酸カルシウム及びステアリン酸マグネシウム	ステアリン酸塩 (Ca, Mg)
ステアロイル乳酸カルシウム及びステアロイル乳酸ナトリウム	ステアロイル乳酸塩 (Ca, Na)
炭酸ナトリウム及び炭酸マグネシウム	炭酸塩 (Na, Mg)

#### 3 各種のリン酸の塩類を併用した場合

一括して「リン酸塩」と表示した後に括弧を付して、使用した塩の元素記号を表示する。

リン酸三ナトリウム及びピロリン酸四カリウム	リン酸塩 (Na, K)
ピロリン酸二水素カルシウム及びピロリン酸四ナトリウム	リン酸塩 (Ca, Na)
ポリリン酸カリウム及びメタリン酸カリウム	リン酸塩 (K)
ピロリン酸四ナトリウム及びポリリン酸ナトリウム	リン酸塩 (Na)
ピロリン酸四ナトリウム及びメタリン酸カリウム	リン酸塩 (Na, K)

4 塩違いの同種の化合物を2種類以上併用した場合

化合物名を表示した後に括弧を付して、使用した塩の元素記号を表示する。

塩化カルシウム及び塩化マグネシウム	塩化物 (Ca, Mg)
酸化カルシウム及び酸化マグネシウム	酸化物 (Ca, Mg)
フェロシアン化カリウム及びフェロシアン化ナトリウム	フェロシアン化物 (K, Na)

別添 添加物 1 - 3

規則別表第 1 に掲げる添加物のうち用途名併記を要するものの例示

1	甘味料, 人工甘味料又は合成甘味料	アセスルファムカリウム アスパルテーム アドバンテーム キシリトール グリチルリチン酸二ナトリウム サッカリン サッカリンカルシウム サッカリンナトリウム スクラロース
2	着色料又は合成着色料	β-アポ-8'-カロテナール β-カロテン カンタキサンチン 食用赤色 2 号及びそのアルミニウムレーキ 食用赤色 3 号及びそのアルミニウムレーキ 食用赤色 40 号及びそのアルミニウムレーキ 食用赤色 102 号 食用赤色 104 号 食用赤色 105 号 食用赤色 106 号 食用黄色 4 号及びそのアルミニウムレーキ 食用黄色 5 号及びそのアルミニウムレーキ 食用緑色 3 号及びそのアルミニウムレーキ 食用青色 1 号及びそのアルミニウムレーキ 食用青色 2 号及びそのアルミニウムレーキ 三二酸化鉄 鉄クロロフィリンナトリウム 銅クロロフィル 銅クロロフィリンナトリウム 二酸化チタン ノルビキシンカリウム ノルビキシンナトリウム リボフラビン リボフラビン酪酸エステル リボフラビン 5'-リン酸エステルナトリウム

3	保存料又は合成保存料	安息香酸 安息香酸ナトリウム ソルビン酸 ソルビン酸カリウム ソルビン酸カルシウム デヒドロ酢酸ナトリウム ナイシン パラオキシ安息香酸イソブチル パラオキシ安息香酸イソプロピル パラオキシ安息香酸エチル パラオキシ安息香酸ブチル パラオキシ安息香酸プロピル プロピオン酸 プロピオン酸カルシウム プロピオン酸ナトリウム 亜硫酸ナトリウム 次亜硫酸ナトリウム 二酸化硫黄 ピロ亜硫酸カリウム ピロ亜硫酸ナトリウム
4	増粘剤，安定剤，ゲル化剤又は糊料	アセチル化アジピン酸架橋デンプン アセチル化酸化デンプン アセチル化リン酸架橋デンプン アルギン酸ナトリウム アルギン酸プロピレングリコールエステル オクテニルコハク酸デンプンナトリウム カルボキシメチルセルロースカルシウム カルボキシメチルセルロースナトリウム 酢酸デンプン 酸化デンプン デンプングリコール酸ナトリウム ヒドロキシプロピル化リン酸架橋デンプン ヒドロキシプロピルデンプン ポリアクリル酸ナトリウム ポリビニルピロリドン メチルセルロース リン酸架橋デンプン リン酸化デンプン

		リン酸モノエステル化リン酸架橋デンプン
5	酸化防止剤	エチレンジアミン四酢酸カルシウム二ナトリウム エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム エリソルビン酸 エリソルビン酸ナトリウム クエン酸イソプロピル ジブチルヒドロキシトルエン ブチルヒドロキシアニソール 没食子酸プロピル アスコルビン酸 アスコルビン酸ステアリン酸エステル アスコルビン酸ナトリウム アスコルビン酸パルミチン酸エステル <i>dI</i> - $\alpha$ -トコフェロール 亜硫酸ナトリウム 次亜硫酸ナトリウム 二酸化硫黄 ピロ亜硫酸カリウム ピロ亜硫酸ナトリウム
6	発色剤	亜硝酸ナトリウム 硝酸カリウム 硝酸ナトリウム
7	漂白剤	亜硫酸ナトリウム 次亜硫酸ナトリウム 二酸化硫黄 ピロ亜硫酸カリウム ピロ亜硫酸ナトリウム
8	防かび剤又は防ばい剤	アゾキシストロビン イマザリル オルトフェニルフェノール オルトフェニルフェノールナトリウム チアベンダゾール ジフェニル ピリメタニル フルジオキシソニル

## 別添 添加物 1 - 4

### 各一括名の定義及びその添加物の範囲

#### 1 イーストフード

- (1) 定義 パン、菓子等の製造工程で、イーストの栄養源等の目的で使用される添加物及びその製剤
- (2) 一括名 イーストフード
- (3) 添加物の範囲 以下の添加物をイーストフードの目的で使用する場合
- |              |              |
|--------------|--------------|
| 塩化アンモニウム     | 塩化マグネシウム     |
| グルコン酸カリウム    | グルコン酸ナトリウム   |
| 酸化カルシウム      | 焼成カルシウム      |
| 炭酸アンモニウム     | 炭酸カリウム（無水）   |
| 炭酸カルシウム      | 硫酸アンモニウム     |
| 硫酸カルシウム      | 硫酸マグネシウム     |
| リン酸三カルシウム    | リン酸水素二アンモニウム |
| リン酸二水素アンモニウム | リン酸一水素カルシウム  |
| リン酸一水素マグネシウム | リン酸二水素カルシウム  |

#### 2 ガムベース

- (1) 定義 チューインガム用の基材として使用される添加物製剤
- (2) 一括名 ガムベース
- (3) 添加物の範囲 以下の添加物をガムベースとしての目的で使用する場合
- |                   |                                      |
|-------------------|--------------------------------------|
| エステルガム            | グリセリン脂肪酸エステル                         |
| 酢酸ビニル樹脂           | ショ糖脂肪酸エステル                           |
| ソルビタン脂肪酸エステル      | 炭酸カルシウム                              |
| ポリイソブチレン          | ポリブテン                                |
| プロピレングリコール脂肪酸エステル | リン酸一水素カルシウム                          |
| リン酸三カルシウム         | 別添 添加物 2 - 1 の用途欄に「ガムベース」と記載されている添加物 |

#### 3 かんすい

- (1) 定義 中華麺類の製造に用いられるアルカリ剤で、炭酸カリウム、炭酸ナトリウム、炭酸水素ナトリウム及びリン酸類のカリウム又はナトリウム塩のうち1種以上を含むもの
- (2) 一括名 かんすい
- (3) 添加物の範囲 以下の添加物をかんすいとしての目的で使用する場合
- |            |         |
|------------|---------|
| 炭酸カリウム（無水） | 炭酸ナトリウム |
|------------|---------|

炭酸水素ナトリウム	ピロリン酸四カリウム
ピロリン酸二水素二ナトリウム	ピロリン酸四ナトリウム
ポリリン酸カリウム	ポリリン酸ナトリウム
メタリン酸カリウム	メタリン酸ナトリウム
リン酸三カリウム	リン酸水素二カリウム
リン酸二水素カリウム	リン酸水素二ナトリウム
リン酸二水素ナトリウム	リン酸三ナトリウム

#### 4 苦味料

- (1) 定義 食品の製造又は加工の工程で、苦味の付与又は増強による味覚の向上又は改善のために使用される添加物及びその製剤
- (2) 一括名 苦味料
- (3) 添加物の範囲 別添 添加物 2-1 及び別添 添加物 2-3 の用途欄に「苦味料等」と記載されている添加物（香辛料抽出物を除く。）

#### 5 酵素

- (1) 定義 食品の製造又は加工の工程で、その有する触媒作用を目的として使用された、生活細胞によって生産された酵素類であって、最終食品においても失活せず、効果を有する添加物及びその製剤
- (2) 一括名 酵素
- (3) 添加物の範囲 アスパラギナーゼ及び別添 添加物 2-1 の用途欄に「酵素」と記載された添加物

#### 6 光沢剤

- (1) 定義 食品の製造又は加工の工程で、食品の保護及び表面に光沢を与える目的で使用される添加物及びその製剤
- (2) 一括名 光沢剤
- (3) 添加物の範囲 別添 添加物 2-1 の用途欄に「光沢剤」と記載された添加物を光沢剤としての目的で使用する場合

#### 7 香料

- (1) 定義 食品の製造又は加工の工程で、香気を付与又は増強するため添加される添加物及びその製剤
- (2) 一括名 香料又は合成香料
- (3) 添加物の範囲 以下の添加物を香料としての目的で使用する場合
- |                     |          |
|---------------------|----------|
| アセトアルデヒド            | アセト酢酸エチル |
| アセトフェノン             | アニスアルデヒド |
| (3-アミノ-3-カルボキシプロピル) | アミルアルコール |

ジメチルスルホニウム塩化物	アントラニル酸メチル
$\alpha$ -アミルシンナムアルデヒド	イオノン
アンモニウムイソバレレート	イソオイゲノール
イソアミルアルコール	イソ吉草酸イソアミル
イソブチルアルデヒド	イソキノリン
イソ吉草酸エチル	イソチオシアン酸アリル
イソチオシアネート類	イソブタノール
イソバレルアルデヒド	イソペンチルアミン
イソプロパノール	$\gamma$ -ウンデカラクトン
インドール及びその誘導体	2-エチル-3, 5-ジメチルピラジン及び 2-エチル-3, 6-ジメチルピラジンの 混合物
エステル類	2-エチルピラジン
エチルバニリン	2-エチル-3-メチルピラジン
3-エチルピリジン	2-エチル-6-メチルピラジン
2-エチル-5-メチルピラジン	エーテル類
5-エチル-2-メチルピリジン	オクタノール
オイゲノール	ギ酸イソアミル
オクタン酸エチル	ギ酸シトロネリル
ギ酸ゲラニル	ケイ皮酸
クエン酸三エチル	ケイ皮酸メチル
ケイ皮酸エチル	ゲラニオール
ケトン類	酢酸エチル
酢酸イソアミル	酢酸シクロヘキシル
酢酸ゲラニル	酢酸シンナミル
酢酸シトロネリル	酢酸フェネチル
酢酸テルピニル	酢酸ベンジル
酢酸ブチル	酢酸リナリル
酢酸1-メンチル	2,3-ジエチルピラジン
サリチル酸メチル	シクロヘキシルプロピオン酸アリル
2, 3-ジエチル-5-メチルピラジン	シトロネラール
シトラール	1, 8-シネオール
シトロネロール	脂肪族高級アルコール類
脂肪酸類	脂肪族高級炭化水素類
脂肪族高級アルデヒド類	2, 5-ジメチルピラジン
2, 3-ジメチルピラジン	2, 6-ジメチルピリジン
2, 6-ジメチルピラジン	シンナムアルデヒド
シンナミルアルコール	



チオエーテル類	チオール類
デカナール	デカノール
デカン酸エチル	5, 6, 7, 8-テトラヒドロキノキサリン
2, 3, 5, 6-テトラメチルピラジン	テルピネオール
テルペン系炭化水素類	トリメチルアミン
2, 3, 5-トリメチルピラジン	$\gamma$ -ノナラクトン
バニリン	パラメチルアセトフェノン
バレラルデヒド	ヒドロキシシトロネラール
ヒドロキシシトロネラールジメチル	ピペリジン
アセタール	
ピペロナール	ピラジン
ピロリジン	ピロール
フェニル酢酸イソアミル	フェニル酢酸イソブチル
フェニル酢酸エチル	2- (3-フェニルプロピル) ピリジン
フェネチルアミン	フェノールエーテル類
フェノール類	ブタノール
ブチルアミン	ブチルアルデヒド
フルフラール及びその誘導体	プロパノール
プロピオンアルデヒド	プロピオン酸
プロピオン酸イソアミル	プロピオン酸エチル
プロピオン酸ベンジル	ヘキサン酸
ヘキサン酸アリル	ヘキサン酸エチル
ヘプタン酸エチル	1-ペリルアルデヒド
ベンジルアルコール	ベンズアルデヒド
2-ペンタノール	<i>trans</i> -2-ペンテナール
1-ペンテン-3-オール	芳香族アルコール類
芳香族アルデヒド類	<i>d</i> -ボルネオール
マルトール	N-メチルアントラニル酸メチル
5-メチルキノキサリン	6-メチルキノリン
5-メチル-6, 7-ジヒドロ-5 <i>H</i> -	1-メチルナフタレン
シクロペンタピラジン	
メチル $\beta$ -ナフチルケトン	2-メチルピラジン
2-メチルブタノール	3-メチル-2-ブタノール
2-メチルブチルアルデヒド	<i>trans</i> -2-メチル-2-ブテナール
3-メチル-2-ブテナール	3-メチル-2-ブテノール
<i>dl</i> -メントール	<i>l</i> -メントール
酪酸	酪酸イソアミル
酪酸エチル	酪酸シクロヘキシル

酪酸ブチル

ラクトン類

リナロオール

別添 添加物 2-2 に掲げる添加物

## 8 酸味料

(1) 定義 食品の製造又は加工の工程で、酸味の付与又は増強による味覚の向上又は改善のために使用される添加物及びその製剤

(2) 一括名 酸味料

(3) 添加物の範囲 以下の添加物を酸味料としての目的で使用する場合

アジピン酸

クエン酸

クエン酸三ナトリウム

グルコノデルタラクトン

グルコン酸

グルコン酸カリウム

グルコン酸ナトリウム

コハク酸

コハク酸一ナトリウム

コハク酸二ナトリウム

酢酸ナトリウム

DL-酒石酸

L-酒石酸

DL-酒石酸ナトリウム

L-酒石酸ナトリウム

二酸化炭素

乳酸

乳酸ナトリウム

氷酢酸

フマル酸

フマル酸一ナトリウム

DL-リンゴ酸

DL-リンゴ酸ナトリウム

リン酸

別添 添加物 2-1 の用途欄に「酸味料」と記載された添加物

## 9 チューインガム軟化剤

(1) 定義 チューインガムを柔軟に保つために使用する添加物及びその製剤

(2) 一括名 軟化剤

(3) 添加物の範囲 以下の添加物をチューインガム軟化剤としての目的で使用する場合

グリセリン

プロピレングリコール

D-ソルビトール

## 10 調味料

(1) 定義 食品の製造又は加工の工程で、味の付与又は味質の調整等味覚の向上又は改善のために使用される添加物及びその製剤。ただし、もっぱら甘味の目的で使用される甘味料、酸味の目的で使用される酸味料又は苦味の目的で使用される苦味料を除く。

(2) 一括名 調味料（アミノ酸等）等

(3) 添加物の範囲 以下の添加物を調味料としての目的で使用する場合

① アミノ酸

L-アスパラギン酸ナトリウム	DL-アラニン
L-アルギニンL-グルタミン酸塩	L-イソロイシン
グリシン	グルタミルバリルグリシン
L-グルタミン酸	L-グルタミン酸アンモニウム
L-グルタミン酸ナトリウム	L-テアニン
DL-トリプトファン	L-トリプトファン
DL-トレオニン	L-トレオニン
L-バリン	L-ヒスチジン塩酸塩
L-フェニルアラニン	DL-メチオニン
L-メチオニン	L-リシンL-アスパラギン酸塩
L-リシン塩酸塩	L-リシンL-グルタミン酸塩

別添 添加物 2-1 の用途欄に「調味料」と記載された添加物（アミノ酸に限る。）

② 核酸

5' -イノシン酸二ナトリウム	5' -ウリジル酸二ナトリウム
5' -グアニル酸二ナトリウム	5' -シチジル酸二ナトリウム
5' -リボヌクレオチドカルシウム	5' -リボヌクレオチド二ナトリウム

③ 有機酸

クエン酸カルシウム	クエン酸三ナトリウム
グルコン酸カリウム	グルコン酸ナトリウム
コハク酸	コハク酸一ナトリウム
コハク酸二ナトリウム	酢酸ナトリウム
DL-酒石酸水素カリウム	L-酒石酸水素カリウム
DL-酒石酸ナトリウム	L-酒石酸ナトリウム
乳酸カリウム	乳酸カルシウム
乳酸ナトリウム	フマル酸一ナトリウム
DL-リンゴ酸ナトリウム	

④ 無機塩

塩化カリウム	硫酸カリウム
リン酸三カリウム	リン酸水素二カリウム
リン酸二水素カリウム	リン酸水素二ナトリウム
リン酸二水素ナトリウム	リン酸三ナトリウム
塩水湖水低塩化ナトリウム液	粗製海水塩化カリウム
ホエイソルト	

(1) 定義 大豆から調製した豆乳を豆腐様に凝固させる際に用いられる添加物及びその製剤

(2) 一括名 豆腐用凝固剤又は凝固剤

(3) 添加物の範囲 以下の添加物を豆腐用凝固剤としての目的で使用する場合

塩化カルシウム

塩化マグネシウム

グルコノデルタラクトン

硫酸カルシウム

硫酸マグネシウム

粗製海水塩化マグネシウム

## 12 乳化剤

(1) 定義 食品に乳化，分散，浸透，洗浄，起泡，消泡，離型等の目的で使用される添加物及びその製剤

(2) 一括名 乳化剤

(3) 添加物の範囲 以下の添加物を乳化剤としての目的で使用する場合

① 乳化剤を主要用途とするもの

オクテニルコハク酸デンプンナトリウム

クエン酸三エチル

グリセリン脂肪酸エステル

シヨ糖脂肪酸エステル

ステアロイル乳酸カルシウム

ステアロイル乳酸ナトリウム

ソルビタン脂肪酸エステル

ヒマワリレシチン

プロピレングリコール脂肪酸エステル

ポリソルベート 20

ポリソルベート 60

ポリソルベート 65

ポリソルベート 80

別添 添加物 2-1 の用途欄に「乳化剤」と記載された添加物

② プロセスチーズ，チーズフード及びプロセスチーズ加工品に①に掲げるものに加えて乳化剤として使用されるもの

クエン酸カルシウム

クエン酸三ナトリウム

グルコン酸カリウム

グルコン酸ナトリウム

ピロリン酸四カリウム

ピロリン酸二水素カルシウム

ピロリン酸二水素二ナトリウム

ピロリン酸四ナトリウム

ポリリン酸カリウム

ポリリン酸ナトリウム

メタリン酸カリウム

メタリン酸ナトリウム

リン酸三カリウム

リン酸三カルシウム

リン酸水素二アンモニウム

リン酸二水素アンモニウム

リン酸水素二カリウム

リン酸二水素カリウム

リン酸一水素カルシウム

リン酸二水素カルシウム

リン酸水素二ナトリウム

リン酸二水素ナトリウム

リン酸三ナトリウム

## 13 水素イオン濃度調整剤

(1) 定義 食品を適切な pH 領域に保つ目的で使用される添加物及びその製剤。ただし、中華麺類にかんすいの目的で使用される場合を除く。

(2) 一括名 水素イオン濃度調整剤又は pH 調整剤

(3) 添加物の範囲 以下の添加物を水素イオン濃度調整剤としての目的で使用する場合

アジピン酸	クエン酸
クエン酸三ナトリウム	グルコノデルタラクトン
グルコン酸	グルコン酸カリウム
グルコン酸ナトリウム	コハク酸
コハク酸一ナトリウム	コハク酸二ナトリウム
酢酸ナトリウム	DL-酒石酸
L-酒石酸	DL-酒石酸水素カリウム
L-酒石酸水素カリウム	DL-酒石酸ナトリウム
L-酒石酸ナトリウム	炭酸カリウム（無水）
炭酸水素ナトリウム	炭酸ナトリウム
二酸化炭素	乳酸
乳酸カリウム	乳酸ナトリウム
氷酢酸	ピロリン酸二水素二ナトリウム
フマル酸	フマル酸一ナトリウム
DL-リンゴ酸	DL-リンゴ酸ナトリウム
リン酸	リン酸水素二カリウム
リン酸二水素カリウム	リン酸水素二ナトリウム
リン酸二水素ナトリウム	

別添 添加物 2-1 の用途欄に「酸味料」と記載された添加物

#### 14 膨脹剤

(1) 定義 パン、菓子等の製造工程で添加し、ガスを発生して生地を膨脹させ多孔性にするとともに食感を向上させる添加物及びその製剤

(2) 一括名 膨脹剤，膨張剤，ベーキングパウダー又はふくらし粉

(3) 添加物の範囲 以下の添加物を膨脹剤としての目的で使用する場合

アジピン酸	L-アスコルビン酸
塩化アンモニウム	クエン酸
クエン酸カルシウム	グルコノデルタラクトン
DL-酒石酸	L-酒石酸
DL-酒石酸水素カリウム	L-酒石酸水素カリウム
炭酸アンモニウム	炭酸カリウム（無水）
炭酸カルシウム	炭酸水素アンモニウム
炭酸水素ナトリウム	炭酸ナトリウム
炭酸マグネシウム	乳酸

乳酸カルシウム  
ピロリン酸二水素カルシウム  
ピロリン酸四ナトリウム  
フマル酸一ナトリウム  
ポリリン酸ナトリウム  
メタリン酸ナトリウム  
硫酸アルミニウムアンモニウム  
DL-リンゴ酸  
リン酸三カルシウム  
リン酸二水素カリウム  
リン酸二水素カルシウム  
リン酸二水素ナトリウム

ピロリン酸四カリウム  
ピロリン酸二水素二ナトリウム  
フマル酸  
ポリリン酸カリウム  
メタリン酸カリウム  
硫酸カルシウム  
硫酸アルミニウムカリウム  
DL-リンゴ酸ナトリウム  
リン酸水素二カリウム  
リン酸一水素カルシウム  
リン酸水素二ナトリウム

別添 添加物 1 - 5

栄養強化の目的が考えられる添加物の範囲

(1) ビタミン類 (33 品目)

L-アスコルビン酸	L-アスコルビン酸カルシウム
L-アスコルビン酸ステアリン酸エステル	L-アスコルビン酸ナトリウム
L-アスコルビン酸 2-グルコシド	L-アスコルビン酸パルミチン酸エステル
エルゴカルシフェロール	$\beta$ -カロテン
コレカルシフェロール	ジベンゾイルチアミン
ジベンゾイルチアミン塩酸塩	チアミン塩酸塩
チアミン硝酸塩	チアミンセチル硫酸塩
チアミンチオシアン酸塩	チアミンナフタレン-1, 5-ジスルホン酸塩
チアミンラウリル硫酸塩	トコフェロール酢酸エステル
d- $\alpha$ -トコフェロール酢酸エステル	ニコチン酸
ニコチン酸アミド	パントテン酸カルシウム
パントテン酸ナトリウム	ビオチン
ビスベンチアミン	ビタミンA
ビタミンA脂肪酸エステル	ピリドキシン塩酸塩
メチルヘスペリジン	葉酸
リボフラビン	リボフラビン酪酸エステル
リボフラビン 5' -リン酸エステルナトリウム	

(2) ミネラル類 (34 品目)

亜鉛塩類 (グルコン酸亜鉛及び硫酸亜鉛に限る。)	L-アスコルビン酸カルシウム
亜セレン酸ナトリウム	塩化カルシウム
塩化第二鉄	塩化マグネシウム
クエン酸カルシウム	クエン酸第一鉄ナトリウム
クエン酸鉄	クエン酸鉄アンモニウム
グリセロリン酸カルシウム	グルコン酸カルシウム
グルコン酸第一鉄	酢酸カルシウム
酸化カルシウム	酸化マグネシウム
水酸化カルシウム	水酸化マグネシウム
ステアリン酸カルシウム	炭酸カルシウム
炭酸マグネシウム	銅塩類 (グルコン酸銅及び硫酸銅に限る。)
乳酸カルシウム	乳酸鉄
ピロリン酸二水素カルシウム	ピロリン酸第二鉄

硫酸カルシウム  
硫酸マグネシウム  
リン酸三マグネシウム  
リン酸一水素マグネシウム

硫酸第一鉄  
リン酸三カルシウム  
リン酸一水素カルシウム  
リン酸二水素カルシウム

(3) アミノ酸類 (24 品目)

L-アスパラギン酸ナトリウム  
L-アルギニンL-グルタミン酸塩  
グリシン  
L-グルタミン酸カリウム  
L-グルタミン酸ナトリウム  
L-システイン塩酸塩  
DL-トリプトファン  
DL-トレオニン  
L-バリン  
L-フェニルアラニン  
L-メチオニン  
L-リシン塩酸塩

DL-アラニン  
L-イソロイシン  
L-グルタミン酸  
L-グルタミン酸カルシウム  
L-グルタミン酸マグネシウム  
L-テアニン  
L-トリプトファン  
L-トレオニン  
L-ヒスチジン塩酸塩  
DL-メチオニン  
L-リシンL-アスパラギン酸塩  
L-リシンL-グルタミン酸塩



## 別添 添加物 1－6

ばら売り等により販売される食品のうち、添加物の表示を要する添加物一覧

### 1 防かび剤又は防ばい剤

- ・アゾキシストロビン
- ・イマザリル
- ・オルトフェニルフェノール
- ・オルトフェニルフェノールナトリウム
- ・ジフェニル
- ・チアベンダゾール
- ・ピリメタニル
- ・フルジオキシニル

### 2 甘味料

- ・サッカリン
- ・サッカリンカルシウム
- ・サッカリンナトリウム

既存添加物名簿収載品目リスト

番号	品 名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名 称	別 名				
1	アウレオバシジウム培養液 (アウレオバシジウム培養液から得られた、β-1,3-1,6-グルカンを主成分とするものをいう。)			黒酵母 ( <i>Aureobasidium pullulans</i> ) の培養液より、分離して得られたものである。主成分はβ-1,3-1,6-グルカンである。	増粘安定剤	<i>Aureobasidium cultured solution</i>
2	アガラーゼ			担子菌 ( <i>Coliolum</i> ) 又は細菌 ( <i>Bacillus, Pseudomonas</i> ) の培養液より、水で抽出して得られたものである。	酵素	Agarase
3	アクチニジン			マタタビ科キウイ ( <i>Actinidia chinensis</i> PLANCH) の果肉より、搾汁して得られたもの、又はこれを、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、若しくは膜で濃縮して得られたものである。	酵素	Actinidine
4	アグロバクテリウムスクシノグリカン (アグロバクテリウムの培養液から得られた、スクシノグリカン主成分とするものをいう。)		スクシノグリカン	細菌 ( <i>Agrobacterium tumefaciens</i> ) の培養液より、分離して得られた多糖類である。主成分はスクシノグリカンである。	増粘安定剤	<i>Agrobacterium succinoglycan</i>
5	アシラーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus ochraceus, Aspergillus melleus</i> ) の培養液より、水で抽出して得られたもの、冷時～室温時除菌したもの、又はこれより、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Acyase
6	アスコルビン酸オキシダーゼ	アスコルベートオキシダーゼ ピタンミンCオキシダーゼ	オキシダーゼ V.Cオキシダーゼ	ウリ、カボチャ、キャベツ、キュウリ若しくはホウレンソウより、搾汁して得られたもの、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、冷時アセトンで処理して得られたもの、又は糸状菌 ( <i>Trichoderma lignorum</i> ) 若しくは放線菌 ( <i>Eupenicillium brefeldianum</i> ) の培養液より、除菌後、濃縮して得られたものである。	酵素	Ascorbate oxidase
7	L-アスパラギン		アスパラギン	植物性タンパク質を、加水分解し、分離して得られたものである。成分はL-アスパラギンである。	調味料 強化剤	L-Asparagine
8	L-アスパラギン酸		アスパラギン酸	発酵又は酵素法により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-アスパラギン酸である。	調味料	L-Aspartic acid
9	アスペルギルスステレウス糖たん白質 (アスペルギルスステレウスの培養液から得られた、糖タンパク質を主成分とするものをいう。)	ムタステイン		糸状菌 ( <i>Aspergillus terreus</i> ) によるブドウ糖、澱粉及び大豆ミールの発酵培養液を除菌し、硫酸アンモニウムにより分画した後、脱塩して得られたものである。主成分は糖タンパク質である。	製造用剤	<i>Aspergillus terreus glycoprotein</i>
10	α-アセトラクタートデカルボキシラーゼ	α-アセトラクタートデカルボキシラーゼ	リアーゼ	細菌 ( <i>Bacillus subtilis, Serratia</i> ) の培養液より、室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	α-Acetolactate decarboxylase
11	5'-アデニル酸	アデノシン5'-リン酸	5'-AMP	酵母 ( <i>Candida utilis</i> ) の菌体より、水で抽出した核酸を酵素で加水分解した後、分離して得られたものである。成分は5'-アデニル酸である。	強化剤	5'-Adenylic acid
12	アナトー色素 (ベニノキの種子の被覆物から得られた、ノルビキシン及びビキシンを主成分とするものをいう。)		アナトー カロチノイド カロチノイド色素 カロチノイド カロチノイド色素	ベニノキ科ベニノキ ( <i>Bixa orellana</i> LINNE) の種子の被覆物より、熱時油脂若しくはプロピレングリコールで抽出して得られたもの、室温時ヘキササン若しくはアセトンで抽出し、溶媒を除去して得られたもの、又は熱時アルカリ性水溶液で抽出し、加水分解し、中和して得られたものである。主色素はビキシン及びノルビキシンである。黄色～橙色を呈する。	着色料	Annatto extract
13	アマシードガム (アマの種子から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)		アマシード	アマ科アマ ( <i>Linum usitatissimum</i> LINNE) の種子の胚乳部分より、室温時～温時水又は含水アルコールで抽出して得られたものである。主成分は多糖類である。	増粘安定剤	Linseed gum Linseed extract
14	アミノペプチダーゼ			細菌 ( <i>Aeromonas caviae, Lactobacillus casei, Lactococcus lactis</i> ) の培養液より、分離して得られたものである。	酵素	Aminopeptidase
15	α-アミラーゼ	液化アミラーゼ G3分解酵素	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	糸状菌 ( <i>Aspergillus aureus, Aspergillus niger, Aspergillus oryzae</i> )、細菌 ( <i>Alcaligenes latus, Arthrobacter, Bacillus amyloliquefaciens, Bacillus licheniformis, Bacillus stearothermophilus, Bacillus subtilis, Sulfolobus solfataricus</i> ) 若しくは放線菌 ( <i>Thermomonospora viridis</i> ) の培養液より、又は麦芽より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、除菌したもの若しくは濃縮したものの、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	α-Amylase
16	β-アミラーゼ		アミラーゼ カルボヒドラーゼ	糸状菌 ( <i>Aspergillus oryzae</i> )、放線菌 ( <i>Streptomyces</i> ) 若しくは細菌 ( <i>Bacillus amyloliquefaciens, Bacillus polymyxa, Bacillus subtilis</i> ) の培養液より、又は麦芽若しくは穀類の種子より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの若しくは濃縮して得られたもの、又は冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	β-Amylase
17	L-アラニン		アラニン	タンパク質原料の加水分解又は発酵若しくは酵素法により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-アラニンである。	調味料 強化剤	L-Alanine

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
18	アラビアガム (アカシアの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	アカシアガム	アカシア	アカシア属植物 ( <i>Acacia senegal</i> Willdenow又は <i>Acacia seyal</i> Delile) の分泌液を、乾燥して得られた、又はこれを脱塩して得られた、多糖類を主成分とするものである。	増粘安定剤	Gum Arabic Arabic gum Acacia gum
19	アラビノガラクトラン			マツ科セイヨウカラマツ ( <i>Larix occidentalis</i> NUTT.) 又はその他同属植物の根又は幹より、室温時水で抽出して得られたものである。成分は多糖類 (構成糖はガラクトース、アラビノース等) である。	増粘安定剤	Arabino galactan
20	L-アラビノース		アラビノース	アラビアガム、ガディガム、コーンファイバー又はテンサイのバルブ (シュガービートバルブ) の多糖類 (アラビナン等) を、加水分解し、分離して得られたものである。成分はL-アラビノースである。	甘味料	L-Arabinose
21	L-アルギニン		アルギニン	タンパク質原料の加水分解により又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-アルギニンである。	調味料 強化剤	L-Arginine
22	アルギン酸	昆布類粘質物		褐藻類 ( <i>Phaeophyceae</i> ) より、温時～熱時水又はアルカリ性水溶液で抽出し、精製して得られたものである。成分はアルギン酸である。	増粘安定剤	Alginate acid
23	アルギン酸リアーゼ			細菌 ( <i>Alteromonas macleodii</i> , <i>Flavobacterium multivolum</i> , <i>Pseudomonas</i> , <i>Xanthomonas</i> ) の培養液より、室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	Alginate lyase
24	アルミニウム	アルミ末		<sup>27</sup> Al	着色料	Aluminium
25	アントシアナーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Penicillium decumbens</i> ) の培養液より、又は麦芽若しくは穀類の種子より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの又はこれを冷時エタノール又は含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Anthocyanase
26	イソアミラーゼ	枝切り酵素		細菌 ( <i>Bacillus</i> , <i>Flavobacterium odoratum</i> , <i>Pseudomonas amvloderamosa</i> ) の培養液より、冷時～室温時除菌後、冷時～室温時濃縮して得られたものである。	酵素	Isoamylase
27	イソアルファー苦味酸 (ホップの花から得られた、イソフムロン類を主成分とするものをいう。)	イソアルファー酸	ホップ	クワ科ホップ ( <i>Humulus lupulus</i> LINNE) の雌花より、水、二酸化炭素又は有機溶剤で抽出し、熱処理して得られたものである。主成分はイソフムロン類である。	苦味料等	Iso- $\alpha$ -bitter acid
28	イソマルトデキストラナーゼ			細菌 ( <i>Arthrobacter</i> ) の培養液より、水で抽出して得られたものである。	酵素	Iso maltodextranase
29	イタコン酸	メチレンコハク酸		麹菌 ( <i>Aspergillus terreus</i> ) による穀粉又は粗糖発酵培養液より、分離して得られたものである。成分はイタコン酸である。	酸味料	Itaconic acid
30	イナワラ灰抽出物 (イネの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。)	ワラ灰抽出物	植物灰抽出物	イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE) の茎又は葉を灰化したものより、室温時水で抽出して得られたものであって、アルカリ金属及びアルカリ土類金属を含む。	製造用剤	Rice straw ash extract
31	イヌリナーゼ	イヌラーゼ		糸状菌 ( <i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus phoenicis</i> , <i>Penicillium purpurogenum</i> , <i>Trichoderma</i> ) の培養液より、室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	Inulinase
32	イノシトール	イノシット		「フィチン酸」を分解したものより、又はアカザ科サトウダイコン ( <i>Beta vulgaris</i> LINNE var. <i>rapa</i> DUMORTIER) の糖液又は糖蜜より、分離して得られたものである。成分はイノシトールである。	強化剤	Inositol
33	インベルターゼ	サッカラーゼ シュークララーゼ スクラーゼ		糸状菌 ( <i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus awamori</i> , <i>Aspergillus niger</i> )、細菌 ( <i>Arthrobacter</i> , <i>Bacillus</i> ) 又は酵母 ( <i>Kluyveromyces lactis</i> , <i>Saccharomyces cerevisiae</i> ) の培養液より、冷時～室温時菌体を回収して得られたもの、冷時～室温時水若しくはアルカリ性水溶液で抽出して得られたもの、冷時～室温時濃縮して得られたもの、又はアセトン若しくはアルコールで処理し、イオン交換処理後、アセトン若しくはアルコールで処理及び透析除去したものである。	酵素	Invertase
34	ウェランガム (アルカリゲネスの培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	ウェラン多糖類		グラム陰性細菌 ( <i>Alcaligenes</i> ) の培養液より、分離して得られた多糖類である。	増粘安定剤	Welan gum

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
35	ウコン色素 (ウコンの根茎から得られた、クルクミンを主成分とするものをいう。)	クルクミン ターメリック色素	ウコン	ウコン ( <i>Curcuma longa</i> LINNE) の根茎から得られた、クルクミンを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	着色料	Turmeric oleoresin Curcumin
36	ウルシロウ (ウルシの果実から得られた、グリセリンバルミタートを主成分とするものをいう。)			ウルシ科ウルシ ( <i>Rhus verniciflua</i> LINNE) の果実より、融解、さらして得られたものである。主成分はグリセリンバルミタートである。	ガムベース 光沢剤	Urushi Wax
37	ウレアーゼ		アミダーゼ	乳酸菌 ( <i>Lactobacillus fermentum</i> ) 又は細菌 ( <i>Arthrobacter</i> ) の培養液を、室温時水で抽出し、冷時エタノールで処理して得られたもの、又は濃縮し、微温時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Urease
38	エキソマルトテトラオヒドロラーゼ	G4生成酵素	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	細菌 ( <i>Pseudomonas stutzeri</i> ) の培養液より、室温時除菌し、膜で濃縮して得られたもの、又はこれをエタノールで処理して得られたものである。	酵素	Exomaltotetrahydrolase
39	エステラーゼ			動物の肝臓、魚類、糸状菌 ( <i>Aspergillus</i> )、細菌 ( <i>Pseudomonas</i> ) 若しくは酵母 ( <i>Candida</i> , <i>Torulopsis</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、除菌したものの若しくは濃縮したもの、又は冷時～室温時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Esterase
40	エレミ樹脂 (エレミの分泌液から得られた、β-アミリンを主成分とするものをいう。)			カンラン科エレミ ( <i>Canarium luzonicum</i> A. GRAY.) の分泌液を、乾燥して得られたものである。主成分はβ-アミリンである。	増粘安定剤 ガムベース	Elemi resin
41	塩水湖水低塩化ナトリウム液 (塩水湖水から塩化ナトリウムを析出分離して得られた、アルカリ金属塩類及びアルカリ土類金属塩類を主成分とするものをいう。)		塩水湖水ミネラル液	塩水湖の塩水を、天日蒸散により濃縮し、塩化ナトリウムを析出分離し、残りの液体をろ過したものである。主成分はアルカリ金属塩類及びアルカリ土類金属塩類である。	調味料	Sodium chloride-decreased brine (saline lake)
42	オゾケライト	セレシン		ワックスシュールの鉱脈に含まれるロウを精製したものである。主成分はC <sub>29</sub> ～C <sub>33</sub> の炭化水素である。	ガムベース	Ozokerite
43	オゾン			O <sub>3</sub>	製造用剤	Ozone
44	オリゴガラクチュロン酸			「ベクチン」をベクチナーゼで酵素分解し、限外ろ過して得られたものであって、ガラクチュロン酸の1～9量体の混合物からなる。	製造用剤	Oligogalacturonic acid
45	γ-オリザノール (米ぬか又は胚芽油から得られた、ステロールとフェルラ酸及びトリテルペンアルコールとフェルラ酸のエステルを主成分とするものをいう。)		オリザノール	イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE) の種子より得られる米ぬか又は胚芽油より、室温時含水エタノール及びn-ヘキサン又はアセトンで分配した後、含水エタノール画分から得られたものである。主成分はステロールとフェルラ酸及びトリテルペンアルコールとフェルラ酸のエステルである。	酸化防止剤	γ-Oryzanol
46	オレガノ抽出物 (オレガノの葉から得られた、カルバクロール及びチモールを主成分とするものをいう。)			シソ科オレガノ ( <i>Origanum vulgare</i> LINNE) の葉より、室温時～温時エタノール、含水エタノール又はヘキサンで抽出して得られたものである。成分としてチモール及びカルバクロールを含む。	製造用剤	Oregano extract
47	オレンジ色素 (アマダイダイの果実又は果皮から得られた、カロテン及びキサントフィルを主成分とするものをいう。)		カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素 果実色素	ミカン科アマダイダイ ( <i>Citrus sinensis</i> OSBECK) の果実又は果皮より、搾汁したもの、又は熱時エタノール、ヘキサン若しくはアセトンで抽出し、溶媒を除去して得られたものである。主色素はβ-クリプトキサントキサンチンの脂肪酸エステルである。黄色を呈する。	着色料	Orange colour
48	海藻灰抽出物 (褐藻類の灰化物から得られた、ヨウ化カリウムを主成分とするものをいう。)			褐藻類を焼成灰化したものより、水で抽出して得られたものである。主成分はヨウ化カリウムである。	製造用剤	Seaweed ash extract
49	カオリン	白陶土	不溶性鉱物性物質	天然の含水ケイ酸アルミニウムを精製したものである。	製造用剤	Kaolin
50	カカオ色素 (カカオの種子から得られた、アントシアニンの重合物を主成分とするものをいう。)	ココア色素	カカオ フラボノイド フラボノイド色素	アオギリ科カカオ ( <i>Theobroma cacao</i> LINNE) の種子 (カカオ豆) を発酵後、焙焼したものより、温時弱アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はアントシアニンが熱により重合したものである。褐色を呈する。	着色料	Cacao colour
51	カキ色素 (カキの果実から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)		果実色素 フラボノイド フラボノイド色素	カキノキ科カキ ( <i>Diospyros kaki</i> THUNB.) の果実を発酵後、焙焼したものより、温時含水エタノールで抽出して得られたもの、又は温時弱アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はフラボノイドである。赤褐色を呈する。	着色料	Japanese persimmon colour
52	花こう斑岩		麦飯石 不溶性鉱物性物質	花こう斑岩を洗浄、粉碎したものを、乾燥後、滅菌して得られたものである。	製造用剤	Granite porphyry
53	カシアガム (エビスグサモドキの種子を粉砕して得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	カシヤガム		マメ科エビスグサモドキ ( <i>Cassia tora</i> LINNE) の種子の胚乳部を、粉砕して得られたものである。主成分は多糖類である。	増粘安定剤	Cassia gum

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
54	カタラーゼ		オキシダーゼ	ブタの肝臓より、水で抽出して得られたもの、又は糸状菌 ( <i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus awamori</i> , <i>Aspergillus foetidus</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus phoenicis</i> , <i>Penicillium amagasakiense</i> ) 細菌 ( <i>Micrococcus lyzodeikticus</i> ) 若しくは酵母 ( <i>Saccharomyces</i> ) の培養液より、冷時～室温水で抽出して得られたもの、温時溶菌後、除菌し、冷時～室温時濃縮して得られたもの、又はこれを冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Catalase
55	活性炭 (含炭素物質を炭化し、賦活化して得られたものをいう。)			錐屑、木片、ヤシ殻の植物性繊維質、亜炭又は石油等の含炭素物質を炭化後、賦活化を行って得られたものである。	製造用剤	Active carbon
56	活性白土		不溶性鉱物性物質	酸性白土を硫酸処理して得られたものである。主成分は含水ケイ酸アルミニウムである。	製造用剤	Activated acid clay
57	ガティガム (ガティノキの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)		ガティ	ガティノキ ( <i>Anogeissus latifolia</i> Wallich) の分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものである。	増粘安定剤	Gum ghatti
58	カテキン			ツバキ科チャ ( <i>Camellia sinensis</i> O.KZE.) の茎若しくは葉、マメ科ベグアセンヤク ( <i>Acacia catechu</i> WILLD.) の幹枝又はアカネ科ガンピール ( <i>Uncaria gambir</i> ROXBURGH) の幹枝若しくは葉より、乾留した後、水又はエタノールで抽出し、精製して得られたもの、又は熱時水で抽出した後、メタノール若しくは酢酸エチルで分配して得られたものである。成分はカテキン類である。	酸化防止剤	Catechin
59	カールドラン (アグロバクテリウム又はアルカリゲネスの培養液から得られた、 $\beta$ -1,3-グルカンの主成分とするものをいう。)		ブドウ糖多糖	アグロバクテリウム属菌 ( <i>Agrobacterium biovar 1</i> ) 又はリゾビウム属菌 ( <i>Rhizobium radiobacter</i> ) の培養液から得られた、 $\beta$ -1,3-グルカンを主成分とするものである。	増粘安定剤 製造用剤	Curdlan
60	カフェイン (抽出物) (コーヒーの種子又はチャの葉から得られた、カフェインを主成分とするものをいう。)		カフェイン	アカネ科コーヒー ( <i>Coffea arabica</i> LINNE) の種子 (コーヒー豆) 又はツバキ科チャ ( <i>Camellia sinensis</i> O.KZE.) の葉より、水又は二酸化炭素で抽出し、分離、精製して得られたものである。主成分はカフェインである。	苦味料等	Caffeine (extract)
61	カラギナン (イバラノリ、キリンサイ、ギンナンソウ、スギノリ又はツノマタの全藻から得られた、 $\iota$ -カラギナン、 $\kappa$ -カラギナン及び $\lambda$ -カラギナンを主成分とするものをいう。)	カラギーナン カラゲナン カラゲナン カラゲニン			増粘安定剤	Carrageenan
	加工ユーケマ藻類		ユーケマ	カラギナン (イバラノリ属 ( <i>Hypnea</i> )、キリンサイ属 ( <i>Eucheuma</i> )、ギンナンソウ属 ( <i>Iridaea</i> )、スギノリ属 ( <i>Gigartina</i> ) 又はツノマタ属 ( <i>Chondrus</i> ) の藻類の全藻から得られた、 $\iota$ -カラギナン、 $\kappa$ -カラギナン及び $\lambda$ -カラギナンを主成分とするものをいう。) の一つである。		Semirefined carrageenan Processed eucheuma algae Processed red algae
	精製カラギナン		紅藻抽出物	カラギナン (イバラノリ属 ( <i>Hypnea</i> )、キリンサイ属 ( <i>Eucheuma</i> )、ギンナンソウ属 ( <i>Iridaea</i> )、スギノリ属 ( <i>Gigartina</i> ) 又はツノマタ属 ( <i>Chondrus</i> ) の全藻から得られた、 $\iota$ -カラギナン、 $\kappa$ -カラギナン及び $\lambda$ -カラギナンを主成分とするものをいう。) の一つである。ショ糖、ブドウ糖、マルトース、乳糖又はデキストリンを含むことがある。		Purified carrageenan Refined carrageenan
	ユーケマ藻末		ユーケマ	ミリン科キリンサイ属 ( <i>Eucheuma</i> ) の全藻を、乾燥、粉碎して得られたものである。		Powdered red algae
62	$\alpha$ -ガラクトシダーゼ	メリピアーゼ	カルボヒドラーゼ	糸状菌 ( <i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus awamori</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus phoenicis</i> , <i>Mortierella</i> ) 又は細菌 ( <i>Bacillus stearothermophilus</i> ) の培養液より、室温時～微温時水、酸性水溶液若しくはアルカリ性水溶液で抽出して得られたもの、冷時含水エタノールで処理したもの、又は除菌後、濃縮して得られたものである。	酵素	$\alpha$ -Galactosidase
63	$\beta$ -ガラクトシダーゼ	ラクターゼ	カルボヒドラーゼ	動物の臓器より、冷時～微温時水で抽出して得られたもの、又は糸状菌 ( <i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Penicillium multicolor</i> , <i>Rhizopus oryzae</i> )、細菌 ( <i>Bacillus circulans</i> , <i>Streptococcus</i> ) 若しくは酵母 ( <i>Kluyveromyces fragillus</i> , <i>Kluyveromyces lactis</i> , <i>Saccharomyces</i> ) の培養液より、冷時～室温水で抽出して得られたもの、室温時自己消化処理して得られたもの、冷時～室温時濃縮したもの、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	$\beta$ -Galactosidase (Lactase)
64	カラシ抽出物 (カラシナの種子から得られた、イソチオシアニ酸アリルを主成分とするものをいう。)	マスタード抽出物		アブラナ科カラシナ ( <i>Brassica juncea</i> LINNE) の種子の脂肪油を除いた圧搾粕より、水蒸気蒸留により得られたものである。主成分はイソチオシアニ酸アリルである。	製造用剤	Mustard extract

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
65	カラメルⅠ (でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物を熱処理して得られたものをいう。ただし、「カラメルⅡ」、「カラメルⅢ」及び「カラメルⅣ」を除く。)	カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物を、熱処理して得られたもの、又は酸若しくはアルカリを加えて熱処理して得られたもので、亜硫酸化合物及びアンモニウム化合物を使用していないものである。	着色料 製造用剤	Caramel I (plain)
66	カラメルⅡ (でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に亜硫酸化合物を加えて熱処理して得られたものをいう。ただし、「カラメルⅣ」を除く。)	カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に、亜硫酸化合物を加えて、又はこれに酸若しくはアルカリを加えて熱処理して得られたもので、アンモニウム化合物を使用していないものである。	着色料 製造用剤	Caramel II (caustic sulfite process)
67	カラメルⅢ (でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物にアンモニウム化合物を加えて熱処理して得られたものをいう。ただし、「カラメルⅣ」を除く。)	カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に、アンモニウム化合物を加えて、又はこれに酸若しくはアルカリを加えて熱処理して得られたもので、亜硫酸化合物を使用していないものである。	着色料 製造用剤	Caramel III (ammonia process)
68	カラメルⅣ (でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に亜硫酸化合物及びアンモニウム化合物を加えて熱処理して得られたものをいう。)	カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に、亜硫酸化合物及びアンモニウム化合物を加えて、又はこれに酸若しくはアルカリを加えて熱処理して得られたものである。	着色料 製造用剤	Caramel IV (sulfite ammonia process)
69	カラヤガム (カラヤ又はキバナワタモドキの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)		カラヤ	カラヤ ( <i>Sterculia urens</i> Roxburgh) 又はキバナワタモドキ ( <i>Cochlospermum gossypium</i> de Candolle) の分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものである。	増粘安定剤	Karaya gum
70	カルナウバロウ (ブラジルロウヤシの葉から得られた、ヒドロキシセロチン酸セシルを主成分とするものをいう。)	カルナウバワックス ブラジルワックス	植物ワックス	ブラジルロウヤシ ( <i>Copernicia prunifera</i> H. E. Moore ( <i>Copernicia cerifera</i> Martius)) の葉から得られた、ヒドロキシセロチン酸セシルを主成分とするものである。	ガムベース 光沢剤	Carnauba wax Brazil wax
71	カルボキシペプチダーゼ			イネ科コムギ ( <i>Triticum aestivum</i> LINNE) の種皮及び果皮 (ふすま) より、酢酸水溶液で抽出したもの、又は糸状菌 ( <i>Aspergillus</i> ) 若しくは酵母 ( <i>Saccharomyces cerevisiae</i> ) の培養液より、冷時～室温水で抽出して得られたもの若しくは冷時～室温時濃縮し、冷エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Carboxypeptidase
72	カロブ色素 (イナゴマメの種子の胚芽を粉砕して得られたものをいう。)	カロブジャーム	カロブ フラボノイド フラボノイド色素	マメ科イナゴマメ ( <i>Ceratonia siliqua</i> LINNE) の種子の胚芽を、粉砕して得られたものである。淡黄色を呈する。	着色料 製造用剤	Carob germ colour
73	カロブビーンガム (イナゴマメの種子の胚乳を粉砕し、又は溶解し、沈殿して得られたものをいう。)	ローカストビーンガム	ローカスト	イナゴマメ ( <i>Ceratonia siliqua</i> Linné) の種子の胚乳を粉砕し、又は溶解し、沈殿して得られたものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Carob bean gum Locust bean gum
74	カラワヨモギ抽出物 (カラワヨモギの全草から得られた、カピリンを主成分とするものをいう。)		カラワヨモギ	キク科カラワヨモギ ( <i>Artemisia capillaris</i> THUNB.) の全草より、室温時エタノール若しくは含水エタノールで抽出して得られたもの、又は水蒸気蒸留して得られたものである。有効成分はカピリン等である。	保存料	Rumput roman extract
75	カンゾウ抽出物 (ウラルカンゾウ、チョウカカンゾウ又はヨウカンゾウの根又は根茎から得られた、グリチルリチン酸を主成分とするものをいう。)	カンゾウエキス グリチルリチン リコリス抽出物	カンゾウ カンゾウ甘味料 リコリス	ウラルカンゾウ ( <i>Glycyrrhiza uralensis</i> Fischer)、チョウカカンゾウ ( <i>Glycyrrhiza inflata</i> Batalin)、ヨウカンゾウ ( <i>Glycyrrhiza glabra</i> Linné)、又はそれらの近縁植物の根若しくは根茎から得られた、グリチルリチン酸を主成分とするものである。本品には、粗製物と精製物がある。	甘味料	Licorice extract
76	カンゾウ油性抽出物 (ウラルカンゾウ、チョウカカンゾウ又はヨウカンゾウの根又は根茎から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)		油性カンゾウ	マメ科ウラルカンゾウ ( <i>Glycyrrhiza uralensis</i> FISCHER)、マメ科チョウカカンゾウ ( <i>Glycyrrhiza inflata</i> BATALIN) 又はマメ科ヨウカンゾウ ( <i>Glycyrrhiza glabra</i> LINNE) の根又は根茎を水で洗浄した残渣より、室温時～温時エタノール、アセトン又はヘキサンで抽出して得られたものである。主成分はフラボノイドである。	酸化防止剤	Licorice oil extract
77	カンデリラロウ (カンデリラの茎から得られた、ヘントリアコンタンを主成分とするものをいう。)	カンデリラワックス キャンデリラロウ キャンデリラワックス	植物ワックス	カンデリラ ( <i>Euphorbia antisyphilitica</i> Zuccarini 又は <i>Euphorbia cerifera</i> Alcocer) の茎から得られた、ヘントリアコンタンを主成分とするものである。	ガムベース 光沢剤	Candelilla wax
78	キサンタンガム (キサントモナスの培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	キサンタン多糖類 ザンサンガム	キサンタン	キサントモナス属菌 ( <i>Xanthomonas campestris</i> ) の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものである。ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Xanthan gum

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
79	キシラナーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Trichoderma koningii</i> , <i>Trichoderma longibrachiatum reesei</i> , <i>Trichoderma viride</i> ) の培養液より、分離して得られたものである。	酵素	Xylanase
80	D-キシロース		キシロース	木材又はアオイ科ワタ ( <i>Gossypium arboretum</i> LINNE)、イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE)、イネ科サトウキビ ( <i>Saccharum officinarum</i> LINNE) 若しくはイネ科トウモロコシ ( <i>Zea Mays</i> LINNE) 又はその他同属植物の茎、実又は穀より、熱時酸性水溶液で加水分解し、分離して得られたものである。成分はD-キシロースである。	甘味料	D-Xylose
81	キチナーゼ			糸状菌 ( <i>Trichoderma harzianum</i> , <i>Trichoderma reesei</i> )、放線菌 ( <i>Amycolatopsis orientalis</i> , <i>Streptomyces</i> ) 又は細菌 ( <i>Aeromonas</i> ) の培養液より、冷時～室温時除菌後、濃縮し、硫酸アンモニウムで分画したもの、若しくはエタノールで処理したものから得られたものである。	酵素	Chitinase
82	キチン			エビ、カニ等甲殻類の甲殻又はイカの甲を、室温時～温時酸性水溶液で炭酸カルシウムを除去した後、温時～熱時弱アルカリ性水溶液でタンパク質を除去したもので、N-アセチル-D-グルコサミンの多量体からなる。	増粘安定剤	Chitin
83	キトサナーゼ			細菌 ( <i>Aeromonas</i> , <i>Bacillus</i> ) 又は糸状菌 ( <i>Aspergillus niger</i> , <i>Trichoderma reesei</i> , <i>Trichoderma viride</i> , <i>Verticillium</i> ) の培養液より、除菌後、冷時～微温時濃縮したもの又はエタノール若しくはアセトンで処理して得られたものである。	酵素	Chitosanase
84	キトサン			「キチン」を、温時～熱時水酸化ナトリウム水溶液で脱アセチル化したもので、D-グルコサミンの多量体からなる。	増粘安定剤 製造用剤	Chitosan
85	キナ抽出物 (アカキナの樹皮から得られた、キニンジン、キニーネ及びシンコニンを主成分とするものをいう。)			アカネ科アカキナ ( <i>Cinchona succirubra</i> PAVON) の樹皮より、水又はエタノール等で抽出して得られたものである。有効成分はキニーネ、キニンジン及びシンコニンである。	苦味料等	Redbark cinchona extract
86	キハダ抽出物 (キハダの樹皮から得られた、ベルベリンを主成分とするものをいう。)		キハダ	ミカン科キハダ ( <i>Phellodendron amurense</i> RUPR.) の樹皮より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はベルベリンである。	苦味料等	Phellodendron bark extract
87	魚鱗箔 (魚類の上皮部から抽出して得られたものをいう。)			イワシ科マイワシ ( <i>Sardinops melanosticta</i> TEMMINCK et SCHLEGEL)、タチウオ科タチウオ ( <i>Trichiurus lepturus</i> LINNE) 又はニシン科ニシン ( <i>Clupea pallasii</i> CUVIER et VALENCIENNES) の魚体の上皮部を採り、室温時水又は弱アルカリ性水溶液で洗浄後、室温時エタノールで抽出して得られたものである。主色素は不明であるが、グアニンを含む。白色～淡黄灰色を呈する。	着色料	Fish scale foil
88	キラヤ抽出物 (キラヤの樹皮から得られた、サポニン主成分とするものをいう。)	キラヤサポニン	サポニン	キラヤ ( <i>Quillaja saponaria</i> Molina) の樹皮から得られた、サポニンを主成分とするものである。	乳化剤	Quillaja extract Quillaja extract
89	金	金箔		<sup>197</sup> Au	着色料 製造用剤	Gold
90	銀	銀箔		<sup>107</sup> Ag, <sup>109</sup> Ag	着色料	Silver
91	グァーガム (グァーの種子から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。ただし、「グァーガム酵素分解物」を除く。)	グァーフラワー グァーガム	グァー	グァー ( <i>Cyamopsis tetragonoloba</i> Taubert) の種子から得られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖又はデキストリンを含むことがある。	増粘安定剤	Guar gum
92	グァーガム酵素分解物 (グァーの種子を粉砕し、分解して得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	グァーフラワー酵 素分解物 グァーガム酵素分 解物	グァー分解物	「グァーガム」を、酵素 ( $\alpha$ -ガラクトシダーゼ、ヘミセルラーゼ) で分解して得られたものである。主成分は多糖類である。	増粘安定剤	Enzymatically hydrolyzed guar gum
93	グァヤク脂 (ユソウボクの幹枝から得られた、グアヤコン酸、グアヤレチック酸及び $\beta$ -レジン主成分とするものをいう。)			ハマビシ科ユソウボク ( <i>Guajacum officinale</i> LINNE) の幹枝を、加熱して得られたものである。有効成分は、グアヤコン酸、グアヤレチック酸及び $\beta$ -レジンである。	酸化防止剤	Guaiac resin Guajac resin
94	グァヤク樹脂 (ユソウボクの分泌液から得られた、 $\alpha$ -グアヤコン酸及び $\beta$ -グアヤコン酸を主成分とするものをいう。)			ハマビシ科ユソウボク ( <i>Guajacum officinale</i> LINNE) の分泌液を、室温時エタノールで抽出し、ろ液からエタノールを留去して得られたものである。主構成成分は $\alpha$ -、 $\beta$ -グアヤコン酸である。	ガムベース	Guajac resin (extract)

番号	品名		簡略名又は別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
95	ケルセチン	ケルセチン	ルチン分解物	「ルチン(抽出物)」を、酵素又は酸性水溶液で加水分解して得られたものである。成分はケルセチンである。	酸化防止剤	Quercetin
96	クチナシ青色素 (クチナシの果実から得られたイリド配糖体とタンパク質分解物の混合物にβ-グルコシダーゼを添加して得られたものをいう。)		クチナシ クチナシ色素	クチナシ ( <i>Gardenia augusta</i> Merrill又は <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis) の果実から得られたイリド配糖体とタンパク質分解物の混合物に、β-グルコシダーゼを添加して得られたものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Gardenia blue
97	クチナシ赤色素 (クチナシの果実から得られたイリド配糖体のエステル加水分解物とタンパク質分解物の混合物にβ-グルコシダーゼを添加して得られたものをいう。)		クチナシ クチナシ色素	クチナシ ( <i>Gardenia augusta</i> Merrill又は <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis) の果実から得られたイリド配糖体のエステル加水分解物とタンパク質分解物の混合物に、β-グルコシダーゼを添加して得られたものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Gardenia red
98	クチナシ黄色素 (クチナシの果実から得られた、クロシン及びクロセチンを主成分とするものをいう。)		カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロチノイド色素 クチナシ クチナシ色素 クロシン	クチナシ ( <i>Gardenia augusta</i> Merrill又は <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis) の果実から得られた、クロシン及びクロセチンを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Gardenia yellow
99	グッタハンカン (グッタハンカンの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。)			アカテツ科グッタハンカン ( <i>Palaquium leiocarpum</i> BOERL.) の幹枝より得られたラテックスを、熱水で洗浄し、水溶成分を除去したもので得られたものである。主成分はトランスポリイソブレン及びアミリンアセタートである。	ゴムベース	Gutta hang kang
100	グッタベルカ (グッタベルカの分泌液から得られた、ポリイソブレンを主成分とするものをいう。)			アカテツ科グッタベルカ ( <i>Palaquium gutta</i> BURCK.) の幹枝より得られたラテックスを、熱水で洗浄し、水溶成分を除去したもので得られたものである。主成分はトランスポリイソブレンである。	ゴムベース	Gutta percha
101	クリストバル石		不溶性鉱物性物質	鉱床より採掘したクリストバル石を、粉碎乾燥、800～1200℃で焼成、又は塩酸処理して焼成したものである。	製造用剤	Cristobalite
102	グルカナナーゼ		カルボヒドラーゼ ヘミセルラーゼ	糸状菌 ( <i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Humicola insolens</i> , <i>Rhizopus delemar</i> , <i>Trichoderma harzianum</i> , <i>Trichoderma longibrachiatum</i> , <i>Trichoderma viride</i> )、担子菌 ( <i>Pycnoporus coccineus</i> )、細菌 ( <i>Arthrobacter</i> , <i>Bacillus subtilis</i> , <i>Pseudomonas paucimobilis</i> ) 若しくは酵母 ( <i>Saccharomyces</i> ) の培養液より、冷時～微温時水若しくは酸性水溶液で抽出して得られたもの、除菌後、冷時～室温時濃縮したもの、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は除菌後、硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	Glucanase
103	グルコアミラーゼ	糖化アミラーゼ	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	糸状菌 ( <i>Acremonium</i> , <i>Aspergillus</i> , <i>Humicola grisea</i> , <i>Rhizopus delemar</i> , <i>Rhizopus niveus</i> )、担子菌 ( <i>Corticium rolsii</i> )、細菌 ( <i>Bacillus</i> , <i>Pseudomonas</i> ) 又は酵母 ( <i>Saccharomyces</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、冷時～室温時除菌後、濃縮したもの、冷時～室温時濃縮後、エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	Glucoamylase
104	グルコサミン			「キチン」を、塩酸で加水分解し、分離して得られたものである。成分はグルコサミンである。	増粘安定剤 製造用剤	Glucosamine
105	α-グルコシダーゼ	マルターゼ		糸状菌 ( <i>Absidia</i> , <i>Acremonium</i> , <i>Aspergillus</i> )、細菌 ( <i>Bacillus</i> , <i>Pseudomonas</i> ) 若しくは酵母 ( <i>Saccharomyces</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は冷時～室温時濃縮後、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	α-Glucosidase
106	β-グルコシダーゼ	ゲンチオビアーゼ セロビアーゼ		ゾテツ科ゾテツ ( <i>Cycas revoluta</i> THUNB.) より、冷時～微温時水で抽出して得られたもの、又は糸状菌 ( <i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus pulverulentus</i> , <i>Penicillium decumbens</i> , <i>Trichoderma harzianum</i> , <i>Trichoderma longibrachiatum</i> , <i>Trichoderma reesei</i> ) 若しくは細菌 ( <i>Bacillus</i> ) の培養液より、冷時～微温時水で抽出して得られたもの、冷時～室温時濃縮したもの、又は冷時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	β-Glucosidase
107	α-グルコシルトランスフェラーゼ	4-α-グルカノトランスフェラーゼ 6-α-グルカノトランスフェラーゼ		細菌 ( <i>Agrobacterium radiobacter</i> , <i>Arthrobacter</i> , <i>Bacillus</i> , <i>Erwinia</i> , <i>Pimelobacter</i> , <i>Protaminobacter</i> , <i>Pseudomonas</i> , <i>Serratia</i> , <i>Thermus</i> ) の培養液又はバレイショ ( <i>Solanum tuberosum</i> LINNE) の塊茎より、冷時～室温時除菌したもの、冷時水で抽出して得られたもの、又は冷時～室温時濃縮して得られたものである。なお、基質特異性により、4-α-グルカノトランスフェラーゼ、6-α-グルカノトランスフェラーゼと呼ばれるものがある。	酵素	α-Glucosyltransferase 4-α-Glucanotransferase 6-α-Glucanotransferase
108	α-グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビア (「ステビア抽出物」から得られた、α-グルコシルステビオシドを主成分とするものをいう。)	酵素処理ステビア	ステビア ステビア甘味料 糖転移ステビア	『ステビア抽出物』に、α-グルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。α-グルコシルステビオシドを主成分とする。	甘味料	α-Glucosyltransferase-treated stevia



番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
109	グルコースイソメラーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus</i> )、放線菌 ( <i>Actinoplanes missouriensis</i> , <i>Streptomyces griseofuscus</i> , <i>Streptomyces murinus</i> , <i>Streptomyces phaeochromogenes</i> , <i>Streptomyces rubiginosus</i> ) 又は細菌 ( <i>Bacillus coagulans</i> ) の培養液より、室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	Glucose isomerase
110	グルコースオキシダーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Penicillium</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は冷時～室温時溶菌後、除菌したもの、又は冷時～室温時濃縮後、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Glucose oxidase
111	グルタミナーゼ		アミダーゼ	枯草菌 ( <i>Bacillus subtilis</i> )、糸状菌 ( <i>Aspergillus</i> ) 又は酵母 ( <i>Candida</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、冷時～室温時濃縮したもの、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	Glutaminase
112	L-グルタミン		グルタミン	糖類を原料とした発酵により得られたものから分離して得られたものである。成分はL-グルタミンである。	調味料 強化剤	L-Glutamine
113	グレープフルーツ種子抽出物 (グレープフルーツの種子から得られた、脂肪酸及びフラボノイドを主成分とするものをいう。)		グレープフルーツ種子	ミカン科グレープフルーツ ( <i>Citrus paradisi</i> MACF.) の種子より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分は脂肪酸及びフラボノイドである。	製造用剤	Grapefruit seed extract
114	クローロ色素 (ソメモノイモの根から抽出して得られたものをいう。)	ソメモノイモ色素	フラボノイド フラボノイド色素	ヤマノイモ科ソメモノイモ ( <i>Dioscorea matsudai</i> HAYATA) の根より、熱時水、弱アルカリ性水溶液若しくはプロピレングリコールで抽出したもの、又は室温時含水エタノールで抽出して得られたものである。赤褐色を呈する。	着色料	Kooroo colour Matsudai colour
115	クローブ抽出物 (チョウジのつぼみ、葉又は花から得られた、オイゲノールを主成分とするものをいう。)	チョウジ抽出物	チョウジ油	フトモモ科チョウジ ( <i>Syzygium aromaticum</i> MERRILL et PERRY) のつぼみ、葉又は花より、エタノール又はアセトンで抽出して得られたもの、又は水蒸気蒸留により得られたものである。主成分はオイゲノール等である。	酸化防止剤	Clove extract
116	クロロフィリン		葉緑素	「クロロフィル」を、温時アルカリ性エタノール水溶液で加水分解し、希塩酸で中和した後、含水エタノールで抽出して得られたものである。主成分はマグネシウムクロロフィリンである。緑色を呈する。	着色料	Chlorophylline
117	クロロフィル		葉緑素	緑色植物より得られた、クロロフィル類を主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	着色料	Chlorophyll
118	くん液 (サトウキビ、竹材、トウモロコシ又は木材を燃焼して発生したガス成分を捕集し、又は乾溜して得られたものをいう。)	スモークフレーバー			製造用剤	Smoke flavourings
	木酢液			サトウキビ、竹材、トウモロコシ又は木材を、乾溜して得られたものである。		Wood vinegar Pyrolygneous acid
	リキッドスモーク			サトウキビ、竹材、トウモロコシ又は木材を、限定された空気存在下で、燃焼して発生したガス成分を捕集して得られたものである。		Liquid smoke
119	ケイソウ土		不溶性鉱物性物質	ケイソウ土に由来する二酸化ケイ素で、乾燥品、焼成品及び融剤焼成品があり、それぞれをケイソウ土 (乾燥品)、ケイソウ土 (焼成品) 及びケイソウ土 (融剤焼成品) と称する。焼成品は、800～1,200℃で焼成したものであり、融剤焼成品は、少量の炭酸のアルカリ塩を添加して800～1,200℃で焼成したものである。	製造用剤	Diatomaceous earth
120	ゲンチアナ抽出物 (ゲンチアナの根又は根茎から得られた、アマロゲンチン及びゲンチオピクロシドを主成分とするものをいう。)			リンドウ科ゲンチアナ ( <i>Gentiana lutea</i> LINNE) の根又は根茎より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。有効成分はゲンチオピクロシド (ゲンチオピクリン) 及びアマロゲンチンである。	苦味料等	Gentian root extract
121	高級脂肪酸 (動植物性油脂又は動植物性硬化油脂を加水分解して得られたものをいう。)		脂肪酸	動植物性油脂又は動植物性硬化油脂より、加水分解したもので得られたものである。	製造用剤	Higher fatty acid

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
122	香辛料抽出物 (アサノミ、アサフエチダ、アジワ ン、アニス、アンゼリカ、ウイキョ ウ、ウコン、オールスパイス、オレガ ノ、オレングビール、カショウ、カッ シア、カモミール、カラシナ、カルダ モン、カレーリーフ、カンゾウ、キャ ラウエー、クチナジ、クミン、クレソ ン、クローブ、ケシノミ、ケーパー、 コショウ、ゴマ、コリアンダー、サツ サfras、サフラン、サボリー、サル ビア、サンショウ、シソ、シナモン、 シャロット、ジュニパーベリー、ショ ウガ、スターアニス、スベアミント、 セイヨウワサビ、セロリー、ソーレ ル、タイム、タマネギ、タマリンド、 タラゴン、チャイブ、チャービル、 ディル、トウガラシ、ナツメグ、ニガ ヨモギ、ニジェラ、ニンジン、ニンニ ク、バジル、バセリ、ハッカ、パニ ラ、パプリカ、ヒソップ、フェネグ リーク、ペパーミント、ホースミン ト、マジョラム、ミョウガ、ラベン ダー、リンデン、レモングラス、レモ ンパーム、ローズ、ローズマリー、 ローレル又はワサビから抽出し、又は これを水蒸気蒸留して得られたものを いう。ただし、「ウコン色素」、「オ レガノ抽出物」、「オレングビール色 素」、「カラシ抽出物」、「カンゾウ抽出 物」、「カンゾウ油性抽出物」、「ク チナジ黄色素」、「クローブ抽出 物」、「ゴマ油不けん化物」、「シソ 抽出物」、「ショウガ抽出物」「精油 除去ウイキョウ抽出物」、「セイヨウ ワサビ抽出物」、「セージ抽出物」、 「タマネギ色素」、「タマリンド色 素」、「タマリンドシードガム」、 「タンニン(抽出物)」、「トウガラ シ色素」、「トウガラシ水性抽出 物」、「ニガヨモギ抽出物」、「ニン ジンカロテン」及び「ローズマリー抽 出物」を除く。)	スパイス抽出物	香辛料 スパイス	アサノミ、アサフエチダ、アジワ ン、アニス、アンゼリカ、ウイキョウ、 ウコン、オレガノ、オレングビール、 カショウ、カッシア、カモミール、 カラシナ、カルダモン、 カレーリーフ、カンゾウ、キャ ラウエー、クチナジ、クミン、クレソ ン、クローブ、ケシノミ、ケーパー、 コショウ、ゴマ、コリアンダー、サツ サfras、サフラン、サボリー、サル ビア、サンショウ、シソ、シナモン、 シャロット、ジュニパーベリー、ショ ウガ、スターアニス、スベアミント、 セイヨウワサビ、セロリー、ソーレ ル、タイム、タマネギ、タマリンド、 タラゴン、チャイブ、チャービル、 ディル、トウガラシ、ナツメグ、ニガ ヨモギ、ニジェラ、ニンジン、ニンニ ク、バジル、バセリ、ハッカ、パニ ラ、パプリカ、ヒソップ、フェネグ リーク、ペパーミント、ホースミン ト、マジョラム、ミョウガ、ラベン ダー、リンデン、レモングラス、レモ ンパーム、ローズ、ローズマリー、 ローレル又はワサビから抽出し、又は これを水蒸気蒸留して得られたものを いう。ただし、「ウコン色素」、「オ レガノ抽出物」、「オレングビール色 素」、「カラシ抽出物」、「カンゾウ抽出 物」、「カンゾウ油性抽出物」、「ク チナジ黄色素」、「クローブ抽出 物」、「ゴマ油不けん化物」、「シソ 抽出物」、「ショウガ抽出物」「精油 除去ウイキョウ抽出物」、「セイヨウ ワサビ抽出物」、「セージ抽出物」、 「タマネギ色素」、「タマリンド色 素」、「タマリンドシードガム」、 「タンニン(抽出物)」、「トウガラ シ色素」、「トウガラシ水性抽出 物」、「ニガヨモギ抽出物」、「ニン ジンカロテン」及び「ローズマリー抽 出物」を除く。)	苦味料等	Spice extracts
123	酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られ た、 $\alpha$ -グルコシルイソクエルシト リンを主成分とするものをいう。)	糖転移イソクエル シトリン	酵素処理ルチン 糖転移ルチン	『ルチン酵素分解物』とでん粉又はデキストリン の混合物に、シクロデキストリングルコシルト ランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して 得られたものである。主成分は $\alpha$ -グルコシルイ ソクエルシトリンである。	酸化防止剤	Enzymatically modified isoquercitrin
124	酵素処理ナリンジン (「ナリンジン」から得られた、 $\alpha$ - グルコシルナリンジンを主成分とする ものをいう。)	糖転移ナリンジン	ナリンジン	「ナリンジン」とデキストリンの混合物に、シク ロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを 用いてグルコースを付加させたものである。有効 成分は $\alpha$ -グルコシルナリンジンである。	苦味料等	Enzymatically modified naringin
125	酵素処理ヘスペリジン (「ヘスペリジン」にシクロデキスト リングルコシルトランスフェラーゼを 用いてグルコースを付加して得られた ものをいう。)	糖転移ヘスペリジ ン 糖転移ビタミンP	ヘスペリジン	柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性 水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シク ロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを 用いてD-グルコースを付加して得られたものであ る。	強化剤	Enzymatically modified hesperidin
126	酵素処理ルチン(抽出物) (「ルチン(抽出物)」から得られ た、 $\alpha$ -グルコシルルチンを主成分と するものをいう。)	糖転移ルチン(抽 出物)	酵素処理ルチン 糖転移ルチン	「ルチン(抽出物)」とでん粉又はデキストリン の混合物に、シクロデキストリングルコシルト ランスフェラーゼを用いてグルコースを $\alpha$ -1,4付加 して得られたものである。主成分は $\alpha$ -グルコシル ルチンである。	酸化防止剤 強化剤 着色料	Enzymatically modified rutin (extract)
127	酵素処理レシチン (「植物レシチン」又は「卵黄レシチ ン」から得られた、ホスファチジルグ リセロールを主成分とするものをい う。)		レシチン	「植物レシチン」又は「卵黄レシチン」とグリセ リンの混合物に、ホスホリパーゼDを用いて得ら れたものである。主成分はホスファチジルグリセ ロールである。	乳化剤	Enzymatically modified lecithin
128	酵素分解カンゾウ (「カンゾウ抽出物」を酵素分解して 得られた、グリチルレチン酸-3-グル クロニドを主成分とするものをい う。)		カンゾウ	「カンゾウ抽出物」を、酵素分解して得られたも のである。主甘味成分はグリチルレチン酸-3-グ ルクロニドである。	甘味料	Enzymatically hydrolyzed licorice extract
129	酵素分解リンゴ抽出物 (リンゴの果実を酵素分解して得られ た、カテキン類及びクロロゲン酸を主 成分とするものをいう。)		リンゴ抽出物 リンゴエキス	バラ科リンゴ( <i>Malus pumila</i> MILLER)の果実を 搾汁し、パルプを分離した後、得られた上清を酵 素処理し、精製して得られたものである。有効成 分はクロロゲン酸及びカテキン類である。	酸化防止剤	Enzymatically decomposed apple extract
130	酵素分解レシチン (「植物レシチン」又は「卵黄レシチ ン」から得られた、ホスファチジン 酸及びリゾレシチンを主成分とするも のをいう。)		レシチン	アブラナ( <i>Brassica rapa</i> Linne又は <i>Brassica napus</i> Linne)若しくはダイズ( <i>Glycine max</i> Merrill)の種子から得られた植物レシチン又は 卵黄から得られた卵黄レシチンから得られた、ホ スファチジン酸及びリゾレシチンを主成分とする ものである。酵素分解植物レシチンと酵素分解卵 黄レシチンがある。	乳化剤	Enzymatically decomposed lecithin
131	酵母細胞壁 (サッカロミセスの細胞壁から得られ た、多糖類を主成分とするものをい う。)	酵母細胞膜		サッカロミセス属菌( <i>Saccharomyces cerevisiae</i> )の細胞壁から得られた、多糖類を主 成分とするものである。	増粘安定剤 製造用剤	Yeast cell wall

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
132	コウリヤン色素 (コウリヤンの種子から得られた、アピゲニニン及びルテオリニン主成分とするものをいう。)	キビ色素	フラボノイド フラボノイド色素	イネ科コウリヤン ( <i>Sorghum nervosum</i> BESS.) の実及び穀より、温時～熱時水、含水エタノール若しくは酸性含水エタノールで抽出して得られたもの、又は室温時～温時アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はアピゲニニン及びルテオリニンである。赤褐色を呈する。	着色料	Kaoliang colour
133	コチニール色素 (エンジムシから得られた、カルミン酸を主成分とするものをいう。)	カルミン酸色素	カルミン酸 コチニール	エンジムシ ( <i>Dactylopius coccus</i> Costa ( <i>Coccus cacti</i> Linnaeus)) から得られた、カルミン酸を主成分とするものである。	着色料	Cochineal extract Carminic acid
134	骨炭 (ウシの骨から得られた、炭末及びリン酸カルシウムを主成分とするものをいう。)			ウシ ( <i>Bos taurus</i> Linne) の骨を、炭化し、粉碎して得られたものである。主成分はリン酸カルシウム及び炭末である。	製造用剤	Bone charcoal
135	骨炭色素 (骨を炭化して得られた、炭素を主成分とするものをいう。)	炭末色素	炭末	ウシ科ウシ ( <i>Bos taurus</i> LINNE var. <i>domesticus</i> GEMEL.) 等の骨を、炭化した物である。主色素は炭素である。黒色を呈する。	着色料	Bone carbon black
136	ゴマ油不けん化物 (ゴマの種子から得られた、セサモリンを主成分とするものをいう。)		ゴマ油抽出物	ゴマ科ゴマ ( <i>Sesamum indicum</i> LINNE) の種子又は種子の搾油糟より、エタノールで抽出して得られたものである。主成分はセサモリンである。	酸化防止剤	Sesame seed oil unsaponified matter
137	ゴマ柄灰抽出物 (ゴマの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。)			ゴマ ( <i>Sesamum indicum</i> LINNE) の茎又は葉を灰化し、室温時水で抽出し、上澄み液をろ過して得られたものである。	製造用剤	Sesame straw ash extract
138	ゴム (パラゴムの分泌液から得られた、ポリイソプレンを主成分とするものをいう。ただし、「低分子ゴム」を除く。)	カウチョック		トウダイグサ科パラゴム ( <i>Hevea brasiliensis</i> MUELL.-ARG.) の幹枝より得られるラテックスを酸性水溶液で凝固させ、水洗、脱水したものより得られたものである。主成分はシスポリイソプレンである。	ゴムベース	Rubber
139	ゴム分解樹脂 (「ゴム」から得られた、ジテルペン、トリテルペン及びテトラテルペンを主成分とするものをいう。)			トウダイグサ科パラゴム ( <i>Hevea brasiliensis</i> MUELL.-ARG.) の幹枝より得られるラテックスを、加熱分解したもの、又は酵素分解して得られた低分子の樹脂状物質である。主成分はC <sub>20</sub> ～C <sub>40</sub> のテルペノイドである。	ゴムベース	Resin of depolymerized natural rubber
140	コメヌカ油抽出物 (米ぬか油から得られた、フェルラ酸を主成分とするものをいう。)	コメヌカ油不けん化物		イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE) の種子より得られる米ぬか油の不けん化物より、エタノールで抽出して得られたものである。有効成分はフェルラ酸である。	酸化防止剤	Rice bran oil extract
141	コメヌカ酵素分解物 (脱脂米ぬかから得られた、フィチン酸及びペプチドを主成分とするものをいう。)			イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE) の種子より得られる脱脂米ぬかを酵素分解したものより、水で抽出して得られたものである。主成分はペプチド及びフィチン酸である。	酸化防止剤	Enzymatically decomposed rice bran
142	コメヌカワックス (米ぬか油から得られた、リグノセリン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	コメヌカワックス ライスワックス	植物ワックス	イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE) の種子より得られる米ぬか油より、分離して得られたものである。主成分はリグノセリン酸ミリシルである。	ゴムベース 光沢剤	Rice bran wax
143	サイリウムシードガム (ブロードサイリウムの種皮から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	サイリウムハスク	サイリウム	ブロードサイリウム ( <i>Plantago ovata</i> Forsskal) の種皮から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Psyllium seed gum
144	サトウキビワックス (サトウキビの茎から得られた、パルミチン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	カーンワックス ケーンワックス	植物ワックス	イネ科サトウキビ ( <i>Saccharum officinarum</i> LINNE) の茎の搾汁残渣より、分離、精製して得られたものである。主成分はパルミチン酸ミリシルである。	ゴムベース 光沢剤	Cane wax
145	サバクヨモギシードガム (サバクヨモギの種皮から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	アルテミシアシードガム サバクヨモギ種子 多糖類		キク科サバクヨモギ ( <i>Artemisia halodendron</i> TURCZ. ex BESS., <i>Artemisia ordosica</i> KRASCHEN., <i>Artemisia sphaerocephala</i> KRASCH) の種子の外皮を、脱脂、乾燥して得られたものである。主成分は、 $\alpha$ -セルロースを基本骨格に持つ、中性多糖類及び酸性多糖類である。	製造用剤 増粘安定剤	Artemisia sphaerocephala seed gum Artemisia seed gum
146	酸性白土		不溶性鉱物性物質	モンモリロナイト系粘土鉱物を精製して得られたものである。主成分は含水ケイ酸アルミニウムである。	製造用剤	Acid clay
147	酸性ホスファターゼ	ホスホモノエステラーゼ		糸状菌 ( <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus oryzae</i> ) の培養液より、冷時～温時水で抽出し、除菌した後、冷時～室温濃縮し、冷時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Acid phosphatase
148	酸素			O <sub>2</sub>	製造用剤	Oxygen
149	シアナット色素 (シアノキの果実又は種皮から抽出して得られたものをいう。)		シアナット フラボノイド フラボノイド色素	アカテツ科シアノキ ( <i>Butyrospermum parkii</i> KOTSCHY.) の果実又は種皮より、室温時弱アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。褐色を呈する。	着色料	Shea nut colour
150	シアノコバラミン	ビタミンB <sub>12</sub>	V. B <sub>12</sub>	放線菌 ( <i>Streptomyces</i> ) 又は細菌 ( <i>Agrobacterium</i> , <i>Bacillus</i> , <i>Flavobacterium</i> , <i>Propionibacterium</i> 又は <i>Rhizobium</i> ) の培養液より、分離して得られたものである。成分はシアノコバラミンである。	強化剤	Cyanocobalamin Vitamin B <sub>12</sub>

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
151	シェラック (ラックカイガラムシの分泌液から得られた、アレウリチン酸とシェロール酸又はアレウリチン酸とジャラール酸のエステルを主成分とするものをいう。)	セラック		ラックカイガラムシ ( <i>Laccifer</i> spp.) の分泌液から得られた、アレウリチン酸とシェロール酸又はアレウリチン酸とジャラール酸のエステルを主成分とするものである。白シェラック及び精製シェラックがあり、ロウ分を除去していない含ロウ品及びロウ分を除去した脱ロウ品がある。	ガムベース 光沢剤	Shellac
	白シェラック	白セラック 白ラック		カイガラムシ科ラックカイガラムシ ( <i>Laccifer lacca</i> KERR) の分泌する樹脂状物質を、温時アルカリ性水溶液で抽出し、漂白したものより得られたものである。主成分はアレウリチン酸とジャラール酸又はアレウリチン酸とシェロール酸のエステル等である。		White shellac
	精製シェラック	精製セラック		カイガラムシ科ラックカイガラムシ ( <i>Laccifer lacca</i> KERR) の分泌する樹脂状物質を、室温エタノールで抽出又は温時アルカリ性水溶液で抽出し、精製して得られたものである。主成分はアレウリチン酸とジャラール酸又はアレウリチン酸とシェロール酸のエステル等である。		Purified shellac
152	シェラックロウ (ラックカイガラムシの分泌液から得られた、ろう分を主成分とするものをいう。)	セラックロウ		カイガラムシ科ラックカイガラムシ ( <i>Laccifer lacca</i> KERR) の分泌する樹脂状物質を、室温エタノール又は温時アルカリ性水溶液に溶解し、ろ液からロウ分を分離して得られたものである。主成分は樹脂酸エステルである。	ガムベース 光沢剤	Shellac wax
153	ジェランガム (シュドモナスの培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	ジェラン多糖類	ジェラン	スフィンゴモナス属菌 ( <i>Sphingomonas elodea</i> ) の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものである。	増粘安定剤	Gellan gum
154	ジェルトン (ジェルトンの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。)	ボンチアナック		キョウチクトウ科ジェルトン ( <i>Dvera costulata</i> HOOK F., <i>Dvera lowii</i> HOOK F.) の幹枝から得られたラデックスを、熱時水で洗浄し、水溶成分を除去して得られたものである。主成分はアミリンアセタート及びシスポリイソブレンである。	ガムベース	Jelutong
155	シクロデキストリン	サイクロデキストリン 分岐サイクロデキストリン 分岐シクロデキストリン	環状オリゴ糖	デンプンを、酵素処理し、非還元性環状デキストリンとして得られたものである。成分はシクロデキストリンである。	製造用剤	Cyclodextrin
156	シクロデキストリングルコトランスフェラーゼ	シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼ	トランスフェラーゼ	細菌 ( <i>Bacillus</i> , <i>Brevibacterium</i> , <i>Cornebacterium</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は除菌後、冷時～室温時濃縮したもの、又はこれを、含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Cyclodextrin glucanotransferase
157	L-シスチン		シスチン	動物性タンパク質 (特に動物毛、羽毛) を、加水分解し、分離して得られたものである。成分はL-シスチンである。	調味料 強化剤	L-Cystine
158	シソ抽出物 (シソの種子又は葉から得られた、テルペノイドを主成分とするものをいう。)	シソエキス		シソ科シソ ( <i>Perilla crispa</i> TANAKA) の種子又は葉より、酸性水溶液又は温時含水エタノールで抽出したのから得られたものである。主成分はテルペノイドである。	製造用剤	Perilla extract
159	シタン色素 (シタンの幹枝から得られた、サンタリンを主成分とするものをいう。)	サンダルウッド色素	サンダルウッド フラボノイド フラボノイド色素	マメ科シタン ( <i>Pterocarpus santalinus</i> LINNE) の幹枝より、水、熱時プロピレングルコール又は温時エタノールで抽出して得られたものである。主色素はサンタリンである。紫赤色を呈する。	着色料	Sandalwood red
160	5'-シチジル酸		5'-CMP	酵母 ( <i>Candida utilis</i> ) の菌体より、食塩存在下、水で抽出した核酸を酵素で加水分解した後、分離して得られたものである。成分は5'-シチジル酸である。	強化剤	5'-Cytidylic acid
161	ジャマイカカussia抽出物 (ジャマイカカussiaの幹枝又は樹皮から得られた、クアシン及びネオクアシンを主成分とするものをいう。)	カussiaエキス	カussia	ニガキ科ジャマイカカussia ( <i>Quassia excelsa</i> SW.) の幹枝又は樹皮より、水で抽出して得られたものである。有効成分はクアシン及びネオクアシンである。	苦味料等	Jamaica quassia extract
162	ショウガ抽出物 (ショウガの根茎から得られた、ショウガオール及びジングロールを主成分とするものをいう。)	ジンジャー抽出物		ショウガ科ショウガ ( <i>Zingiber officinale</i> ROSC.) の根茎より、室温エタノール、アセトン又はヘキサンで抽出して得られたものである。主成分はジングロール類及びショウガオール類である。	製造用剤	Ginger extract
163	焼成カルシウム (うに殻、貝殻、造礁サンゴ、ホエイ、骨又は卵殻を焼成して得られた、カルシウム化合物を主成分とするものをいう。)		焼成Ca		強化剤 製造用剤	Calcinated calcium
	うに殻焼成カルシウム		うに殻カルシウム うに殻Ca	うに殻を、焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシウムである。		Calcinated sea urchin shell calcium
	貝殻焼成カルシウム		貝カルシウム 貝Ca	貝殻を焼成して得られたものである。成分は酸化カルシウムである。		Calcinated shell calcium
	骨焼成カルシウム		骨カルシウム 骨Ca	獣骨又は魚骨を、焼成して得られたものである。成分はリン酸カルシウムである。		Calcinated bone calcium
	造礁サンゴ焼成カルシウム		コーラルカルシウム コーラルCa サンゴカルシウム サンゴCa	イシサンゴ目の ( <i>Scleractinia</i> ) の造礁サンゴを、焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシウムである。		Calcinated coral calcium

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
	乳清焼成カルシウム	乳清第三リン酸カルシウム ホエイ第三リン酸カルシウム ホエイリン酸三カルシウム	乳清リン酸カルシウム 乳清リン酸Ca ホエイリン酸カルシウム ホエイリン酸Ca	乳清（酸カゼインホエイ）より乳清タンパクと乳糖を分離、除去したものを、精製し焼成して得られたものである。主成分はリン酸三カルシウムである。		Tricalcium phosphate
	卵殻焼成カルシウム		卵殻カルシウム 卵殻Ca	卵殻を焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシウムである。		Calcinated eggshell calcium
164	植物性ステロール （油種種子から得られた、フィトステロールを主成分とするものをいう。）	フィトステロール	ステロール	油種種子を粉砕し、抽出して得られた植物性油脂より、室温時～温時メタノール、エタノール、イソプロパノール、酢酸エチル、アセトン、又はヘキサンで抽出したのより得られたものである。主成分はフィトステロールである。	乳化剤	Vegetable sterol
165	植物炭末色素 （植物を炭化して得られた、炭素を主成分とするものをいう。）	炭末色素	炭末	植物を、水蒸気賦活法で高温に加熱し炭化したものである。主色素は炭素である。黒色を呈する。	着色料	Vegetable carbon black
166	植物レシチン （アブラナ又はダイズの種子から得られた、レシチンを主成分とするものをいう。）	レシチン		アブラナ科アブラナ ( <i>Brassica campestris</i> LINNE)、マメ科ダイズ ( <i>Glycine max</i> MERRILL) の種子より得られた油脂より、分離して得られたものである。主成分はレシチンである。	乳化剤	Vegetable lecithin
167	しらこたん白抽出物 （魚類の精巢から得られた、塩基性タンパク質を主成分とするものをいう。）	しらこたん白 しらこ分解物 プロタミン	核たん白 しらこ	アイナメ ( <i>Hexagrammos otakii</i> Jordan et Starks)、カラフトマス ( <i>Oncorhynchus gorbuscha</i> (Walbaum))、シロザケ ( <i>Oncorhynchus keta</i> (Walbaum))、ベニサケ ( <i>Oncorhynchus nerka</i> (Walbaum))、カツオ ( <i>Katsuwonus pelamis</i> (Linnaeus)) 又はニシン ( <i>Clupea pallasii</i> Valenciennes) の精巢から得られた、塩基性タンパク質を主成分とするものである。	保存料	Milt protein
168	水素			H <sub>2</sub>	製造用剤	Hydrogen
169	ステビア抽出物 （ステビアの葉から抽出して得られた、ステビオール配糖体を主成分とするものをいう。）	ステビアエキス ステビオサイド ステビオシド レバウジオシド レバウディオサイド	ステビア ステビア甘味料	ステビア ( <i>Stevia rebaudiana</i> Bertoni) の葉から抽出して得られた、ステビオール配糖体を主成分とするものである。	甘味料	Stevia extract
170	ステビア末 （ステビアの葉を粉砕して得られた、ステビオール配糖体を主成分とするものをいう。）		ステビア	キク科ステビア ( <i>Stevia rebaudiana</i> BERTONI) の葉を、粉末としたものである。主甘味成分はステビオール配糖体（ステビオシド及びレバウジオシド）である。	甘味料	Powdered stevia
171	スピルリナ色素 （スピルリナ全藻から得られた、フィコシアニン色素を主成分とするものをいう。）	スピルリナ青色素	スピルリナ青	スピルリナ ( <i>Spirulina platensis</i> Geitler) の全藻から得られた、フィコシアニンを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Spirulina colour
172	スフィンゴ脂質 （米ぬかから得られた、スフィンゴシン誘導体を主成分とするものをいう。）			イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE) の種子又は小麦 ( <i>Triticum aestivum</i> LINNE) の胚芽から得られた米ぬかより、室温時～温時エタノール、含水エタノール、イソプロピルアルコール、アセトン、ヘキサン又は酢酸エチルで抽出したのより得られたものである。主成分はスフィンゴシン誘導体である。	乳化剤	Sphingolipid
173	生石灰			石灰石を、焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシウムである。	製造用剤	Quicklime
174	精油除去ウイキョウ抽出物 （ウイキョウの種子から得られた、グルコシルシナピルアルコールを主成分とするものをいう。）	精油除去フェネル抽出物		セリ科ウイキョウ ( <i>Foeniculum vulgare</i> LINNE) の種子を水蒸気蒸留した残渣より、熱時水で抽出し、濃縮して得られたものである。主成分は4-O- $\alpha$ -D-グルコシルシナピルアルコールである。	酸化防止剤	Essential oil-removed fennel extract
175	セイヨウワサビ抽出物 （セイヨウワサビの根から得られた、イソチオシアナートを主成分とするものをいう。）	ホースラディッシュ抽出物		アブラナ科セイヨウワサビ ( <i>Armoracia rusticana</i> P. GAERTN., B. MEYER et SCHERB.) の根を、粉砕後、水蒸気蒸留で抽出して得られたものである。主成分はイソチオシアナートである。	酸化防止剤 製造用剤	Horseradish extract
176	ゼイン （トウモロコシの種子から得られた、植物性タンパク質を主成分とするものをいう。）	トウモロコシたん白		イネ科トウモロコシ ( <i>Zea mays</i> LINNE) の種子を粉末化したものより、エタノール又はアセトンで抽出し、精製して得られたものである。主成分はプロラミンに属する植物性タンパク質である。	製造用剤	Zein
177	ゼオライト		不溶性鉱物性物質	鉱床より採掘したゼオライトを精製して得られたものである。主成分は結晶性アルミノケイ酸塩である。	製造用剤	Zeolite
178	セージ抽出物 （サルビアの葉から得られた、カルノシン酸及びフェノール性ジテルペンを主成分とするものをいう。）			シソ科サルビア ( <i>Salvia officinalis</i> LINNE) の葉より、水、エタノール又はヘキサンで抽出して得られたものである。有効成分はフェノール性ジテルペノイド（ジテルペン）及びカルノシン酸である。	酸化防止剤	Sage extract
179	セピオライト			鉱石セピオライトを、粉砕して得られたものである。主成分はイノケイ酸のマグネシウム塩である。	製造用剤	Sepiolite
180	L-セリン		セリン	タンパク質原料の加水分解により、又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-セリンである。	調味料 強化剤	L-Serine

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
181	セルラーゼ	繊維素分解酵素	カルポヒドラーゼ	糸状菌 ( <i>Acremonium cellulolyticus</i> , <i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus awamori</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Humicola insolens</i> , <i>Trichoderma harzianum</i> , <i>Trichoderma insolens</i> , <i>Trichoderma koningii</i> , <i>Trichoderma longibrachiatum</i> , <i>Trichoderma reesei</i> , <i>Trichoderma viride</i> )、担子菌 ( <i>Corticium</i> , <i>Irpex</i> , <i>Pycnoporus coccineus</i> )、放線菌 ( <i>Actinomycetes</i> , <i>Streptomyces</i> ) 若しくは細菌 ( <i>Bacillus circulans</i> , <i>Bacillus subtilis</i> ) の培養液より、冷時～微温時水で抽出して得られたもの、又は冷時～室温時濃縮後、冷時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Cellulase
182	粗製海水塩化カリウム (海水から塩化ナトリウムを析出分離して得られた、塩化カリウムを主成分とするものをいう。)			海水を、濃縮し、塩化ナトリウムを析出分離させた後、そのろ液を、室温まで冷却し、析出分離させたものである。主成分は塩化カリウムである。	調味料	Crude potassium chloride (sea water)
183	粗製海水塩化マグネシウム (海水から塩化カリウム及び塩化ナトリウムを析出分離して得られた、塩化マグネシウムを主成分とするものをいう。)	塩化マグネシウム含有物		海水より、塩化ナトリウムを析出分離し、その母液を冷却して析出する塩化カリウム等を分離した残りのものである。主成分は塩化マグネシウムである。	製造用剤	Crude magnesium chloride (sea water)
184	ソバ柄灰抽出物 (ソバの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。)		植物灰抽出物	タデ科ソバ ( <i>Fagopyrum esculentum</i> MOENCH.) の茎又は葉を灰化したものより、熱時水で抽出して得られたものであって、アルカリ金属及びアルカリ土類金属を含む。	製造用剤	Buckwheat ash extract
185	ソルバ (ソルバの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。)	ペリージョ ペンダーレ レッチェカスピ		キョウチクトウ科ソルバ ( <i>Couma macrocarpa</i> BARB. RODR.) の幹枝から得られたラテックスを、熱時水で洗浄し、水溶成分を除去して得られたものである。主成分はアミリンアセタート及びシスポリイソブレンである。	ガムベース	Sorva Leche caspi
186	ソルビンハ (ソルビンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。)	ソルバペケーニヤ		キョウチクトウ科ソルビンハ ( <i>Couma utilis</i> MUELL.) の幹枝より得られたラテックスを、熱時水で洗浄し、水溶成分を除去して得られたものである。主成分はアミリンアセタート及びシスポリイソブレンである。	ガムベース	Sorvinha
187	ダイズサポニン (ダイズの種子から得られた、サポニンを主成分とするものをいう。)		サポニン	マメ科ダイズ ( <i>Glycine max</i> MERRILL) の種子を粉砕し、水又はエタノールで抽出し、精製して得られたものである。主成分はサポニン (ソヤサポニン等) である。	乳化剤	Soybean saponin
188	タウマチン (タウマトコッカスダニエリの種子から得られた、タウマチンを主成分とするものをいう。)	ソーマチン		タウマトコッカス・ダニエリ ( <i>Thaumatococcus daniellii</i> Benth) の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。	甘味料	Thaumatocin
189	タウリン (抽出物) (魚類又はほ乳類の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものをいう。)		タウリン	魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものである。	調味料	Taurine (extract)
190	タマネギ色素 (タマネギのりん茎から得られた、クエルセチンを主成分とするものをいう。)		フラボノイド フラボノイド色素 野菜色素	ユリ科タマネギ ( <i>Allium cepa</i> LINNE) のりん茎より、温時～熱時水若しくは含水エタノールで抽出して得られたもの、又は温時～熱時弱アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はクエルセチンである。黄色を呈する。	着色料	Onion colour
191	タマリンド色素 (タマリンドの種子から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)		フラボノイド フラボノイド色素	マメ科タマリンド ( <i>Tamarindus indica</i> LINNE) の種子を焙焼したものより、温時弱アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はフラボノイドである。赤褐色を呈する。	着色料	Tamarind colour
192	タマリンドシードガム (タマリンドの種子から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	タマリンドガム タマリンド種子多糖類	タマリンド	タマリンド ( <i>Tamarindus indica</i> Linne) の種子から得られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Tamarind seed gum
193	タラガム (タラの種子から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)			タラ ( <i>Caesalpinia spinosa</i> Kuntze) の種子から得られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Tara gum
194	タルク		不溶性鉱物性物質	天然の含水ケイ酸マグネシウムを精選したもので、ときに少量のケイ酸アルミニウムを含む。	ガムベース 製造用剤	Talc
195	胆汁末 (胆汁から得られた、コール酸及びデソキシコール酸を主成分とするものをいう。)	コール酸 デソキシコール酸		動物の胆汁を、粉末化して得られたものである。主成分はコール酸及びデソキシコール酸である。	乳化剤	Powdered bile
196	単糖・アミノ酸複合物 (アミノ酸と単糖類の混合物を加熱して得られたものをいう。)		糖・アミノ酸複合物	アミノ酸と単糖類の混合液を、常圧下で加熱して得られたものである。	酸化防止剤	Amino acid-sugar reaction product
197	タンナーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus oryzae</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は濃縮後、冷時～室温時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Tannase

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
198	タンニン（抽出物） （カキの果実、五倍子、タラ末、没食子又はミモザの樹皮から得られた、タンニン及びタンニン酸を主成分とするものをいう。）	タンニン酸（抽出物）	タンニン タンニン酸		製造用剤	Tannin (extract)
	柿タンニン	柿渋 柿抽出物		カキ科カキ ( <i>Diospyros kaki</i> THUNB.) の実より、搾汁したもの、又は水若しくはエタノールで抽出して得られたものである。主成分はタンニン及びタンニン酸である。		Tannin of persimmon
	植物タンニン			五倍子、タラ末又は没食子から得られた、タンニン及びタンニン酸を主成分とするものである。		Vegetable tannin
	ミモザタンニン			マメ科ミモザ ( <i>Acacia dealbata</i> LINNE) の樹皮より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はタンニン及びタンニン酸である。		Tannin of silver wattle
199	チクル （サボジラの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。）	クラウンガム チクブル ニスペロ		アカテツ科サボジラ ( <i>Achras zapota</i> LINNE) の幹枝より得られたラテックスを、脱水したもので得られたものである。主成分はアミリンアセタート及びポリイソブレンである。	ガムベース	Chicle Chiquibul Crown gum Nispero
200	窒素			N <sub>2</sub>	製造用剤	Nitrogen
201	チャ乾留物 （チャの葉を乾留して得られたものをいう。）				製造用剤	Tea dry distillate
202	チャ抽出物 （チャの葉から得られた、カテキン類を主成分とするものをいう。）	ウーロンチャ抽出物 緑茶抽出物		ツバキ科チャ ( <i>Camellia sinensis</i> O. KZE.) の葉より製した茶より、室温時、温時又は熱時、水、酸性水溶液、含水エタノール、エタノール、含水メタノール、メタノール、アセトン、酢酸エチル又はグリセリン水溶液で抽出したもので得られたものである。成分としてカテキン類を含む。なお、チャの葉の処理方法によりウーロンチャ抽出物と呼ばれるものがある。	酸化防止剤 製造用剤	Tea extract
203	チルテ （チルテの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。）			トウダイグサ科チルテ ( <i>Cnidioscolus elasticus</i> LUNDELL.) の幹枝より得られたラテックスを、熱時水で洗浄し、水溶成分を除去して得られたものである。主成分はアミリンアセタート及びポリイソブレンである。	ガムベース	Chilte
204	L-チロシン	L-チロジン	チロシン チロジン	動物性若しくは植物性タンパク質の加水分解により、又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-チロシンである。	調味料 強化剤	L-Tyrosine
205	ツヌー （ツヌーの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。）			クワ科ツヌー ( <i>Castilla fallax</i> COOK) の幹枝より得られたラテックスを、脱水したもので得られたものである。主成分はアミリンアセタート及びポリイソブレンである。	ガムベース	Tunu
206	ツヤプリシン（抽出物） （ヒバの幹枝又は根から得られた、ツヤプリシン類を主成分とするものをいう。）	ヒノキチオール （抽出物）	ヒノキチオール	アスナロ（ヒバ）( <i>Thuiopsis dolabrata</i> Siebold et Zuccarini) の幹枝又は根から得られた、ツヤプリシン類を主成分とするものである。	保存料	Thujaplicin (extract) Hinokitiol (extract)
207	5'-デアミナーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus melleus</i> , <i>Aspergillus oryzae</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は冷時～室温時濃縮後、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	5'-Deaminase
208	低分子ゴム （パラゴムの分泌液を分解して得られた、ポリイソブレンを主成分とするものをいう。）			トウダイグサ科パラゴム ( <i>Hevea brasiliensis</i> MUELL.-ARG.) の幹枝より得られるラテックスを、加熱分解して得られたもの、又は酵素分解して得られたものである。主成分はシスポリイソブレンである。	ガムベース	Depolymerized natural rubber
209	テオブロミン			アオギリ科カカオ ( <i>Theobroma cacao</i> LINNE) の種子、アオギリ科コーラ ( <i>Cola acuminata</i> SCHOTT et ENDL.) の種子又はツバキ科チャ ( <i>Camellia sinensis</i> O. KZE.) の葉より、水又はエタノールで抽出し、分離して得られたものである。成分はテオブロミンである。	苦味料等	Theobromine
210	デキストラナーゼ			糸状菌 ( <i>Chaetomium erraticum</i> , <i>Chaetomium gracile</i> , <i>Penicillium lilacinum</i> ) の培養液より、冷時～室温時水若しくは酸性水溶液で抽出して得られたもの、除菌後、冷時～室温時濃縮したもの、又は冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Dextranase
211	デキストラン		ブドウ糖多糖	グラム陽性細菌 ( <i>Leuconostoc mesenteroides</i> 又は <i>Streptococcus equinus</i> ) の培養液より、分離して得られたものである。成分はデキストランである。	増粘安定剤	Dextran
212	鉄			<sup>54</sup> Fe, <sup>56</sup> Fe, <sup>57</sup> Fe, <sup>58</sup> Fe	強化剤 製造用剤	Iron

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
213	デュナリエラカロテン (デュナリエラの全藻から得られた、 $\beta$ -カロテンを主成分とするものをいう。)	藻類カロチン 藻類カロテン デュナリエラカロチン ドナリエラカロチン ドナリエラカロテン 抽出カロチン 抽出カロテン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素 カロチノイド カロチノイド色素 カロテン カロチン色素	デュナリエラ ( <i>Dunaliella bardawil</i> 又は <i>Dunaliella salina</i> )の全藻から得られた、 $\beta$ -カロテンを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	強化剤 着色料	Dunaliella carotene
214	銅			$^{63}\text{Cu}$ , $^{65}\text{Cu}$	製造用剤	Copper
215	トウガラシ色素 (トウガラシの果実から得られた、カプサンチン類を主成分とするものをいう。)	カプシカム色素 パプリカ色素	カロチノイド カロチノイド色素 カロチノイド カロチノイド色素	トウガラシ ( <i>Capsicum annuum</i> Linne)の果実から得られた、カプサンチン類を主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	着色料	Paprika colour Paprika oleoresin
216	トウガラシ水性抽出物 (トウガラシの果実から抽出して得られた、水溶性物質を主成分とするものをいう。)	カプシカム水性抽出物 パプリカ水性抽出物	カプシカム抽出物 トウガラシ抽出物 パプリカ抽出物	ナス科トウガラシ ( <i>Capsicum annuum</i> LINNE)の果実より、室温時含水エタノールで抽出したもので、タンパク質、ペプチド、ビタミンCを含む。	製造用剤	Capsicum water-soluble extract
217	動物性ステロール (魚油又は「ラノリン」から得られた、コレステロールを主成分とするものをいう。)	コレステロール	ステロール	魚油の不けん化物又は「ラノリン」より、加水分解したもの、又は有機溶剤で抽出したものより得られたものである。主成分はコレステロールである。	乳化剤	Cholesterol
218	トコトリエノール			イネ ( <i>Oryza sativa</i> Linne)の米ぬか油、アブラヤシ ( <i>Elaeis guineensis</i> Jacquin)のパーム油等より分別精製して得られたものである。主成分はトコトリエノールである。食用油脂を含むことがある。	酸化防止剤	Tocotrienol
219	d- $\alpha$ -トコフェロール	$\alpha$ -ビタミンE 抽出トコフェロール 抽出ビタミンE	抽出V.E トコフェロール $\alpha$ -トコフェロール ビタミンE V.E	油糧種子から得られた植物油又はミックストコフェロール(植物油脂から得られたd- $\alpha$ -トコフェロール、d- $\beta$ -トコフェロール、d- $\gamma$ -トコフェロール及びd- $\delta$ -トコフェロールを主成分とするものをいう。)より分離して得られた、d- $\alpha$ -トコフェロールを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	酸化防止剤 強化剤	d- $\alpha$ -Tocopherol
220	d- $\gamma$ -トコフェロール	$\gamma$ -ビタミンE 抽出トコフェロール 抽出ビタミンE	抽出V.E トコフェロール $\gamma$ -トコフェロール ビタミンE V.E	油糧種子から得られた植物油又はミックストコフェロール(植物油脂から得られたd- $\alpha$ -トコフェロール、d- $\beta$ -トコフェロール、d- $\gamma$ -トコフェロール及びd- $\delta$ -トコフェロールを主成分とするものをいう。)より分離して得られた、d- $\gamma$ -トコフェロールを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	酸化防止剤 強化剤	d- $\gamma$ -Tocopherol
221	d- $\delta$ -トコフェロール	$\delta$ -ビタミンE 抽出トコフェロール 抽出ビタミンE	抽出V.E トコフェロール $\delta$ -トコフェロール ビタミンE V.E	油糧種子から得られた植物油又はミックストコフェロール(植物油脂から得られたd- $\alpha$ -トコフェロール、d- $\beta$ -トコフェロール、d- $\gamma$ -トコフェロール及びd- $\delta$ -トコフェロールを主成分とするものをいう。)より分離して得られた、d- $\delta$ -トコフェロールを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	酸化防止剤 強化剤	d- $\delta$ -Tocopherol
222	トマト色素 (トマトの果実から得られた、リコピンを主成分とするものをいう。)	トマトリコピン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチノイド 野菜色素	トマト ( <i>Lycopersicon esculentum</i> Miller)の果実から得られた、リコピンを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	着色料	Tomato colour Tomato lycopene
223	トラガントガム (トラガントの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)		トラガント	トラガント ( <i>Astragalus gummifer</i> Labillardière)の分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものである。	増粘安定剤	Tragacanth gum
224	トランスグルコシダーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus usami</i> )、細菌 ( <i>Sulfolobus solfataricus</i> )の培養液より、冷時~室温時除菌したもの、冷時~室温時濃縮したもの、又は冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Transglucosidase
225	トランスグルタミナーゼ			動物の肝臓より、又は放線菌 ( <i>Streptomyces</i> , <i>Streptoverticillium moharaense</i> )若しくは細菌 ( <i>Bacillus</i> )の培養液より、室温時水で抽出後、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Transglutaminase
226	トリプシン			動物の膵臓又は魚類若しくは甲殻類の臓器から得られた、たん白質分解酵素である。乳糖又はデキストリンを含むことがある。	酵素	Trypsin
227	トレハロース			担子菌 ( <i>Agaricus</i> 等)、細菌 ( <i>Arthrobacter</i> , <i>Brevibacterium</i> , <i>Pimelobacter</i> , <i>Pseudomonas</i> , <i>Thermus</i> 等)又は酵母 ( <i>Saccharomyces</i> 等)の培養液又は菌体より、水若しくはアルコールで抽出して得られたもの、これを酵素によるでん粉の糖化液より分離して得られたもの、又はマルトースを酵素処理して得られたものである。成分はトレハロースである。	製造用剤	Trehalose



番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
228	トレハロースホスホリラーゼ			細菌 ( <i>Plesiomonas</i> ) の培養液の菌体を酵素 (リゾチーム) 処理した後、冷時～室温水で抽出して得られたものである。	酵素	Trehalose phosphorylase
229	トロロアオイ (トロロアオイの根から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)			アオイ科トロロアオイ ( <i>Abelmoschus manihot</i> MED.) の根を、乾燥、粉砕して得られたものである。主成分は多糖類である。	増粘安定剤	Tororoaai
230	納豆菌ガム (納豆菌の培養液から得られた、ポリグルタミン酸を主成分とするものをいう。)	納豆菌粘質物	ポリグルタミン酸	納豆菌 ( <i>Bacillus subtilis</i> ) の培養液から得られた、ポリグルタミン酸を主成分とするものである。	増粘安定剤 製造用剤	<i>Bacillus natto</i> gum
231	ナフサ	石油ナフサ		石油蒸留物を、精製して得られたものである。成分はパラフィン系及びナフタレン系炭化水素である。	製造用剤	Petroleum naphtha
232	生コーヒー豆抽出物 (コーヒーの種子から得られた、クロロゲン酸及びポリフェノールを主成分とするものをいう。)			アカネ科コーヒー ( <i>Coffea arabica</i> LINNE) の種子より、温時アスコルビン酸又はクエン酸酸性水溶液で抽出して得られたものである。有効成分は、クロロゲン酸及びポリフェノールである。	酸化防止剤	Coffee bean extract
233	ナリンジナーゼ	ナリンギナーゼ		糸状菌 ( <i>Aspergillus usami</i> , <i>Penicillium decumbens</i> ) の培養液より、冷時～室温水で抽出し、冷時～室温時濃縮後、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Naringinase
234	ナリンジン	ナリンギン		グレープフルーツ ( <i>Citrus × paradisi</i> Macfadyen) の果皮、果汁又は種子より、水又はエタノール若しくはメタノールで抽出し、分離して得られたものである。成分はナリンジンである。	苦味料等	Naringin
235	ニガークッタ (ニガークッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。)			クワ科ニガークッタ ( <i>Ficus platyphylla</i> DELILE.) の幹枝より得られたラテックスを、熱水で洗浄し、水溶成分を除去して得られたものである。主成分はアミリンアセタート及びポリイソブレンである。	ガムベース	Niger gutta
236	ニガヨモギ抽出物 (ニガヨモギの全草から得られた、セスキテルペンを主成分とするものをいう。)		ニガヨモギ	キク科ニガヨモギ ( <i>Artemisia absinthium</i> LINNE) の全草より、水又は室温時エタノールで抽出して得られたものである。主成分はセスキテルペン (アブシンチン等) である。	苦味料等	Absinth extract
237	ニッケル			<sup>58</sup> Ni, <sup>60</sup> Ni, <sup>61</sup> Ni, <sup>62</sup> Ni, <sup>64</sup> Ni	製造用剤	Nickel
238	ニンジンカロテン (ニンジンの根から得られた、カロテンを主成分とするものをいう。)	キャロットカロテン キャロットカロテン ニンジンカロチン 抽出カロチン 抽出カロテン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素 カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素	ニンジン ( <i>Daucus carota</i> Linné) の根から得られた、カロテンを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	強化剤 着色料	Carrot carotene
239	ばい煎コメヌカ抽出物 (米ぬかから得られた、マルトールを主成分とするものをいう。)			イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE) の米ぬかを脱脂し、ばい煎したものを、熱水で抽出後、温時エタノールでタンパク質を除去したものである。成分としてマルトールを含む。	製造用剤	Roasted rice bran extract
240	ばい煎ダイズ抽出物 (ダイズの種子から得られた、マルトールを主成分とするものをいう。)			マメ科ダイズ ( <i>Glycine max</i> MERRILL) の種子を脱脂し、ばい煎したものを、熱水で抽出後、温時エタノールでタンパク質を除去して得られたものである。成分としてマルトールを含む。	製造用剤	Roasted soybean extract
241	パーオキシダーゼ	ペルオキシダーゼ		アブラナ科セイヨウワサビ ( <i>Armoracia rusticana</i> )、アブラナ科ダイコン ( <i>Rhapaunus acanthiformis</i> ) 若しくはキュウリ科キュウリ ( <i>Cucumis sativus</i> ) より搾汁したもの、又は糸状菌 ( <i>Alternaria</i> , <i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Coprinus cinereus</i> , <i>Oidiodendron</i> ) 若しくは細菌 ( <i>Bacillus</i> ) の培養液より、冷時～室温水で抽出して得られたもの、若しくは冷時～室温時濃縮後、エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Peroxidase
242	白金			<sup>192</sup> Pt, <sup>194</sup> Pt, <sup>195</sup> Pt, <sup>196</sup> Pt, <sup>198</sup> Pt	製造用剤	Platinum
243	パパイン			パパイヤ ( <i>Carica papaya</i> Linné) の果実より得られた、たん白質分解酵素である。乳糖又はデキストリンを含むことがある。	酵素	Papain
244	パーム油カロテン (アブラヤシの果実から得られた、カロテンを主成分とするものをいう。)	パーム油カロチン 抽出カロチン 抽出カロテン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素 カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素	アブラヤシ ( <i>Elaeis guineensis</i> Jacquin) の果実から得られた、カロテンを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	強化剤 着色料	Palm oil carotene
245	パーライト		不溶性鉱物性物質	鉱物性二酸化ケイ素を800～1,200℃で焼成したものである。	製造用剤	Perlite
246	パラジウム			<sup>102</sup> Pd, <sup>104</sup> Pd, <sup>105</sup> Pd, <sup>106</sup> Pd, <sup>108</sup> Pd, <sup>110</sup> Pd	製造用剤	Palladium
247	パラフィンワックス	パラフィン		石油の常圧及び減圧蒸留抽出油から得た固形の炭化水素の混合物で、主として直鎖状の飽和炭化水素からなる。	ガムベース 光沢剤	Paraffin wax

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
248	パンクレアチン			動物のすい臓より、室温時水で抽出し、冷時～室温時アセトンで処理して得られたものである。	酵素	Pancreatin
249	ヒアルロン酸		ムコ多糖	鶏冠より、微温時～温時水、アルカリ性水溶液若しくは酸性水溶液で抽出し、エタノール若しくは含水エタノールで処理、若しくは酵素処理した後エタノール若しくは含水エタノールで処理し、精製して得られたもの、又は細菌 ( <i>Streptococcus zooepidemicus</i> ) の培養液を、冷時～温時、除菌し、エタノール若しくは含水エタノールで処理し、精製して得られたものである。成分はヒアルロン酸である。	製造用剤	Hyaluronic acid
250	微結晶セルロース (バルブから得られた、結晶セルロースを主成分とするものをいう。)	結晶セルロース	セルロース	バルブから得られた、結晶セルロースを主成分とするものである。乾燥物及び含水物がある。	製造用剤	Microcrystalline cellulose
251	微小繊維状セルロース (バルブ又は綿を微小繊維状にして得られた、セルロースを主成分とするものをいう。)		セルロース	バルブ又は綿を微小繊維状にして得られた、セルロースを主成分とするものである。	増粘安定剤 製造用剤	Microfibrillated cellulose
252	L-ヒスチジン		ヒスチジン	タンパク質原料の加水分解により、又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-ヒスチジンである。	調味料 強化剤	L-Histidine
253	ビートルレッド (ビートの根から得られた、イソペタニン及びベタニンを主成分とするものをいう。)	アカビート色素	アカビート 野菜色素	ビート ( <i>Beta vulgaris</i> Linné) の根から得られた、イソペタニン及びベタニンを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Beet red
254	L-ヒドロキシプロリン	L-オキシプロリン	オキシプロリン ヒドロキシプロリン	ゼラチン等を、加水分解し、分離して得られたものである。主成分はL-ヒドロキシプロリンである。	調味料 強化剤	L-Hydroxyproline
255	ヒマワリ種子抽出物 (ヒマワリの種子から得られた、イソクロロゲン酸及びクロロゲン酸を主成分とするものをいう。)	ヒマワリエキス ヒマワリ種子エキス ヒマワリ抽出物	ヒマワリ種子	キク科ヒマワリ ( <i>Helianthus annuus</i> LINNE) の種子又は種子の搾油相より、熱時水又は含水エタノールで抽出して得られたものである。有効成分はイソクロロゲン酸及びクロロゲン酸である。	酸化防止剤	Sunflower seed extract
256	ひる石		不溶性鉱物性物質	鉱床より採掘したひる石を、1000℃で焼成し、洗浄した後、乾燥して得られたものである。主成分はケイ酸塩である。	製造用剤	Vermiculite
257	ファーセララン (フルセラリアの全藻から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)			ススカケベニ科フルセラリア ( <i>Furcellaria fastigiata</i> HUD.) の全藻より、熱時水又はアルカリ性水溶液で抽出して得られたものである。主成分は多糖類である。	増粘安定剤	Furcellaran
258	ファフィア色素 (ファフィアの培養液から得られた、アスタキサンチンを主成分とするものをいう。)		カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素	酵母 ( <i>Phaffia rhodozyma</i> MILLER) の培養液より、室温時アセトン、エタノール、含水エタノール、ヘキサン又はこれらの混合液で抽出し、溶媒を除去して得られたものである。主色素はアスタキサンチンである。橙色～赤色を呈する。	着色料	Phaffia colour
259	フィシン	ファイシン		クワ科イチジク ( <i>Ficus carica</i> LINNE) 又はクワ科ヒゴ ( <i>Ficus glabrata</i> H.B. et K.) の樹液を、乾燥したもの、又はこれより、冷時～室温時水で抽出して得られたものである。成分はフィシンである。	酵素	Ficin
260	フィターゼ		ホスホヒドロラーゼ	糸状菌 ( <i>Aspergillus niger</i> ) の培養液より水で抽出し、濃縮して得られたものである。	酵素	Phytase
261	フィチン酸 (米ぬか又はトウモロコシの種子から得られた、イノシトールヘキサリン酸を主成分とするものをいう。)			イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE) の種子より得られた米ぬか又はイネ科トウモロコシ ( <i>Zea mays</i> LINNE) の種子より、室温時水又は酸性水溶液で抽出し、精製して得られたものである。主成分はイノシトールヘキサリン酸である。	酸味料 製造用剤	Phytic acid
262	フィチン (抽出物) (米ぬか又はトウモロコシの種子から得られた、イノシトールヘキサリン酸マグネシウムを主成分とするものをいう。)		フィチン	イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE) の種子より得られた米ぬか又はイネ科トウモロコシ ( <i>Zea mays</i> LINNE) の種子より、室温時水で抽出して得られたものである。主成分はイノシトールヘキサリン酸マグネシウムである。	製造用剤	Phytin (extract)
263	フェリチン		鉄たん白 鉄たん白質	ウシ科ウシ ( <i>Bos taurus</i> LINNE) の脾臓より、熱時水で抽出し、塩析法で分離し、膜ろ過により得られたものである。成分はフェリチンである。	強化剤	Ferritin
264	フェルラ酸			イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE) の糠より得られた米糠油を、室温時弱アルカリ性下で含水エタノール及びヘキサンで分配した後、含水エタノール画分に得られたγ-オリザノールを、加圧下熱時硫酸で加水分解し、精製して得られたもの、又は細菌 ( <i>Pseudomonas</i> ) を、フトモモ科チヨウジノキ ( <i>Syzgium aromaticum</i> MERRILL et PERRY) のつばみ及び葉より水蒸気蒸留で得られた丁子油、又は丁子油から精製して得られたオイゲノールを含む培養液で培養し、その培養液を、分離、精製して得られたものである。成分はフェルラ酸である。	酸化防止剤	Ferulic acid
265	フクロノリ抽出物 (フクロノリの全藻から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	フクロノリ多糖類 フクロノリ多糖類 フクロノリ抽出物		フクロノリ ( <i>Gloiopeltis furcata</i> J. Agardh) の全藻から得られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Fukuronori extract

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
266	ブタン			石油若しくは天然ガス成分中、n-ブタンの沸点付近の留分である。	製造用剤	Butane
267	ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ又はブドウの果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものをいう。)	アントシアニン	アントシアニン アントシアニン色素 ブドウ色素	アメリカブドウ ( <i>Vitis labrusca</i> Linné) 又はブドウ ( <i>Vitis vinifera</i> Linné) の果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Grape skin colour Grape skin extract
268	ブドウ果皮抽出物 (アメリカブドウ又はブドウの果皮から得られた、ポリフェノールを主成分とするものをいう。)			ブドウ科アメリカブドウ ( <i>Vitis labrusca</i> LINNE) 又はブドウ科ブドウ ( <i>Vitis vinifera</i> LINNE) のうち、生食用又は醸造用ブドウの甲州、シャルドネ若しくはリースリング種の果皮搾粕より、室温時～微温時エタノールで抽出して得られたものである。主成分はポリフェノールである。	製造用剤	Grape skin-derived substance
269	ブドウ種子抽出物 (アメリカブドウ又はブドウの種子から得られた、プロアントシアニンを主成分とするものをいう。)		プロアントシアニン	ブドウ科アメリカブドウ ( <i>Vitis labrusca</i> LINNE) 又はブドウ科ブドウ ( <i>Vitis vinifera</i> LINNE) の種子より、熱時水、温時エタノール若しくは室温時アセトンで抽出したもので得られたもの、又はこの抽出物を、酵母を用いて発酵処理したもので得られたもの、若しくはタンナーゼにより加水分解処理したもので得られたものである。主成分はプロアントシアニンである。	酸化防止剤 製造用剤	Grape seed extract
270	ブラジルカンゾウ抽出物 (ブラジルカンゾウの根から得られた、ペリアンドリンを主成分とするものをいう。)	ペリアンドリン	ブラジルカンゾウ	マメ科ブラジルカンゾウ ( <i>Periandra dulcis</i> MART.) の根より、水で抽出したもので得られたものである。甘味成分はペリアンドリンである。	甘味料	Brazilian licorice extract
271	フルクトシルトランスフェラーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus</i> , <i>Penicillium roqueforti</i> ) 又は細菌 ( <i>Arthrobacter</i> , <i>Bacillus</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、又は除菌後、冷時～室温時濃縮して得られたものである。	酵素	Fructosyl transferase
272	プルラナーゼ		アミラーゼ カルボヒドラーゼ	細菌 ( <i>Bacillus</i> , <i>Klebsiella</i> , <i>Sulfolobus solfataricus</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもので、除菌したもの、冷時～室温時濃縮したもの、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	Pullulanase
273	プルラン			糸状菌 ( <i>Aureobasidium pullulans</i> ) の培養液より、分離して得られた多糖類である。成分はプルランである。	増粘安定剤 製造用剤	Pullulan
274	プロテアーゼ	たん白分解酵素		動物、魚類若しくは甲殻類の筋肉若しくは臓器より、冷時～温時水で抽出して得られたもの、又は糸状菌 ( <i>Aspergillus melleus</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Aspergillus saitoi</i> , <i>Aspergillus sojae</i> , <i>Monascus pilosus</i> , <i>Monascus purpureus</i> , <i>Mucor circinelloides</i> , <i>Mucor javanicus</i> , <i>Mucor miehei</i> , <i>Mucor rouxii</i> , <i>Penicillium citrinum</i> , <i>Penicillium duponti</i> , <i>Rhizomucor miehei</i> , <i>Rhizopus chinensis</i> , <i>Rhizopus delemar</i> , <i>Rhizopus niveus</i> , <i>Rhizopus oryzae</i> )、担子菌 ( <i>Pycnoporus coccineus</i> )、放線菌 ( <i>Streptomyces</i> )、細菌 ( <i>Bacillus amyloliquefaciens</i> , <i>Bacillus coagulans</i> J4, <i>Bacillus lentus</i> , <i>Bacillus licheniformis</i> , <i>Bacillus polymixa</i> , <i>Bacillus stearothermophilus</i> , <i>Bacillus subtilis</i> , <i>Bacillus thermoproteolyticus</i> , <i>Pseudomonas paucimobilis</i> ) 若しくは酵母 ( <i>Saccharomyces</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、除菌したもの、冷時～室温時濃縮したもの、冷時～室温時樹脂精製して得られたもの、若しくはこれより、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの若しくは硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	Protease
275	プロパン			石油若しくは天然ガス成分中、n-プロパンの沸点付近の留分である。	製造用剤	Propane
276	プロポリス抽出物 (ミツバチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)			ミツバチ科ミツバチ ( <i>Apis mellifera</i> LINNE, <i>Apis indica</i> RODOSZKOWSKI) の巣より、エタノールで抽出して得られたものである。主成分はフラボノイドである。	酸化防止剤	Propolis extract
277	ブロメリン	ブロメリン		パイナップル ( <i>Ananas comosus</i> Merrill) の果実又は根茎より得られた、たん白質分解酵素である。乳糖又はデキストリンを含むことがある。	酵素	Bromelain
278	L-プロリン		プロリン	タンパク質原料の加水分解により、又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-プロリンである。	調味料 強化剤	L-Proline
279	分別レシチン (「植物レシチン」又は「卵黄レシチン」から得られた、スフィンゴミエリン、フォスファチジルイノシトール、フォスファチジルエタノールアミン及びフォスファチジルコリンを主成分とするものをいう。)	レシチン分別物 レシチン		「植物レシチン」又は「卵黄レシチン」より、室温時～温時メタノール、エタノール、含水エタノール、イソプロピルアルコール、アセトン、ヘキサン又は酢酸エチルで抽出して得られたものである。主成分は、フォスファチジルコリン、フォスファチジルエタノールアミン、フォスファチジルイノシトール、スフィンゴミエリンである。	乳化剤	Fractionated lecithin Cephalin Lipoinositol

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
280	粉末セルロース (バルブを分解して得られた、セルロースを主成分とするものをいう。ただし、「微結晶セルロース」を除く。)		セルロース	バルブを分解して得られた、セルロースを主成分とするものである。	製造用剤	Powdered cellulose
281	粉末モミガラ (イネのみ殻から得られた、セルロースを主成分とするものをいう。)			イネ科イネ ( <i>Orvza sativa</i> LINNE) ののみ殻を、微粉砕して得られたものである。主成分はセルロースである。	ガムベース	Powdered rice hulls
282	ペカンナッツ色素 (ペカンの果皮又は渋皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)	ピーカンナッツ色素	フラボノイド フラボノイド色素	クルミ科ペカン ( <i>Carva pecan</i> ENGL. et GRAEBN.) の果皮又は渋皮より、熱時水若しくは含水エタノールで抽出して得られたもの又は熱時酸性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はフラボノイドである。褐色を呈する。	着色料	Pecan nut colour
283	ヘキササン			主としてn-ヘキササン (C <sub>6</sub> H <sub>14</sub> ) を含む。	製造用剤	Hexane
284	ペクチナーゼ		カルボヒドラーゼ	糸状菌 ( <i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus alliaceus</i> , <i>Aspergillus awamori</i> , <i>Aspergillus japonicus</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus pulverulentus</i> , <i>Aspergillus usami</i> , <i>Rhizopus oryzae</i> , <i>Trichoderma</i> )、細菌 ( <i>Bacillus subtilis</i> )、担子菌 ( <i>Corticium</i> ) 若しくは酵母 ( <i>Trichosporon</i> ) の培養液より、冷時～微温時水で抽出して得られたもの、除菌したもの、冷時～室温時濃縮したもの、又は冷時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Pectinase
285	ペクチン			かんきつ類、リンゴ等から得られた、部分的にメチルエステル化されたポリガラクトン酸などの水溶性多糖類を成分とするものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖又はデキストリンを含むことがある。	増粘安定剤	Pectin
286	ペクチン分解物 (「ペクチン」から得られた、ガラクトン酸を主成分とするものをいう。)		分解ペクチン	「ペクチン」を、酵素で分解して得られたものである。主成分はガラクトン酸である。	保存料	Pectin digests
287	ヘゴ・イチョウ抽出物 (イチョウ及びヘゴの葉から抽出して得られたものをいう。)			ヘゴ科ヘゴ ( <i>Cvathea fauriei</i> COPEL.) 及びイチョウ科イチョウ ( <i>Ginkgo biloba</i> LINNE) の葉を9:1の比率で混合し、熱時水で抽出して得られたものである。	酸化防止剤	Hego-Ginkgo leaf extract
288	ヘスペリジナーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus</i> , <i>Penicillium decumbens</i> ) の培養液より、冷時～室温時水で抽出し、冷時～室温時濃縮後、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Hesperidinase
289	ヘスペリジン	ビタミンP		柑橘類の果皮、果汁又は種子より、室温時アルカリ性水溶液で抽出して得られたものである。成分はヘスペリジンである。	強化剤	Hesperidin Vitamin P
290	ベタイン			テンサイ ( <i>Beta vulgaris</i> Linné) の糖蜜より、分離して得られたものである。成分はベタインである。	調味料	Betaine
291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビの培養液から得られた、キサントモナスン類を主成分とするものをいう。)	モナスカス黄色素	紅麹 紅麹色素 モナスカス モナスカス色素	子のう菌類ベニコウジカビ ( <i>Monascus purpureus</i> WENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温時弱塩酸性エタノールで抽出し、中和して得られたものである。主色素はキサントモナスン類である。黄色を呈する。	着色料	Monascus yellow
292	ベニコウジ色素 (ベニコウジカビの培養液から得られた、アンカフラビン及びモナスコルブリンを主成分とするものをいう。)	モナスカス色素	紅麹 モナスカス	ベニコウジカビ ( <i>Monascus pilosus</i> 又は <i>Monascus purpureus</i> ) の培養液から得られた、アンカフラビン類及びモナスコルブリン類を主成分とするものである。	着色料	Monascus colour
293	ベニバナ赤色素 (ベニバナの花から得られた、カルタミンを主成分とするものをいう。)	カーサマス赤色素	フラボノイド フラボノイド色素 紅花赤 紅花色素	ベニバナ ( <i>Carthamus tinctorius</i> Linné) の花から得られた、カルタミンを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Carthamus red
294	ベニバナ黄色素 (ベニバナの花から得られた、サフライエロー類を主成分とするものをいう。)	カーサマス黄色素	フラボノイド フラボノイド色素 紅花黄 紅花色素	ベニバナ ( <i>Carthamus tinctorius</i> Linné) の花から得られた、サフライエロー類を主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Carthamus yellow
295	ベネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。)	カプーレ		アカテツ科ベネズエラチクル ( <i>Manilkara williamsii</i> STANDL.) の幹枝より得られるラテックスを、脱水したものより得られたものである。主成分はアミリンアセタート及びポリイソブレンである。	ガムベース	Venezuelan chicle
296	ペプシン			動物又は魚類から得られた、たん白質分解酵素である。乳糖又はデキストリンを含むことがある。	酵素	Pepsin
297	ヘプタン			石油成分中、n-ヘプタンの沸点付近の留分である。	製造用剤	Heptane

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
298	ペプチダーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Aspergillus soiae</i> , <i>Rhizopus oryzae</i> ) 若しくは細菌 ( <i>Bacillus</i> , <i>Lactococcus lactis</i> ) の培養液より、冷時～室温水で抽出して得られたもの、除菌したもの、若しくはこれより、冷時エタノールで処理して得られたもの、又は培養液を固液分離、濃縮、ろ過して得られたものである。	酵素	Peptidase
299	ヘマトコッカス藻色素 (ヘマトコッカスの全藻から得られた、アスタキサンチンを主成分とするものをいう。)		カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素	ヘマトコッカス ( <i>Haematococcus</i> spp.) の全藻から得られた、アスタキサンチン類を主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	着色料	<i>Haematococcus algae</i> colour
300	ヘミセルラーゼ	ペントサナーゼ	カルボヒドラーゼ	枯草菌 ( <i>Bacillus subtilis</i> )、糸状菌 ( <i>Aspergillus aculeatus</i> , <i>Aspergillus awamori</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Aspergillus usami</i> , <i>Humicola insolens</i> , <i>Trichoderma harzianum</i> , <i>Trichoderma koningii</i> , <i>Trichoderma longibrachiatum</i> , <i>Trichoderma viride</i> ) 若しくは担子菌 ( <i>Corticium</i> , <i>Pycnoporus coccineus</i> ) の培養液より、冷時～微温水で抽出して得られたもの、除菌したもの、冷時～室温時濃縮したもの、冷時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたもの、又は培養液を固液分離、濃縮、ろ過して得られたものである。	酵素	Hemicellulase
301	ヘム鉄			ヘモグロビンをタンパク分解酵素で処理したものより、分離して得られたものである。主成分はヘム鉄である。	強化剤	Heme iron
302	ヘリウム			<sup>4</sup> He	製造用剤	Helium
303	ベントナイト		不溶性鉱物性物質	鉱床より採掘して得られたベントナイトを乾燥して得られたものである。主成分は含水ケイ酸アルミニウムである。	製造用剤	Bentonite
304	ホスホジエステラーゼ			糸状菌 ( <i>Aspergillus niger</i> , <i>Penicillium citrinum</i> ) の培養液より、冷時～室温水で抽出し、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Phosphodiesterase
305	ホスホリパーゼ	ホスファターゼ レシチナーゼ		動物のすい臓若しくはアブラナ科キャベツ ( <i>Brassica oleracea</i> LINNE) より、冷時～室温水で抽出して得られたもの、又は糸状菌 ( <i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Aspergillus niger</i> )、担子菌 ( <i>Corticium</i> )、放線菌 ( <i>Actinomadura</i> , <i>Nocardiosis</i> ) 若しくは細菌 ( <i>Bacillus</i> ) の培養液より、冷時～室温水で抽出して得られたもの、除菌したもの、冷時～室温時濃縮したもの、又はこれより含水エタノール若しくは含水アセトンで処理して得られたもの、樹脂精製後、アルカリ性水溶液で処理したものである。	酵素	Phospholipase
306	没食子酸			ウルシ科ヌルデ ( <i>Rhus javanica</i> LINNE) に発生する五倍子、ブナ科 ( <i>Quercus infectoria</i> OIV.) に発生する没食子より、水、エタノール又は有機溶剤で抽出したタンニン、又はマメ科タラ ( <i>Caesalpinia spinosa</i> (MOLINA) KUNTZE) の実の夾より、温時水で抽出したタンニンを、アルカリ又は酵素 (タンナーゼ) により加水分解して得られたものである。成分は没食子酸である。	酸化防止剤	Gallic acid
307	ホホバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。)	ホホバワックス		ツグ科ホホバ ( <i>Simmondsia californica</i> NUTT.) の果実より採油したホホバ脂より、分離して得られた高融点ロウ物質である。主成分はイコセン酸イコセニルである。	ガムベース	Jjoba wax
308	ポリフェノールオキシダーゼ	フェノラーゼ		糸状菌 ( <i>Alternaria</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Coriolus</i> ) 若しくは担子菌 ( <i>Cvathus</i> , <i>Polyporus cinereus</i> , <i>Pycnoporus coccineus</i> , <i>Polyporus versicolor</i> , <i>Trametes</i> ) の培養液より、冷時～室温水で抽出して得られたもの、冷時～室温時濃縮したもの、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、除菌後、冷時含水エタノールで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	Polyphenol oxidase
309	ε-ポリリシン	ε-ポリリジン	ポリリジン	放線菌 ( <i>Streptomyces albulus</i> ) の培養液より、イオン交換樹脂を用いて吸着、分離して得られたものである。成分はε-ポリリジンである。デキストリンを含むことがある。	保存料	ε-Polylysine
310	マイクロクリスタリンワックス	マイクロクリスタリンワックス		石油の減圧蒸留の残渣油又は重質留油から得られた固形の炭化水素の混合物で、主として分枝状及び直鎖状の飽和炭化水素からなる。	ガムベース 光沢剤	Microcrystalline wax
311	マクロホモプシスガム (マクロホモプシスの培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	マクロホモプシス 多糖類		マクロホモプシス属菌 ( <i>Macrophomopsis (Fusicoccum)</i> ) の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Macrophomopsis gum

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考	
	名称	別名					
312	マステック (ヨウニユウコウの分泌液から得られた、マステカジェノン酸を主成分とするものをいう。)			ウルシ科ヨウニユウコウ ( <i>Pistacia lentiscus</i> LINNE) の分泌液より、低沸点部を蒸留により除去し、熱時エタノールで抽出し、エタノールを留去して得られたものである。主構成成分はマステカジェノン酸である。	ガムベース	Mastic gum	
313	マッサランドパチョコレート (マッサランドパチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)			アカテツ科マッサランドパチョコレート ( <i>Manilkara solimoesensis</i> GILLY.) の幹枝より得られたラテックスを、熱時水で洗浄し、水溶成分を除去して得られたものである。主成分はアミリンアセタート及びポリイソプレレンである。	ガムベース	Massaranduba chocolate	
314	マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)			アカテツ科マッサランドババラタ ( <i>Manilkara huberi</i> (DUCKE) CHEVAL.) の幹枝より得られたラテックスを、熱時水で洗浄し、水溶成分を除去して得られたものである。主成分はアミリンアセタート及びポリイソプレレンである。	ガムベース	Massaranduba balata	
315	マリーゴールド色素 (マリーゴールドの花から得られた、キサントフィルを主成分とするものをいう。)		カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロチノイド色素 マリーゴールド	マリーゴールド ( <i>Tagetes patula</i> Linné若しくは <i>Tagetes erecta</i> Linné又はそれらの種間雑種) の花から得られた、キサントフィルを主成分とするものである。	着色料	Marigold colour	
316	マルトースホスホラーゼ			細菌 ( <i>Plesiomonas</i> ) の培養液の菌体を酵素 (リゾチーム) 処理した後、冷時～室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	Maltose phosphorylase	
317	マルトトリオヒドラーゼ	G3生成酵素	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	糸状菌 ( <i>Penicillium</i> ) 又は細菌 ( <i>Bacillus subtilis</i> , <i>Microbacterium</i> ) の培養液より、冷時～室温時除菌した後、濃縮して得られたものである。	酵素	Maltotriohydrolase	
318	未焼成カルシウム (貝殻、真珠の真珠層、造礁サンゴ、骨又は卵殻を乾燥して得られた、カルシウム塩を主成分とするものをいう。)		未焼成Ca			強化剤	Non-calcinated calcium
	貝殻未焼成カルシウム		貝カルシウム 貝Ca	貝殻を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたものである。主成分は炭酸カルシウムである。			Non-calcinated shell calcium
	骨未焼成カルシウム		骨カルシウム 骨Ca	獣骨又は魚骨を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたものである。主成分はリン酸カルシウムである。			Non-calcinated bone calcium
	サンゴ未焼成カルシウム		コーラルカルシウム コーラルCa サンゴカルシウム サンゴCa	イシサンゴ目 ( <i>Scleractinia</i> ) の造礁サンゴを、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたものである。主成分は炭酸カルシウムである。			Non-calcinated coral calcium
	真珠層未焼成カルシウム		真珠層カルシウム 真珠層Ca	ウグイスガイ科アコヤガイ ( <i>Pinctada fucata</i> ) から得られる真珠の核を除いた真珠層を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたものである。主成分は炭酸カルシウムである。			Non-calcinated mother-of-pearl layer calcium
	卵殻未焼成カルシウム		卵殻カルシウム 卵殻Ca	卵殻を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたものである。主成分は炭酸カルシウムである。			Non-calcinated eggshell calcium
319	ミックストコフェロール (植物性油脂から得られた、d- $\alpha$ -トコフェロール、d- $\beta$ -トコフェロール、d- $\gamma$ -トコフェロール及びd- $\delta$ -トコフェロールを主成分とするものをいう。)	ミックスビタミンE 抽出トコフェロール 抽出ビタミンE	抽出V.E トコフェロール ビタミンE V.E ミックスV.E	植物性油脂から得られた、d- $\alpha$ -トコフェロール、d- $\beta$ -トコフェロール、d- $\gamma$ -トコフェロール及びd- $\delta$ -トコフェロールを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	酸化防止剤 強化剤	Mixed tocopherols	
320	ミツロウ (ミツバチの巣から得られた、パルミチン酸ミリスルを主成分とするものをいう。)	オウロウ ピースワックス ベースワックス		ミツバチ ( <i>Apis</i> spp.) の巣から得られた、パルミチン酸ミリスルを主成分とするものである。	ガムベース 光沢剤	Bees wax	
321	ミルラ (ボツヤクの分泌液から抽出して得られたものをいう。)	ミル		カンラン科ボツヤク ( <i>Commiphora mukul</i> ENGL.) の分泌液より、低沸点部を蒸留により除去し、室温時エタノールで抽出し、エタノールを留去して得られたものである。成分としてコヒモールを含む。	ガムベース	Myrrh	
322	ムラサキイモ色素 (サツマイモの塊根から得られた、シアニジンアシルグルコシド及びペオニンアシルグルコシドを主成分とするものをいう。)		アントシアニン アントシアニン色素 野菜色素	サツマイモ ( <i>Ipomoea batatas</i> Poir.) の塊根から得られた、シアニジンアシルグルコシド及びペオニンアシルグルコシドを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Purple sweet potato colour	
323	ムラサキトモロコシ色素 (トモロコシの種子から得られた、シアニジン-3- $\beta$ -グルコシドを主成分とするものをいう。)	ムラサキコーン色素	アントシアニン アントシアニン色素	トモロコシ ( <i>Zea mays</i> Linné) の種子から得られた、シアニジン3- $\beta$ -グルコシドを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	着色料	Purple corn colour	
324	ムラサキヤマイモ色素 (ヤマイモの塊根から得られた、シアニジンアシルグルコシドを主成分とするものをいう。)		アントシアニン アントシアニン色素 ムラサキヤマイモ野菜色素	ヤマイモ科ヤマイモ ( <i>Dioscorea alata</i> LINNE) の紫色の塊根より、室温時水又は弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はシアニジンアシルグルコシドである。紫赤色を呈する。	着色料	Purple yam colour	
325	ムラミダーゼ			放線菌 ( <i>Actinomyces</i> , <i>Streptomyces</i> ) 又は細菌 ( <i>Bacillus</i> ) の培養液より、冷時～室温時除菌後、冷時～室温時濃縮し、冷時含水エタノールで抽出して得られたものである。	酵素	Muranidase	

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
326	メナキノン (抽出物) (アルトロバクターの培養液から得られた、メナキノン-四を主成分とするものをいう。)	ビタミンK <sub>2</sub> (抽出物)	ビタミンK <sub>2</sub> ビタミンK V. K <sub>2</sub> V. K メナキノン	アルトロバクター属菌 ( <i>Arthrobacter nicotianae</i> ) の培養液から得られた、メナキノン-4を主成分とするものである。	強化剤	Menaquinone (extract) Vitamin K <sub>2</sub> (extract)
327	メバロン酸			酵母 ( <i>Saccharomyces fibuligera</i> ) によるコースターブリーカー又はカゼイン由来のペプトンを主原料とする発酵培養液より、有機溶剤で抽出して得られたものである。成分はメバロン酸である。	製造用剤	Mevalonic acid
328	メラロイカ精油 (メラロイカの葉から得られた、精油を主成分とするものをいう。)			フトモコ科メラロイカ ( <i>Melaleuca alternifolia</i> CHEEL) の葉より、水蒸気蒸留により得られたものである。成分は精油 ( $\alpha$ -テルピネン及びγ-テルピネン等) である。	酸化防止剤	Melaleuca oil
329	モウソウチク乾留物 (モウソウチクの茎を乾留して得られたものをいう。)		竹乾留物	イネ科モウソウチク ( <i>Phyllostachys heterocycla</i> MITF.) の茎をチップ状にしたものを、減圧加熱下で乾留したもので得られたものである。	製造用剤	Mousouchiku dry distillate
330	モウソウチク抽出物 (モウソウチクの茎の表皮から得られた、2,6-ジメトキシ-1,4-ベンゾキノンを主成分とするものをいう。)			イネ科モウソウチク ( <i>Phyllostachys heterocycla</i> MITF.) の茎の表皮を、粉碎したもので、微温時エタノールで抽出して得られたものである。成分として2,6-ジメトキシ-1,4-ベンゾキノンを含む。	製造用剤	Mousouchiku extract
331	木材チップ (ハシバミ又はブナの幹枝を粉砕して得られたものをいう。)	シュベアーネ		カバノキ科ハシバミ ( <i>Corvulus heterophylla</i> FISCHER var. <i>thunbergii</i> BLUME) 又はブナ科ブナ ( <i>Fagus crenata</i> BLUME) の幹枝を熱水殺菌したものを、粉砕して得られたものである。	製造用剤	Wood chip
332	木炭 (竹材又は木材を炭化して得られたものをいう。)			イネ科マダケ ( <i>Phyllostachys bambusoides</i> SIEB. et ZUCC.) 若しくはイネ科モウソウチク ( <i>Phyllostachys heterocycla</i> MITF.) の茎又はカバノキ科シラカバ ( <i>Betula platyphylla</i> SUKAT. var. <i>japonica</i> HARA)、チョウセンマツ ( <i>Pinus koraiensis</i> SIEB. et ZUCC.)、ブナ科ウバメガシ ( <i>Quercus phylliraeoides</i> ) 等の幹枝又は種子を、炭化して得られたものである。	製造用剤	Charcoal
333	モクロウ (ハゼノキの果実から得られた、グリセリンパルミタートを主成分とするものをいう。)	日本ロウハゼ脂	植物ワックス	キクウルシ科ハゼノキ ( <i>Rhus succedanea</i> LINNE) の果実より、融解、さらしたもので得られたものである。主成分はグリセリンパルミタートである。	カムベース	Japan wax
334	木灰 (竹材又は木材を灰化して得られたものをいう。)			ブナ科ブナ ( <i>Fagus crenata</i> BLUME) 等の幹枝を、灰化して得られたものである。	製造用剤	Timber ash
335	木灰抽出物 (「木灰」から抽出して得られたものをいう。)			ブナ科ブナ ( <i>Fagus crenata</i> BLUME)、クスノキ科クスノキ ( <i>Cinnamomum Camphora</i> SIEB.) 等の幹枝を灰化して得られた灰化物を、精製して得られたものである。	製造用剤	Timber ash extract
336	モモ樹脂 (モモの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)		ピーチガム	バラ科モモ ( <i>Prunus persica</i> BATSCH) の幹枝の樹脂成分を、分離して得られたものである。主成分は多糖類である。	増粘安定剤	Peach gum
337	ヤマモモ抽出物 (ヤマモモの果実、樹皮又は葉から抽出して得られたものをいう。)			ヤマモモ ( <i>Myrica rubra</i> Siebold et Zuccarini) の果実、樹皮又は葉から抽出して得られたものである。主成分はミリシトリンである。	酸化防止剤	Chinese bayberry extract
338	ユッカフォーム抽出物 (ユッカアラボレンス又はユッカシジガラ) の全草から得られた、サポニン を主成分とするものをいう。)	ユッカ抽出物	ユッカフォーム ユッカ・フォーム	ユッカ・ブレブフォリア ( <i>Yucca brevifolia</i> Engelm.) 又はユッカ・シジガラ ( <i>Yucca schidigera</i> Roesl ex Ortgies) の全草から得られた、サポニンを主成分とするものである。	乳化剤 製造用剤	Yucca foam extract Yucca joshua tree
339	ラカンカ抽出物 (ラカンカの果実から得られた、モグロンド類を主成分とするものをいう。)	ラカンカエキス	ラカンカ	ラカンカ ( <i>Siraitia grosvenorii</i> C. Jeffrey ex A. M. Lu & Zhi Y. Zhang (Momordica grosvenori Swingle)) の果実から得られた、モグロンド類を主成分とするものである。	甘味料	Rakanka extract
340	ラクトパーオキシダーゼ			脱脂生乳又は乳清より、イオン交換樹脂で分離して得られたものである。	酵素	Lactoperoxidase
341	ラクトフェリン濃縮物 (ほ乳類の乳から得られた、ラクトフェリンを主成分とするものをいう。)		ラクトフェリン	ほ乳類の乳を脱脂分離したもので、乳清より、精製し、濃縮して得られたものである。主成分は、ラクトフェリンである。	製造用剤	Lactoferrin concentrates
342	ラック色素 (ラックカイガラムシの分泌液から得られた、ラッカイン酸類を主成分とするものをいう。)	ラッカイン酸	ラック	ラックカイガラムシ ( <i>Laccifer</i> spp.) の分泌液から得られた、ラッカイン酸類を主成分とするものである。	着色料	Lac colour
343	ラノリン (ヒツジの毛に付着するろう様物質から得られた、高級アルコールと $\alpha$ -ヒドロキシ酸のエステルを主成分とするものをいう。)	羊毛ロウ		ヒツジの毛に付着するろう様物質から得られた、高級アルコールと $\alpha$ -ヒドロキシ酸のエステルを主成分とするものである。	カムベース 光沢剤	Lanolin
344	ラムザンガム (アルカリゲネスの培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	ラムザン多糖類	ラムザン	スフィンゴモナス属菌 ( <i>Sphingomonas</i> sp.) の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Rhamsan gum

番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
345	L-ラムノース		ラムノース	「ルチン（抽出物）」又はミカン科アマダイダイ ( <i>Citrus sinensis</i> OSBECK) 若しくはミカン科ウンシュウミカン ( <i>Citrus unshiu</i> MARCOV.) の果皮、樹皮若しくは花に含まれる配糖体、又は大豆油、菜種油若しくはコーン油を発酵、濃縮分離して得られたものを、加水分解し、分離して得られたものである。成分はL-ラムノースである。	甘味料	L-Rhamnose
346	卵黄レシチン (卵黄から得られた、レシチンを主成分とするものをいう。)	レシチン		卵黄より得られた卵黄油より、分離して得られたものである。主成分はレシチンである。	乳化剤	Yolk lecithin
347	L-リジン	L-リジン	リジン リジン	糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はL-リジンである。	調味料 強化剤	L-Lysine
348	リゾチーム	卵白リゾチーム		卵白より、アルカリ性水溶液及び食塩水で処理し、樹脂精製して得られたもの、又は樹脂処理若しくは加塩処理した後、カラム精製若しくは再結晶により得られたもので、細菌の細胞壁物質を溶解する酵素である。	酵素	Lysozyme
349	リパーゼ	脂肪分解酵素	エステラーゼ	動物若しくは魚類の臓器、又は動物の舌下部より、冷時～微温時水で抽出して得られたもの又は糸状菌 ( <i>Aspergillus awamori</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Aspergillus phoenicis</i> , <i>Aspergillus usami</i> , <i>Geotrichum candidum</i> , <i>Humicola</i> , <i>Mucor javanicus</i> , <i>Mucor miehei</i> , <i>Penicillium camembertii</i> , <i>Penicillium chrysogenum</i> , <i>Penicillium roquefortii</i> , <i>Rhizomucor miehei</i> , <i>Rhizopus delemar</i> , <i>Rhizopus japonicus</i> , <i>Rhizopus miehei</i> , <i>Rhizopus niveus</i> , <i>Rhizopus oryzae</i> )、放線菌 ( <i>Streptomyces</i> )、細菌 ( <i>Alcaligenes</i> , <i>Arthrobacter</i> , <i>Chromobacterium viscosum</i> , <i>Pseudomonas</i> , <i>Serratia marcescens</i> ) 又は酵母 ( <i>Candida</i> ) の培養液より、冷時～微温時水で抽出して得られたもの、除菌したもの、冷時～室温時濃縮したもの、又はエタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたものである。	酵素	Lipase
350	リポキシゲナーゼ	リポキシダーゼ		植物油粕より、又は糸状菌 ( <i>Rhizopus</i> ) の培養液より、水で抽出して得られたものである。	酵素	Lipoxygenase
351	D-リボース		リボース	グラム陽性細菌 ( <i>Bacillus pumilus</i> 又は <i>Bacillus subtilis</i> ) によるD-グルコースの発酵培養液より、分離して得られたものである。成分はD-リボースである。	甘味料	D-Ribose
352	流動パラフィン	ミネラルオイルホワイト	パラフィン	石油から得た炭化水素類の混合物である。	製造用剤	Liquid paraffin
353	リンターセルロース (ワタの単毛から得られた、セルロースを主成分とするものをいう。)		セルロース	アオイ科ワタ ( <i>Gossypium hirsutum</i> LINNE) の実の単毛を、精製して得られたものである。主成分はセルロースである。	製造用剤	Lintar cellulose
354	ルチン酵素分解物 (「ルチン（抽出物）」から得られた、イソクエルシトリンを主成分とするものをいう。)		イソクエルシトリン	ルチン（抽出物）（アズキ ( <i>Vigna angularis</i> Ohwi et H. Ohashi) の全草、エンジュ ( <i>Sophora japonica</i> Linne) のつばみ若しくは花又はソバ ( <i>Fagopyrum esculentum</i> Moench) の全草から得られた、ルチンを主成分とするものをいう。) を酵素処理した後、精製して得られたものである。主成分はイソクエルシトリンである。	酸化防止剤	Enzymatically decomposed rutin
355	ルチン（抽出物） (アズキの全草、エンジュのつばみ若しくは花又はソバの全草から得られた、ルチンを主成分とするものをいう。)		フラボノイド ルチン		酸化防止剤 着色料	Rutin (extract)
	エンジュ抽出物			ルチン（抽出物）のうちエンジュ ( <i>Sophora japonica</i> Linne) のつばみ又は花より、水、エタノール又はメタノールで抽出し、溶媒を除去して得られたものである。主成分はルチンである。		Enju extract Japanese pagoda tree extract
	アズキ全草抽出物			マメ科アズキ ( <i>Azuki angularis</i> OHWI) の全草より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はルチンである。		Azuki extract
	ソバ全草抽出物			タデ科ソバ ( <i>Fagopyrum esculentum</i> MOENCH) の全草より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はルチンである。		Buckwheat extract
356	ルテニウム			<sup>96</sup> Ru, <sup>98</sup> Ru, <sup>99</sup> Ru, <sup>100</sup> Ru, <sup>101</sup> Ru, <sup>102</sup> Ru, <sup>104</sup> Ru	製造用剤	Ruthenium
357	レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくは子実体又はその培養液から抽出して得られたものをいう。)	マンネンタケ抽出物	レイシ	サルノコシカケ目マンネンタケ ( <i>Ganoderma lucidum</i> KARST.) の菌糸体若しくは子実体、又はその培養液より、水、エタノール又は二酸化炭素で抽出して得られたものである。	苦味料等	Mannentak extract
358	レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。)			クワ科レッチュデバカ ( <i>Brosimum utile</i> (H. B. K) PITT.) の幹枝から得られたラテックスを、熱時水で洗浄し、水溶成分を除去して得られたものである。主成分はアミリンエステルである。	ガムベース	Leche de vaca
359	レバン (枯草菌の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	フラクタン		枯草菌 ( <i>Bacillus subtilis</i> (EHR.) COHN) によるショ糖又はラフィノースの発酵培養液より、分離して得られたものである。主成分は多糖類である。	増粘安定剤	Levan



番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名				
360	レンネット	キモン レンニン		反すう動物の第四胃より、室温時～微温時水若しくは酸性水溶液で抽出して得られたもの、又は酵母菌 ( <i>Kluyveromyces lactis</i> )、糸状菌 ( <i>Mucor miehei</i> , <i>Mucor pusillus</i> LINDT, <i>Mucor</i> spp., <i>Rhizomucor miehei</i> )、担子菌 ( <i>Irpex lacteus</i> ) 若しくは細菌 ( <i>Bacillus cereus</i> , <i>Cryphonectria parasitica</i> , <i>Escherichia coli</i> K-12等) の培養液より、室温時～微温時水若しくは酸性水溶液で抽出して得られたもの、室温時濃縮したもの、又は、冷時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Rennet
361	L-ロイシン		ロイシン	動物性若しくは植物性タンパク質の加水分解により、又は糖類を原料とした発酵法により得られたものより、分離して得られたものである。成分はL-ロイシンである。	調味料 強化剤	L-Leucine
362	ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。)			マメ科ログウッド ( <i>Haematoxylon campechianum</i> ) の心材より、熱時水で抽出して得られたものである。主色素はヘマトキシリンである。黒褐色を呈する。	着色料	Logwood colour
363	ロシディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。)	ロジディンハ		アカテツ科シデロキシロン属 ( <i>Sideroxylon</i> ) の幹枝より得られたラテックスを、脱水したのもより得られたものである。主成分はアミリンアセタート及びポリイソブレンである。	ガムベース	Rosidinha
364	ロシン (マツの分泌液から得られた、アビエチン酸を主成分とするものをいう。)	ロジン		マツ科マツ ( <i>Pinus palustris</i> MILL.) の樹皮の分泌液より、低沸点部を蒸留により除去して得られたものである。主構成成分はアビエチン酸である。	ガムベース	Rosin
365	ローズマリー抽出物 (マンネンロウの葉又は花から得られた、カルノシン酸、カルノソール及びロスマノールを主成分とするものをいう。)	マンネンロウ抽出物		シソ科マンネンロウ ( <i>Rosmarinus officinalis</i> LINNE) の葉又は花より、二酸化炭素、温時～熱時含水エタノール若しくはエタノールで抽出して得られたもの、又は温時～熱時ヘキサン、メタノール若しくは含水メタノールで抽出し、溶媒を除去して得られたものである。有効成分は、フェノール性ジテルペノイド (ロスマノール、カルノソール及びカルノシン酸等) である。	酸化防止剤	Rosemary extract

## 天然香料基原物質リスト

基原物質名	別名	備考
アイスランドモス	アイスランド苔	Iceland moss
アカヤジオウ		Akayajio
アケビ		Akebia
アサ	麻	Hemp
アサフェチダ		Asafetida
アジアントム		Maidenhair fern
アジョワン		Ajowan
アズキ	小豆	Red beans
アスパラサスリネアリス	ルイボス、ロオイボス	Rooibos
アップルミント		Apple mint
アーティチョーク	チョウセンアザミ	Artichoke
アニス		Anise
アボカド		Avocado
アマ		Flax
アマチャ	甘茶	Amacha
アマチャヅル		Amachazuru
アミガサユリ		Amigasayuri
アミリス		Amyris
アーモンド		Almond
アリタソウ		Aritaso
アルカンナ		Alkanet
アルテミシア		Artemisia
アルニカ		Arnica
アルファルファ		Alfalfa
アロエ		Aloe
アロニア		Chokeberry
アンゴスツラ		Angostura
アンゴラウィード		Angola weed
アンズ	アブリコット	Apricot
アンズタケ		Anzutake, Chanterelle
アンゼリカ	アンゲリカ	Angelica
アンバー		Amber
アンバークリス	竜涎香	Ambergris
アンブレット		Ambrette
イカ		Squid
イカリソウ		Ikariso
イグサ		Rush
イースト	酵母	Yeasts
イタドリ		Itadori
イチゴ	ストロベリー	Strawberry
イチゴノキ	ストロベリーツリー	Strawberry tree
イチジク	フィグ	Fig
イチョウ		Ginkgo, Gingko
イヌゴマ	ベトニー	Betony
イノコヅチ		Inokozuchi
イランイラン		Ylang-ylang
イワオウギ		Iwaohgi
インペラトリア		Imperatoria
インモルテル		Immortelle, Everlasting flower
ウィンターグリーン		Wintergreen
ウォータークレス	オランダガラシ	Water cress
ウコギ		Ukogi
ウコン	ターメリック	Turmeric
ウスバサイシン		Usubasaishin
ウッドラフ	クルマバソウ	Woodruff
ウニ		Sea urchin
ウメ		Ume, Japanese apricot
ウーロンチャ		Oolong tea
エゴマ		Egoma
エノキダケ		Enokidake
エビ		Lobster, Prawn, Shrimp
エビスグサ		Ebisugusa
エリダロン		Erigeron
エルダー	セイヨウニワトコ	Elder
エレウテロコック		Eleutherococcus
エレカンペン		Elecampane
エレミ		Elemi

基原物質名	別名	備考
エンゴサク		Engosaku
エンジュ		Enju, Japanese-pagoda-tree
エンダイブ	キクヂンヤ	Endive
欧州アザミ		Blessed thistle
オウレン		Goldthread
オオアザミ		Milk thistle
オオバコ	プランテン	Plantain
オカゼリ		Cnidium fruit
オキアミ		Krill
オーク		Oak
オークモス		Oak moss
オケラ		Okera
オスマンサス	モクセイ	Osmanthus
オポポナックス		Opoponax
オミナエシ		Ominaeshi
オモダカ		Sagiomodaka
オランダセンニチ		Para cress
オリガナム		Origanum
オリス		Orris
オリバナム	乳香	Olibanum
オリーブ		Olive
オールスパイス		Allspice
オレンジ		Orange
オレンジフラワー		Orange flower
カイ	貝	Shellfish
海藻	シーウィード	Seaweed
カイニンソウ		Kaininso
カカオ	ココア	Cacao
カキ	柿	Japanese persimmon
カサイ	果菜	Fruit vegetables
カシューナッツ		Cashew nut
カスカラ		Cascara
カスカリラ		Cascarilla
カストリウム	海狸香	Castoreum
カタクリ		Katakuri
カツオブシ		Dried bonito
カッシー		Cassie
カッシャフィスチュラ		Purging cassia
カテキュ		Catechu
カニ		Crab
カーネーション		Carnation
カノコソウ		Valerian
カモミル		Camomile
カヤプテ		Cajeput, Cajuput
カラクサケマン		Fumitory
カラシ	マスタード	Mustard
カラスウリ		Karasuuri
カラスビシャク		Karasubishaku, Dragon root
カラバッシュナツメグ		Calabash nutmeg
ガラナ		Guarana
カラマンシー	シキキツ	Calamondin
カラミント		Calamint
カラムス		Calamus
ガランガ		Galanga
カーラント		Currant
カリッサ		Carissa, Karanda
カリン		Chinese quince
カルダモン	ショウズク	Cardamon
カ <sup>ラ</sup> ルバナム		Galbanum
カレー		Curry powder
カレーリーフ	カリーリーフ	Curry leaf
カワミドリ		Kawamidori
カンゾウ	リコリス	Licorice
ガンビア		Gambir
カンラン		Chinese olive
キウイーフルーツ		Kiwifruit
キカイガラタケ		Kikaigaratake
キキョウ		Kikyo, Baloon flower
キク		Chrysanthemum
キクラゲ		Kikurage, Jew' s-ear
キササゲ		Kisasage

基原物質名	別名	備考
ギシギシ		Gishigishi, Dock
キダチアロエ		Kidachi aloe
キナ		Cinchona
キハダ		Kihada
キバナオウギ		Kibanaohgi
ギボウシ		Giboshi
ギムネマシルベスタ		Gymnema sylvestre
キャットニップ	イヌハッカ	Catnip
キャラウェイ	ヒメウイキョウ	Caraway
キャラブ	イナゴマメ、カロブ	Carob, Locust bean
キュウリ	キューカンパー	Cucumber
キラヤ		Quillaja, Quillaia
キンミズヒキ		Agrimony
グアバ		Guava
グアヤク		Guaiacum
クコ		Kuko
クサスギカズラ		Kusasugikazura
クサボケ	シドミ	Kusaboke, Dwarf Japanese quince
クズ		Kuzu, Thunberg kudzu vine
クスノキ		Camphor tree
クスノハガシワ		Kamala
グーズベリー		Gooseberry
クチナシ	ガーデニア	Gardenia
クベバ		Cubeb
クマコケモモ		Bearberry
グミ		Gumi, Oleaster
クミン		Cumin
グラウンドアイビー	カキドウシ	Ground ivy
クララ	クサエンジュ	Kurara
クラリセージ		Clary sage
クランベリー		Cranberry
クリ	チェスナッツ	Chestnut
クルミ	ウォルナッツ	Walnut
クリーム		Cream
グレインオブパラダイス		Grains of paradise
クレタディタニー		Dittany of Crete
グレープフルーツ		Grapefruit
クローバー		Clover
クローブ		Clove
クロモジ		Kuromoji
クロレラ		Chlorella
クワ	マルベリー	Mulberry
クワシヤ	ニガキ	Quassia
ケイパー	ケーパー	Caper
ゲットウ	月桃	Getto
ケード		Cade
ケブラコ		Quebracho
ゲルマンダー		Germander
ケンチュール		Kencur
ケンボナシ		Kenponashi, Japanese raisin tree
ゲンノショウコ	フウロソウ	Gennoshoko
コウジ		Koji
コウタケ		Koutake
コウチャ	紅茶	Black tea
コウホネ		Kohone
コカ		Coca
コガネバナ		Koganebana
コクトウ	黒糖	Brown sugar
コクルイ	穀類	Cereals
ココナッツ	ココヤシ	Coconut
コゴメグサ	アイブライト	Eyebright
ゴシュユ		Goshuyu
コショウ	ペパー	Pepper
コスタス		Costus
コストマリー		Costmary
コバイバ		Copaiba
コーヒー		Coffee
コブシ	ヤマモクレン	Kobushi
ゴボウ		Burdock
ゴマ	セサミ	Sesame
コーラ		Cola

基原物質名	別名	備考
コリアンダー	コエンドロ	Coriander
コルツフート	フキタンボポ	Coltsfoot
ゴールドデンロッド		Golden rod
コロンボ		Colombo
コンサイ	根菜	Root and tuber vegetables
コンズランゴ		Kondurango
コンブ		Kombu kelp
コンフリー		Comfrey
サイプレス	イトスギ、シプレス	Cypress
魚	フィッシュ	Fish
サクラ		Cherry tree
サクランボ	チェリー	Cherry
ザクロ	グレナディン	Common pomegranate
サケカス	酒粕	Pressed sake cake
ササ		Sasa, Bamboo grass
ササクサ		Sasakusa
サーチ		Sea buckthorn
サッサfras		Sassafras
サフラン		Saffron
サボジラ		Sapodilla
サボテン		Cactus
サラシナショウマ		Sarashinashoma
サルサパリラ		Sarsaparilla
サルシファイ	セイヨウゴボウ	Salsify
サルノコシカケ		Sarunokoshikake
サンザシ	ハウソーン	Hawthorn
サンシュユ		Sanshuyu
サンショウ		Japanese pepper
サンタハーブ		Santa herb
サンダラック		Sandarac
サンダルウッド	ビャクダン	Sandalwood
サンダルレッド	シタン	Red sandalwood
シイタケ		Shiitake
ジェネ	エニシダ	Genet
シソ		Perilla
シダー	セダー	Cedar
シトラス	カンキツ	Citrus
シトロネラ		Citronella
シヌス		Schinus molle
シベット	霊猫香	Civet
シマルーバ		Simarouba
シメジ		Shimeji
シャクヤク		Shakuyaku, Chinese peony
ジャスミン		Jasmin
ジャノヒゲ		Janohige
ジャボランジ	ヤボランジ	Jaborandi
シャロット		Shallot
シュクシャ		Shukusha
ジュウニヒトエ	ビューグル	Bugle
ジュニパーベリー	ネズ	Juniper berry
ショウガ	ジンジャー	Ginger
ショウユ		Soy sauce
ショウユカス		Pressed soy sauce cake
ジョウリュウシュ	蒸留酒	Spirits
ショウロ		Shoro
シルバーウィード		Silver weed
シロタモギタケ	ブナシメジ	Elm-mushroom
ジンセン	高麗ニンジン	Ginseng
シナモン		Cinnamon
酢	ピネガー	Vinegar
スイカ	ウォーターメロン	Watermelon
スイセン	ナルシス	Narcissus
スギ		Sugi, Peacock pine
スターアニス	ダイウイキョウ	Star anise
スターフルーツ	キャランボラ	Starfruit, Carambola
スチラックス		Styrax
スッポン		Suppon, Snapping turtle
スッポンタケ		Suppontake
ズドラベツ		Zdravetz
スネークルート		Snakeroot, Serpentry
スパイクナード		Spikenard

基原物質名	別名	備考
スピネル		Spignel
スプルーース	ヘムロック	Spruce
スペアミント	ミドリハッカ	Spearmint
スベリヒユ		Suberihiyu, Pigweed
スローベリー		Sloe berry
セイボリー	キダチハッカ	Savory
セイヨウダイコンソウ		Avens, Herb bennet
セイヨウナナカマド		Rowan tree, European mountain ash
セキショウ		Sekisho
セージ		Sage
ゼドアリー		Zedoary
セネガ		Senega
ゼラニウム		Geranium
セロリー		Celery
センキュウ		Senkyu
センタウリア		Centaury
センダン		Sendan
セントジョーンズウォルト	セイヨウオトギリソウ	St. John's wort
センナ		Senna
ソース		Sauces
ダイオウ	ルバーブ	Rhubarb
ダイズ	大豆	Soybeans
タイム	タチジャコウソウ	Thyme
タケノコ		Bamboo shoot
タコ		Octopus
タデ		Tade, Water pepper
ダバナ		Davana
タマゴ	エッグ	Egg
タマゴタケ		Royal agaric
タマネギ	オニオン	Onion
タマリンド		Tamarind
ダミアナ		Damiana
タモギタケ	ヒメヒラタケ	Tamogitake
タラゴン	エストラゴン	Tarragon
タラノキ		Tara, Angelica tree
タンジー	ヨモギギク	Tansy
タンジェリン	マンダリン	Tangerine, Mandarin
タンポポ	ダンデリオン	Dandelion
チェリモラ	チェリモヤ	Cherimoya
チェリーローレル		Cherry laurel
チェリーワイルド		Wild cherry
チガヤ		Chigaya
チコリ		Chicory
チーズ		Cheese
チチタケ		Chichitake
チャイブ		Chive
チャービル		Chervil
チャンパカ		Champac
チュベローズ	月下香	Tuberose
チョウセンゴミシ		Chosengomishi
チラータ		Chirata
ツクシ		Tsukushi, Fern-ally
ツケモノ	漬物	Pickled products
ツタ		Ivy
ツバキ	カメリア	Camellia
ツユクサ		Tsuyukusa
ツリガネニンジン		Tsuriganeninjin
ツルドクダミ		Tsurudokudami
ディアタング	リアトリス	Deertongue
ティスル	キバナアザミ	Thistle
ディタニー		Dittany
ディル	イノンド	Dill
デーツ	ナツメヤシ	Date palm
テンダイウヤク		Lindera root
テンマ		Tenma
テンリョウチャ		Tenryocha
トウガラシ	カプシカム	Capsicum
トウキ		Toki
ドウショクブツタンパクシツ	動植物蛋白質	Proteins
ドウショクブツユシ	動植物油脂	Oil and fats
トウミツ	糖蜜、モラセス	Molasses

基原物質名	別名	備考
トウモロコシ	コーン	Maize
ドクダミ		Dokudami
トチュウ		Tochu
ドッググラス		Dog grass, Couch grass
トマト		Tomato
ドラゴンブラッド		Doragon's blood
ドリアン		Durian
トリュフ		Truffle
トルーバルサム		Tolu balsam
トンカ	トンコ	Tonka beans
ナギナタコウジュ		Naginatakoju
ナシ	ペア	Pear
ナスターシャム		Common nasturtium
ナッツ		Nut
ナットウ	納豆	Natto
ナツメ		Jujube
ナツメグ	ニクヅク、メース	Nutmeg, Mace
ナデシコ		Nadeshiko
ナメコ		Nameko
ナラタケ		Naratake
ナンテン		Nanten
ニアウリ		Ti-tree
ニューサンキンバイヨウエキ	乳酸菌培養液	Cultured lactic acid bacteria solution
ニレ	エルム	Elm
ニンジン	キャロット	Carrot
ニンニク	ガーリック	Garlic
ネズミモチ		Nezumimochi
ネットル	イラクサ	Nettle
ネムノキ		Nemunoki, Silk tree
ノットグラス	ニワヤナギ	Knotgrass
ノリ	海苔	Nori, Laver
バイオレット	スミレ	Violet
パイナップル		Pineapple
ハイビスカス	ローゼル	Hibiscus, Roselle
麦芽	モルト	Malt
ハコベ		Hakobe, Common chickweed
バシクルモン		Basikurumon
バジル	メボウキ	Basil
ハス		Lotus
ハスカップ		Hasukappu
パースニップ	アメリカボウフウ	Parsnip
パセリ	オランダゼリ	Parsley
バター		Butter
バターオイル		Butter oil
バターミルク		Butter milk
バーチ	カバノキ	Birch
ハチミツ	ハネー	Honey
パチュリー	パチョリ	Patchouli
ハッカ		Corn-mint, Japanese mint
バックビーン		Buckbeans
ハッコウシュ	発酵酒	Fermented alcoholic beverages
ハッコウニユウ	発酵乳	Fermented milk
ハッコウミエキ	発酵味液	Fermented seasoning solution
パッションフルーツ	クダモノトケイソウ	Passion fruit
ハツタケ		Hatsutake
バッファローベリー		Buffaloberry
ハトムギ		Job's tears
ハナスゲ		Hanasuge
バナナ		Banana
バニラ	ワニラ	Vanilla
ハネーサックル	スイカズラ	Honeysuckle
パパイヤ		Papaya
バーベリー	メギ	Barberry
ハマゴウ		Hamago
ハマスゲ		Hamasuge
ハマナス		Hamanasu, Rugosa rose
ハマボウフウ		Hamabofu
ハマメリス		Winter bloom
バラ	ローズ	Rose
パルマローザ		Palmarosa

基原物質名	別名	備考
パングナ		Pandanus
パンレイシ	シヤカトウ	Sugar apple, Sweet sop
ヒキオコシ		Hikiokoshi
ヒシ		Hishi, Water chestnut
ピスタチオ		Pistachio
ヒソップ	ヤナギハッカ	Hyssop
ヒッコリー		Hickory
ピーナッツ	ラッカセイ	Peanut
ヒノキ		Hinoki
ヒバ		Hiba
ピプシシワ		Common popsissewa
ヒマワリ		Sunflower
ヒメハギ		Himehagi
ヒヤシンス		Hyacinth
ヒヨドリバナ		Eupatorium
ヒラタケ		Hiratake
ビワ		Biwa, Loquat
ピンピネラ		Burnet
ビンロウ		Areca nut, Betel nut
フェイジョア		Feijoa, Pineapple guava
フェネグreek	コロハ	Fenugreek
フェネル	シヨウウイキョウ	Fennel
フジバカマ		Fujibakama
フジモドキ		Fujimodoki
フスマ		Bran
フーゼル油		Fusel oil
プチグレイ		Petitgrain
ブチュ	ブッコ	Buchu
ブドウ	グレープ	Grape
ブドウサケカス	ブドウ酒粕	Wine lees
フトモモ		Rose apple
ブナ		Beech
ブナハリタケ		Bunaharitake
ブラックキャラウェイ	ニジェラ	Black caraway, Nigella
ブラックベリー		Blackberry
プラム	スモモ	Plum
ブリオニア		Bryonia
ブリックリーアッシュ	アメリカサンショウ	Prickly ash
プリムローズ	サクラソウ	Primrose
プルネラ	ウツボグサ	Prunella, Self-heal
ブルーベリー		Blueberry
ブレッドフルーツ	パンノキ	Breadfruit
ヘイ		Hay
ベイ		Bay
ヘーゼルナッツ	ハシバミ	Hazelnut
ヘザー	ヒース	Heather
ベチバー	ベチベルソウ	Vetiver
ベétel	キンマ	Betel
ベニノキ		Annatto
ベニバナ	サフラワー	Safflower
ペニーロイヤル	メグサハッカ	Pennyroyal
ペパーミント	セイヨウハッカ	Peppermint
ヘビ		Snake
ペピーノ		Pepino
ペプトン		Peptone
ペリトリー		Pellitory
ベルガモット		Bergamot
ベルガモットミント		Bergamot mint
ペルーバルサム		Peru balsam
ベルベナ	バーベナ、ベルベイン	Verbena, Vervain
ベロニカ		Veronica
ベンゾイン	安息香	Benzoin
ヘンナ		Henna
ボアドローズ	ローズウッド	Rosewood
ホアハウンド	ニガハッカ	Hoarhound
ホウ		Haw
ホウキタケ		Houkitake
ホウショウ	芳樟	Houshou
ボウフウ		Saposhnikovia root
ホエイ		Whey
ホオノキ		Honoki



基原物質名	別名	備考
ホースミント	ヤグルマハッカ	Horsemint
ホースラディッシュ	セイヨウワサビ、ワサビダイコン	Horseradish
ボタン		Moutan bark
ホップ		Hop
ポピー		Poppy
ポプラ		Poplar
ポポー		Papaw
ホホバ		Jojoba
ホヤ		Sea squirt
ボルドー		Boldo
ボロニア		Boronia
マイタケ		Maitake
マグウォルト		Mugwort
マシュマロー	ウスベニタチアオイ	Marshmallow
マジョラム	マヨラナ	Marjoram
マスティック		Mastic
マソイ		Massoi
マタタビ		Matatabi, Silver vine
マチコ		Matico
マツ	パイン	Pine
マツオウジ		Matsuoji
マッシュルーム		Mushroom
マツタケ		Matsutake
マツブサ		Matusbusa
マツホド		Matsuhodo
マテチャ	マテ	Mate tea
マメ		Beans
マリーゴールド		Marigold
マルバダイオウ	食用ダイオウ	Garden rhubarb, Edible rhubarb
マルメロ	クインス	Quince
マレイン		Mullein
マロー	ゼニアオイ	Mallow
マンゴー		Mango
マンゴスチン		Mangosteen
マンナノキ		Manna ash
ミカン		Mikan
ミシマサイコ		Mishimasaiko
ミソ	味噌	Miso, Soybean paste
ミツマタ		Mitsumata
ミツロウ	オウロウ、 beesワックス、 beesワックス	Bees wax
ミート	肉	Meat
ミモザ		Mimosa
ミョウガ		Myoga
ミルク		Milk
ミルテ		Myrtle
ミルfoil	セイヨウノコギリソウ	Milfoil
ミルラ	没薬	Myrrh
ミロバラン		Myrobalan
ムカゴニンジン	スキレット	Skirret
ムギチャ	ムギ茶	Roasted barley
ムスク		Musk
ムラサキ		Murasaki, Gromwell
メスキート		Mesquite
メドウスイート	シモツケソウ	Meadowsweet
メハジキ		Mehajiki
メープル	サトウカエデ	Maple
メリッサ	バーム	Melissa, Balm
メリロット		Melilot
メロン		Melon
モウセンゴケ		Sundew
モニリアバイヨウエキ	モニリア培養液	Cultured Moniliaceae solution
モミノキ	ファー	Fir
モモ	ピーチ	Peach
モロヘイヤ		Jew's mallow
ヤクチ		Yakuchi
ヤドリギ		Mistletoe
ヤマブシタケ		Yamabushitake
ヤマモモ		Chinese bayberry
ユーカリ		Eucalyptus
ユキノシタ		Yukinoshita
ユズ		Yuzu

基原物質名	別名	備考
ユッカ		Yucca
ユリ	リリー	Lily
ヨウサイ	葉菜	Leaf vegetables
ヨロイザク		Yoroigusa
ライオンズフット		Lion's foot
ライチ		Litchi
ライフエバーラスティングフラワー		Life-everlasting flower
ライム		Lime
ライラック	リラ	Lilac
ラカンカ		Rakanka, Lo han kuo
ラカンショウ		Long-leaved podocarp
ラズベリー		Raspberry
ラタニア		Rhatany
ラディッシュ	ハツカダイコン	Radish
ラブダナム	システ	Labdanum, Ciste
ラベンダー		Lavender
ラングウォルト		Lungwort
ラングモス		Lungmoss
ランブータン		Ramboutan
リキュール		Liqueur
リーク		Leek
リツェア	タイワンヤマクロモジ	Litsea
リナロエ		Linaloe
リュウガン		Longan
リュウゼツラン		Century plant
リョウフンソウ		Ryofunso
リョクチャ	緑茶	Green tea
リンゴ	アップル	Apple
リンデン	ボダイジュ	Linden
リンドウ		Gentian
ルー	ヘンルーダ	Rue
ルリジサ		Borage
レセダ	モクセイソウ	Reseda
レモン		Lemon
レモングラス		Lemongrass
レンギョウ		Rengyo
レンゲ		Renge
レンブ		Wax jambu, Mankil
ローズマリー	マンネンロウ	Rosemary
ロベージ		Lovage
ローレル	ゲッケイジュ	Laurel
ロンゴザ		Longose
ワサビ		Wasabi
ワスレナグサ		Forger me not, Mouse ears
ワタフジウツギ		Watafujiutsugi
ワームウッド	ニガヨモギ	Wormwood
ワームシード		Wormseed
ワラビ		Warabi, Eagle fern
ワレモコウ		Waremoko, Garden burnet

一般に食品として飲食に供されている物であって  
添加物として使用される品目リスト

品名		簡略名又は類別名	基原・製法・本質	用途	備考
名称	別名				
アカキヤベツ色素	ムラサキキヤベツ色素	アカキヤベツ アントシアニン アントシアニン色素 野菜色素	アブラナ科キヤベツ ( <i>Brassica oleracea</i> LINNE var. <i>capitata</i> DC.) の赤い葉 (赤キヤベツ、紫キヤベツ) より、室温時弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はシアニジンアシルグリコシドである。赤色～紫赤色を呈する。	着色料	Red cabbage colour
アカゴメ色素		アカゴメ アントシアニン アントシアニン色素	イネ科イネ ( <i>Oryza sativa</i> LINNE) の赤い種子 (赤米) より、温時水、弱酸性水溶液又は含水エタノールで抽出して得られたものである。主色素はシアニジン-3-グルコシド等である。赤色を呈する。	着色料	Red rice colour
アカダイコン色素		アカダイコン アントシアニン アントシアニン色素 野菜色素	アブラナ科ダイコン ( <i>Raphanus sativus</i> LINNE) の赤紫の根 (赤ダイコン) より、室温時水、弱酸性水溶液又は含水エタノールで抽出して得られたものである。主色素はペラルゴニンアシルグリコシドである。	着色料	Red radish colour
アズキ色素		アズキ	マメ科アズキ ( <i>Azuki angularis</i> OHWI) の種子より水で抽出して得られたもの、又はこれを乾燥したものである。赤色を呈する。	着色料	Azuki colour
アマチャ抽出物	アマチャエキス	アマチャ	ユキノシタ科アマチャ ( <i>Hydrangea macrophylla</i> SER. var. <i>thunbergii</i> MAKINO) の葉より、水で抽出して得られたものである。甘味成分はフィロズルシンである。	甘味料	Amacha extract Hydrangea leaves extract
イカシミ色素		イカ墨	コウイカ科モンゴウイカ ( <i>Sepia officinalis</i> LINNAEUS) 等の墨袋の内容物を水洗いしたものより、弱酸性含水エタノール及び含水エタノールで洗浄し、乾燥したものである。主色素はユーメラニンである。黒色を呈する。	着色料	Sepia colour
ウグイスカグラ色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	スイカズラ科ロミノウグイスカグラ ( <i>Lonicera caerulea</i> LINNE var. <i>emphylocalyx</i> NAKAI) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素はアントシアニンである。赤色～青色を呈する。	着色料	Uguisukagura colour
ウコン	ターメリック			着色料	Turmeric
エタノール	エチルアルコール	アルコール 酒精	デンプン、糖蜜を原料とし、糖化、発酵後、蒸留して得られたものである。成分は専売法による発酵アルコールである。	製造用剤	Ethanol
エルダーベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	スイカズラ科エルダーベリー ( <i>Sambucus caerulea</i> RAFIN., <i>Sambucus canadensis</i> LINNE, <i>Sambucus nigra</i> LINNE) の果実より、搾汁したもの、又は室温時～微温時水若しくは酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素は、シアニジングリコシド、デルフィニジングリコシドである。赤色～青色を呈する。	着色料	Elderberry colour
オクラ抽出物			アオイ科オクラ ( <i>Abelmoschus escaulentus</i> MOENCH) のさやより、水で抽出して得られた粘質物である。	増粘安定剤	Okra extract
オリーブ茶			モクセイ科オリーブ ( <i>Olea europaea</i> LINNE) の葉より、茶と同様の製法により製したものである。	着色料 苦味料等	Olive tea
海藻セルロース		セルロース	海藻を、乾燥、粉砕して得られたセルロースである。	増粘安定剤	Seaweed cellulose
カウベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	ツツジ科コケモモ ( <i>Vaccinium Vitis-Idaea</i> LINNE) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素はシアニジングリコシド及びデルフィニジングリコシドである。赤色～青色を呈する。	着色料	Cowberry colour
果汁	フルーツジュース			着色料	Fruit juice
ウグイスカグラ果汁	ウグイスカグラジュース				Uguisukagura juice
エルダーベリー果汁	エルダーベリージュース				Elderberry juice
オレンジ果汁	オレンジジュース				Orange juice
カウベリー果汁	カウベリージュース				Cowberry juice
グースベリー果汁	グースベリージュース				Gooseberry juice
クランベリー果汁	クランベリージュース				Cranberry juice
サーモンベリー果汁	サーモンベリージュース				Salmonberry juice
ストロベリー果汁	ストロベリージュース				Strawberry juice

品名		簡略名又は類別名	基原・製法・本質	用途	備考
名称	別名				
ダークスイートチェリー果汁	ダークスイートチェリージュース				Dark sweet cherry juice
チェリー果汁	チェリージュース				Cherry juice
チンブルベリー果汁	スィムブルベリージュース				Thimbleberry juice
デュベリー果汁	デュベリージュース				Dewberry juice
パイナップル果汁	パイナップルジュース				Pineapple juice
ハクルベリー果汁	ハクルベリージュース				Huckleberry juice
ブドウ果汁	ブドウジュース、グレープ果汁、グレープジュース				Grape juice
ブラックカラント果汁	ブラックカラントジュース				Black currant juice
ブラックベリー果汁	ブラックベリージュース				Blackberry juice
プラム果汁	プラムジュース				Plum juice
ブルーベリー果汁	ブルーベリージュース				Blueberry juice
ベリー果汁	ベリージュース				Berry juice
ボイセンベリー果汁	ボイセンベリージュース				Boysenberry juice
ホワートルベリー果汁	ホワートルベリージュース				Whortleberry juice
マルベリー果汁	マルベリージュース				Mulberry juice
モレロチェリー果汁	モレロチェリージュース				Morello cherry juice
ラズベリー果汁	ラズベリージュース				Raspberry juice
レッドカラント果汁	レッドカラントジュース				Red currant juice
レモン果汁	レモンジュース				Lemon juice
ローガンベリー果汁	ローガンベリージュース				Loganberry juice
カゼイン	酸カゼイン	乳たん白	牛乳又は脱脂乳より、酸処理による沈殿によって得られたタンパク質である。	製造用剤	Casein
褐藻抽出物	褐藻粘質物		アラメ、オキナワモズク、コンブ又はワカメより、水で抽出して得られたものである。成分はポリウロン酸及び硫酸多糖である。	増粘安定剤	Kelp extract
カンゾウ末		カンゾウ	マメ科ウルラルカンゾウ ( <i>Glycyrrhiza uralensis</i> FISCHER)、マメ科チョウカカンゾウ ( <i>Glycyrrhiza inflata</i> BATALIN) 又は、マメ科ヨウカンゾウ ( <i>Glycyrrhiza glabra</i> LINNE) の根茎を粉碎したものである。甘味成分はグリチルリチン酸である。	甘味料	Powdered licorice
寒天				製造用剤	Agar
グーズベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	ユキノシタ科グーズベリー ( <i>Ribes grossularia</i> LINNE) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素はアントシアニンである。赤色～青色を呈する。	着色料	Gooseberry colour
クランベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	ツツジ科クランベリー ( <i>Oxycoccus macrocarpus</i> PERS.) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素はシアニジングリコシド、ペラルゴニジングリコシドである。赤色～青色を呈する。	着色料	Cranberry colour
グルテン				増粘安定剤	Gluten
グルテン分解物				増粘安定剤	Gluten decomposites
クロレラ抽出液		クロレラエキス	緑藻類クロレラ ( <i>Chlorella</i> ) を、熱時水で抽出後、濃縮、精製して得られたものである。	調味料 製造用剤	Chlorella extract
クロレラ末			緑藻類クロレラ ( <i>Chlorella</i> ) を、乾燥し、粉末化したものである。	着色料	Powdered chlorella
ココア	ココアパウダー			着色料	Cocoa
小麦粉				製造用剤	Wheat flour
コムギ抽出物			イネ科コムギ ( <i>Triticum aestivum</i> LINNE) の種子 (玄麦) を、ばい煎後、熱時水で抽出して得られたものである。	製造用剤	Wheat extract

品名		簡略名又は類別名	基原・製法・本質	用途	備考
名称	別名				
コラーゲン				製造用剤	Collagen
コンニャクイモ抽出物	グルコマンナン		サトイモ科コンニャク ( <i>Amorphophallus konjac</i> ) の根茎を、乾燥、粉碎後、含水エタノールで洗浄して得られたもの、又はこれを冷時～温時水で抽出して得られたもので、グルコースとマンノースで構成される多糖類からなる。	増粘安定剤 製造用剤	Konjac extract
サツマイモセルロース		セルロース	ヒルガオ科サツマイモ ( <i>Ipomoea batatas</i> POIR.) の塊根より得られたものである。主成分はセルロースである。	製造用剤 増粘安定剤	Sweetpotato cellulose
サフラン				着色料	Saffron
サフラン色素		カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素 クロシン サフラン	アヤメ科サフラン ( <i>Crocus sativus</i> LINNE) の雌芯頭より、エタノールで抽出して得られたものである。主色素は、カロテノイド系のクロシン、クロセチンである。黄色を呈する。	着色料	Saffron colour
サーモンベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	バラ科サーモンベリー ( <i>Rubus spectabilis</i> PURSH.) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素はアントシアニンである。赤色～青色を呈する。	着色料	Salmonberry colour
シソ色素		アントシアニン アントシアニン色素 野菜色素	シソ科シソ ( <i>Perilla frutescens</i> BRITT. var. <i>acuta</i> KUDO) の葉より、室温時水、弱酸性水溶液又は含水エタノールで抽出して得られたものである。主色素は、シソニン、マロニルシソニンである。赤色～赤紫色を呈する。	着色料	Beefsteak plant colour Perilla colour
ストロベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	バラ科オランダイチゴ ( <i>Fragaria ananassa</i> DUCHESNE) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素は、シアニジングリコシド、ペラルゴニジングリコシドである。赤色～青色を呈する。	着色料	Strawberry colour
ゼラチン				製造用剤	Gelatin
ダイズ多糖類	ダイズヘミセルロース		マメ科ダイズ ( <i>Glycine max</i> MERRILL) の種子から得られた多糖類である。主成分はヘミセルロースである。	製造用剤 増粘安定剤	Soybean polysaccharides
ダイダイ抽出物			ミカン科ダイダイ ( <i>Citrus aurantium</i> LINNE) の果皮より、エタノールで抽出して得られたものである。主成分はリモニンである。	苦味料等	Daidai extract
ダークスイートチェリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 チェリー色素	バラ科セイヨウミザクラ ( <i>Prunus avium</i> LINNE) の果実より、搾汁したもの、又は室温時～温時水若しくは弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はアントシアニンである。赤色～赤紫色を呈する。	着色料	Dark sweet cherry colour
チェリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素	バラ科カラミザクラ ( <i>Prunus pauciflora</i> BUNGE) の果実より、搾汁したもの、又は室温時～温時水若しくは弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はシアニジングリコシドである。赤色～赤紫色を呈する。	着色料	Cherry colour
チコリ色素		チコリ 野菜色素	キク科キクニガナ ( <i>Cichorium intybus</i> LINNE) の根をばい煎したものより、温時水で抽出して得られたものである。黄褐色を呈する。	着色料	Chicory colour
茶		抹茶		着色料	Tea
チンブルベリー色素	スィムブルベリー色素	アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	バラ科クロミキイチゴ ( <i>Robus occidentalis</i> LINNE) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素はアントシアニンである。赤色～青色を呈する。	着色料	Thimbleberry colour
デュベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	バラ科オオナワシロイチゴ ( <i>Rubus caesius</i> LINNE) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素はアントシアニンである。赤色～青色を呈する。	着色料	European dewberry colour
トウモロコシセルロース	コーンセルロース	セルロース	イネ科トウモロコシ ( <i>Zea mays</i> LINNE) の種皮から得られたものである。主成分はセルロース、ヘミセルロース及びリグニンである。	製造用剤	Corn cellulose
ナタデココ	醸造セルロース 発酵セルロース	セルロース		増粘安定剤 製造用剤	Fermentation-derived cellulose
乳酸菌濃縮物		乳酸菌	乳酸菌を培養した後、集菌、濃縮し、凍結又は乾燥したものである。	酵素	Lactic acid bacteria concentrates

品名		簡略名又は類別名	基原・製法・本質	用途	備考
名称	別名				
ノリ色素	海苔色素		ウシケノリ科アマノリ ( <i>Porphyra tenera</i> KJELLM.) の葉より、温時水又は弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はフィコエリトリンである。桃色～赤色を呈する。	着色料	Laver colour
ハイビスカス色素	ローゼル色素	アントシアニン アントシアニン色素 ローゼル	アオイ科ローゼル ( <i>Hibiscus sabdariffa</i> LINNE) の花弁及び萼部より、室温時水で抽出して得られたものである。主色素はデルフィニジン-3-サンプビオシド等である。赤色～紫赤色を呈する。	着色料	Hibiscus colour
麦芽抽出物	麦芽エキス	モルトエキス	イネ科オオムギ ( <i>Hordeum vulgare</i> LINNE) の麦芽又はこれを焙煎したものを室温時～温時水で抽出して得られたものである。	着色料	Malt extract
ハクルベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	ツツジ科ブラックハクルベリー ( <i>Gavlussacia baccata</i> C. KOCH.) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素はアントシアニンである。赤色～青色を呈する。	着色料	Black huckleberry colour
パプリカ粉末				着色料	Paprika
ブドウ果汁色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ブドウ色素	ブドウ科アメリカブドウ ( <i>Vitis Labrusca</i> LINNE) 又はブドウ科ブドウ ( <i>Vitis vinifera</i> LINNE) の果実より、搾汁し、沈殿を除去して得られたものである。主色素はマルビジン-3-グルコシド等である。赤色～赤紫色を呈する。	着色料	Grape juice colour
ブラックカーラント色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	ユキノシタ科クロフサスグリ ( <i>Ribes nigrum</i> LINNE) の果実より、搾汁したもの、又は室温時～微温時水若しくは弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はデルフィニジン-3-ルチノシド等である。赤色～青色を呈する。	着色料	Black currant colour
ブラックベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	バラ科ヨーロッパブラックベリー ( <i>Rubus fruticosus</i> LINNE) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素はシアニジン-3-グルコシド等である。赤色～青色を呈する。	着色料	Black berry colour
プラム色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素	バラ科プラム ( <i>Prunus domestica</i> LINNE) の果実より、エタノールで抽出して得られたものである。主色素はシアニジン-3-グルコシド等である。赤色～赤紫色を呈する。	着色料	Plum colour
ブルーベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	ツツジ科ハイブッシュブルーベリー ( <i>Vaccinium corymbosum</i> LINNE) 又はツツジ科ローススイートブルーベリー ( <i>Vaccinium angustifolium</i> AIT.) の果実より、搾汁したもの、又は室温時～微温時水若しくは弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はアントシアニンである。赤色～青色を呈する。	着色料	Blueberry colour
ボイセンベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	バラ科エゾイチゴ ( <i>Rubus strigosus</i> MICHX.) の果実より、搾汁したもの、又は室温時～微温時水若しくは弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はシアニジン-3-グルコシド等である。赤色～青色を呈する。	着色料	American red raspberry colour Boysenberry colour
ホエイソルト	乳清ミネラル ホエイミネラル		乳清(チーズホエイ)より、乳清タンパクと乳糖を分離除去し、精製して得られたものである。成分は、カリウム、カルシウム、ナトリウム等の塩類である。	調味料	Whey salt Whey mineral
ホップ抽出物	ホップエキス	ホップ		苦味料等	Hop extract
ホワートルベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素 ビルベリー色素	ツツジ科ホワートルベリー ( <i>Vaccinium myrtillus</i> LINNE) の果実より、搾汁したもの、水若しくはエタノールで抽出して得られたもの、又は室温時メタノールで抽出し、溶媒を除去したものである。主色素はマルビジン-3-グルコシド等である。赤色～青色を呈する。	着色料	Whortleberry colour
マルベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	クワ科ブラックマルベリー ( <i>Morus nigra</i> LINNE) 又はクワ科ホワイトマルベリー ( <i>Morus alba</i> LINNE) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素はシアニジン-3-グルコシド等である。赤色～青色を呈する。	着色料	Mulberry colour
マンナン				増粘安定剤	Mannan
モレロチェリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 チェリー色素	バラ科モレロチェリー ( <i>Prunus cerasus</i> LINNE var. <i>austera</i> LINNE) の果実より、室温時～温時エタノールで抽出して得られたものである。主色素はシアニジン-3-グルコシド等である。赤色～赤紫色を呈する。	着色料	Morello cherry colour
野菜ジュース アカキャベツジュース	ベジタブルジュース			着色料	Vegetable juice Red cabbage juice

品名		簡略名又は類別名	基原・製法・本質	用途	備考
名称	別名				
アカビートジュース シソジュース タマネギジュース トマトジュース ニンジンジュース					Beet red juice Beefsteak plant juice Onion juice Tomato juice Carrot juice
ヨモギ抽出物			キク科ヨモギ ( <i>Artemisia princeps</i> PAMPAN.) の茎又は葉より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はカフェタンニン及び精油類である。	苦味料等	Mugwort extract
ラズベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	バラ科セイヨウキイチゴ ( <i>Rubus idaeus</i> LINNE) の果実より、搾汁したもの、又は室温時～微温時水若しくは弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はシアニングリコシドである。赤色～青色を呈する。	着色料	Raspberry colour
卵白				製造用剤	Egg white
レッドカーラント色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	ユキノシタ科アカスグリ ( <i>Ribes sativum</i> SYME.) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素は、ペラルゴニンガラクトシド、ペチュニンガラクトシド等である。赤色～青色を呈する。	着色料	Red currant colour
レンネットカゼイン		カゼイン 乳たん白		増粘安定剤	Rennet casein
ローガンベリー色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	バラ科ローガンベリー ( <i>Rubus loganobaccus</i> BAILEY) の果実より、搾汁したもの、又は水で抽出して得られたものである。主色素はシアニングリコシドである。赤色～青色を呈する。	着色料	Loganberry colour